

改正工種概要

番号	工種名	とりまとめ概要
1	軟弱地盤処理工（粉体噴射攪拌工）	<p>○ 日当り施工区分の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単軸 8区分 → 5区分 ・二軸 9区分 → 6区分 <p>○ 補助作業における施工機械の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラフテレンクレーン（4.9t 吊り） → バックホウ（クレーン機能付 0.8m³）
2	場所打杭工（オルケーシング工・硬質地盤用オルケーシング工）	<p>○ 適用範囲の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全回転式 杭径 1,000～1,500mm → 杭径 1,000～2,000mm <p>○ 施工機械の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掘削機規格の大型化 掘削長 30m 超えの時 φ1500 級 → φ2000 級 ・クローラークレーンの大型化 揺動式 30～35t 吊 → 50～55t 吊 全回転式 50～55t 吊 → 60～65t 吊 <p>○ 施工形態の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とび工：2人 → とび工：1人 特殊作業員：1人 <p>○ 補助作業歩掛を新規制定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックホウによる補助作業（整地・集土）の新規制定
3	鋼矢板（H形鋼）工 （油圧圧入引抜工）	<p>○ 適用範囲の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N値 50 まで → N値 180 まで ・普通鋼矢板 II～V型 → II～VI_L型 <p>○ 日当り施工量の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圧入 日当り施工枚数が増加 <p>○ ハット型鋼矢板の歩掛を新規制定</p>
4	地すべり防止工（山腹水路工）	<p>○ 名称変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水路工 → 山腹水路工 <p>○ 日当たり歩掛化</p> <p>○ 機械据付歩掛の新規制定（U型側溝）</p> <p>○ 集水弁設置歩掛の新規制定</p>

5	道路打換え工	<p>○ 適用範囲の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日当り平均作業量 350m² まで → 420m² まで <p>○ 使用機械の一部賃料化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 賃料化機械：大型ブレード、バックホウ、ブルドーザー、 コンクリート圧砕機（ハースマシンのみ） <p>○ 舗装版取壊し機械の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大型ブレード 0.45m³ 級 → 0.25～0.3m³ 級 ・ コンクリート圧砕機 破碎力 843～981kN → 600kN 級
---	--------	---

現 行 基 準
の ペ ー ジ

現 行

改 正

摘 要

土木工事標準歩掛

P130

(3・⑧・4)

2. 粉体噴射攪拌工 (DJM工法)

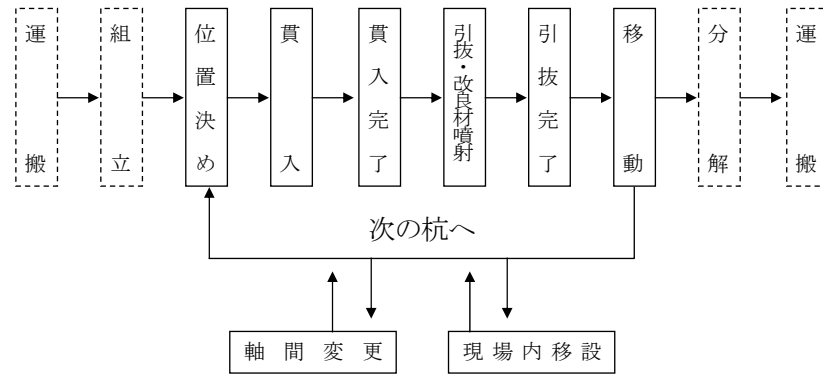
2-1 適用範囲

本資料は、粘土、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象として行う粉体噴射攪拌工に適用する。なお、杭径1,000mm、打設長33m以下の二軸施工を標準とする。ただし、杭径1,000mm、打設長が20m以下で下記条件等の場合は単軸施工にも適用できるものとする。

- (1) 作業面積が狭く、二軸施工機の移動が困難な場合、又は二軸用改良材供給プラントの設置が困難な場合。
- (2) 杭の配列により二軸施工が困難な場合。
- (3) 超軟弱地盤であり、二軸施工が困難な場合。

2-2 施工概要

2-2-1 施工フロー



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

2-3 機種を選定

機種・規格は、次表を標準とする。

表2.1 機種を選定

機 種	規 格	単 位	数 量		
			単軸施工	二 軸 施 工	
			打設長(L) 20m以下	打設長(L) 20m以下	打設長(L) 20mを超え 33m以下
粉 体 噴 射 攪 拌 機	単軸施工 75kW×1	台	1	-	-
	二軸施工 55kW×2	"	-	1	-
	" 90kW×2	"	-	-	1

(注) 粉体噴射攪拌機には、改良材供給機、改良材貯蔵槽、圧縮空気除湿機、空気槽、施工管理計器、制御盤等を含む。

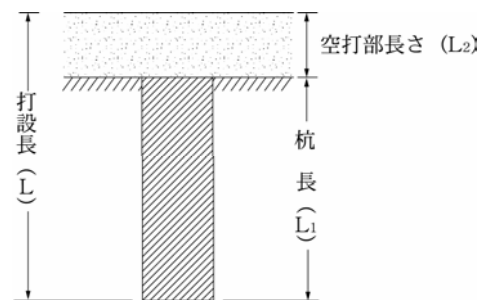


図2-1 施 工 図

2. 粉体噴射攪拌工 (DJM工法)

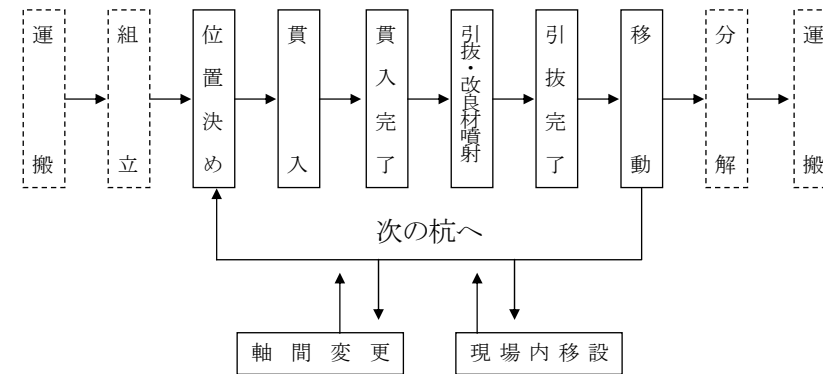
2-1 適用範囲

本資料は、**粘性土**、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象として行う粉体噴射攪拌工に適用する。なお、杭径1,000mm、打設長**3mを超え**33m以下で**軸間距離800mmから1,500mm**の二軸施工を標準とする。

- ただし、杭径1,000mm、打設長が**3mを超え**20m以下で下記条件等の場合は単軸施工にも適用できるものとする。
- (1) 作業面積が狭く、二軸施工機の移動が困難な場合、又は二軸用改良材供給プラントの設置が困難な場合。
- (2) 杭の配列により二軸施工が困難な場合。
- (3) **地盤条件により**、二軸施工が困難な場合。

2-2 施工概要

2-2-1 施工フロー



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

2-3 機種を選定

機種・規格は、次表を標準とする。

表2.1 機種を選定

機 種	規 格	単 位	数 量		
			単軸施工	二 軸 施 工	
			打設長(L) 3mを超え 20m以下	打設長(L) 3mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 33m以下
粉 体 噴 射 攪 拌 機	単軸施工 75kW×1	台	1	-	-
	二軸施工 55kW×2	"	-	1	-
	" 90kW×2	"	-	-	1

(注) 粉体噴射攪拌機には、改良材供給機、改良材貯蔵槽、圧縮空気除湿機、空気槽、施工管理計器、制御盤等を含む。

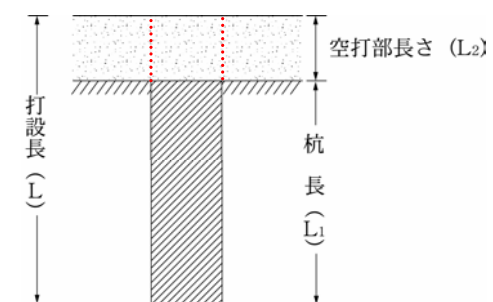


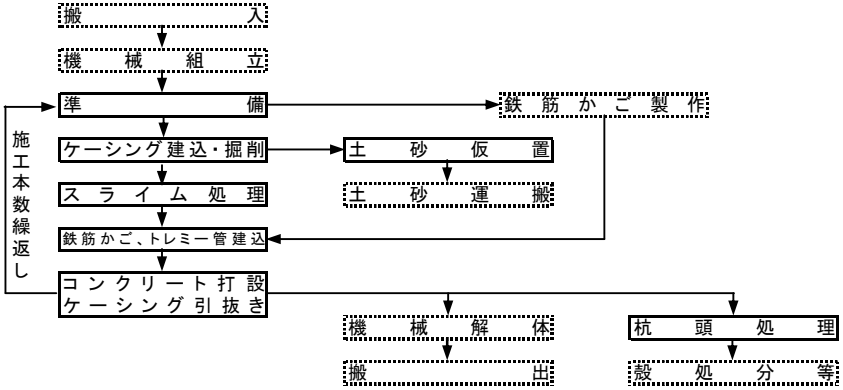
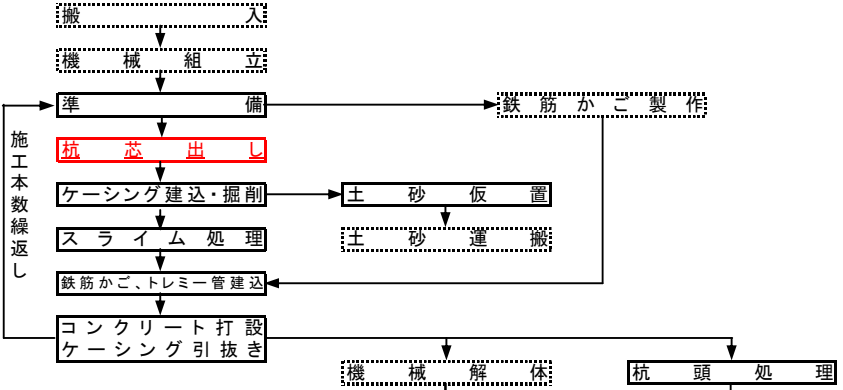
図2-1 施 工 図

現 行 基 準 の ペ ー ジ	現 行	改 正	摘 要																																																																																										
<p>土木工事標準歩掛</p> <p>P131</p> <p>(3・⑧・5)</p>	<p>2-4 編成人員 編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.2 編成人員</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>規 格</th> <th>世 話 役</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> <tr> <td>単 軸 施 工</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>二 軸 施 工</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 編成人員には、改良材供給機の管理運転労務を含む。 2. 粉体噴射攪拌機の運転労務歩掛は、「第1章①建設機械運転労務」による。</p> <p>2-5 施工歩掛 2-5-1 杭施工本数 1日当り杭施工本数は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 1日当り杭施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>打設長 L (m)</th> <th>単軸施工</th> <th>打設長 L (m)</th> <th>二軸施工</th> </tr> <tr> <td>3m未満</td> <td>19</td> <td>4m未満</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>3m以上 4m未満</td> <td>16</td> <td>4m以上 6m未満</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>4 " 6 "</td> <td>13</td> <td>6 " 8 "</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>6 " 8 "</td> <td>11</td> <td>8 " 11 "</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>8 " 11 "</td> <td>9</td> <td>11 " 14 "</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>11 " 14 "</td> <td>7</td> <td>14 " 17 "</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>14 " 17 "</td> <td>6</td> <td>17 " 21 "</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>17 " 20m以下</td> <td>5</td> <td>21 " 27 "</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>27 " 33m以下</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 施工本数は杭間の移動、芯出し、貫入、引抜(改良材噴射)までの一連の作業のものである。 2. 二軸施工の1日当り杭施工本数は、1軸当り1本として計上する。 3. 現場内移設に伴い、処理機本体の分解・組立が必要となった場合は、別途分解・組立費を計上する。 4. 改良材供給設備の現場内移設は、2-5-4より別途計上する。 5. 軸間変更を行う場合は、2-5-5より別途計上する。 6. 攪拌翼の貫入、引抜きに障害となる転石等の除去については、2-5-6その他(2)による。 7. 安定処理工(土木用安定シートも含む)の施工経費は、別途計上する。</p> <p>2-5-2 改良材使用量 改良材は、セメント系、石灰系を標準とし、現場条件により決定する。 なお、使用量は、次式による。 $V = v \times L_1 \times (1 + K) \dots \dots \dots$ 式2.1 V : 1本当り改良材使用量(t/本) v : 杭長1m当り改良材使用量(t/m) L₁ : 杭 長(m) K : 補正係数</p> <p style="text-align: center;">表2.4 補正係数(K)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>補 正 係 数</td> <td>+0.15</td> </tr> </table>	規 格	世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	単 軸 施 工	1	2	1	二 軸 施 工	打設長 L (m)	単軸施工	打設長 L (m)	二軸施工	3m未満	19	4m未満	32	3m以上 4m未満	16	4m以上 6m未満	26	4 " 6 "	13	6 " 8 "	22	6 " 8 "	11	8 " 11 "	20	8 " 11 "	9	11 " 14 "	16	11 " 14 "	7	14 " 17 "	14	14 " 17 "	6	17 " 21 "	12	17 " 20m以下	5	21 " 27 "	10			27 " 33m以下	8	補 正 係 数	+0.15	<p>2-4 編成人員 編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.2 編成人員</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>規 格</th> <th>世 話 役</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> <tr> <td>単 軸 施 工</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>二 軸 施 工</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 編成人員には、改良材供給機の管理運転労務を含む。 2. 粉体噴射攪拌機の運転労務歩掛は、「第1章①建設機械運転労務」による。</p> <p>2-5 施工歩掛 2-5-1 杭施工本数 1日当り杭施工本数は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 1日当り杭施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>打設長 L (m)</th> <th>単軸施工</th> <th>打設長 L (m)</th> <th>二軸施工</th> </tr> <tr> <td><u>3mを超え 6m未満</u></td> <td><u>14</u></td> <td><u>3mを超え 6m未満</u></td> <td><u>28</u></td> </tr> <tr> <td><u>6m以上 10 "</u></td> <td><u>10</u></td> <td><u>6m以上10 "</u></td> <td><u>22</u></td> </tr> <tr> <td><u>10 " 14 "</u></td> <td><u>7</u></td> <td><u>10 " 15 "</u></td> <td><u>16</u></td> </tr> <tr> <td><u>14 " 17 "</u></td> <td><u>6</u></td> <td><u>15 " 20 "</u></td> <td><u>12</u></td> </tr> <tr> <td><u>17 " 20m以下</u></td> <td><u>5</u></td> <td><u>20 " 27 "</u></td> <td><u>10</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td><u>27 " 33m以下</u></td> <td><u>8</u></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 施工本数は杭間の移動、<u>位置決め</u>、貫入、引抜(改良材噴射)までの一連の作業のものである。 2. 二軸施工の1日当り杭施工本数は、1軸当り1本として計上する。 3. 現場内移設に伴い、処理機本体の分解・組立が必要となった場合は、別途分解・組立費を計上する。 4. 改良材供給設備の現場内移設は、2-5-4より別途計上する。 5. 軸間変更を行う場合は、2-5-5より別途計上する。 6. 攪拌翼の貫入、引抜きに障害となる転石等の除去については、2-5-6その他(2)による。 7. 安定処理工(土木用安定シートも含む)の施工経費は、別途計上する</p> <p>2-5-2 改良材使用量 改良材は、セメント系、石灰系を標準とし、現場条件により決定する。 なお、使用量は、次式による。 $V = v \times L_1 \times (1 + K) \dots \dots \dots$ 式2.1 V : 1本当り改良材使用量(t/本) v : 杭長1m当り改良材使用量(t/m) L₁ : 杭 長(m) K : <u>ロス率</u></p> <p style="text-align: center;"><u>改良材使用量のロス率(損失+杭頭・着底部処理を含む)は、次表のとおりとする。</u></p> <p style="text-align: center;">表2.4 <u>ロス率(K)</u></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td><u>ロ ス 率</u></td> <td>+0.15</td> </tr> </table>	規 格	世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	単 軸 施 工	1	2	1	二 軸 施 工	打設長 L (m)	単軸施工	打設長 L (m)	二軸施工	<u>3mを超え 6m未満</u>	<u>14</u>	<u>3mを超え 6m未満</u>	<u>28</u>	<u>6m以上 10 "</u>	<u>10</u>	<u>6m以上10 "</u>	<u>22</u>	<u>10 " 14 "</u>	<u>7</u>	<u>10 " 15 "</u>	<u>16</u>	<u>14 " 17 "</u>	<u>6</u>	<u>15 " 20 "</u>	<u>12</u>	<u>17 " 20m以下</u>	<u>5</u>	<u>20 " 27 "</u>	<u>10</u>			<u>27 " 33m以下</u>	<u>8</u>	<u>ロ ス 率</u>	+0.15	
規 格	世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																																																																																										
単 軸 施 工	1	2	1																																																																																										
二 軸 施 工																																																																																													
打設長 L (m)	単軸施工	打設長 L (m)	二軸施工																																																																																										
3m未満	19	4m未満	32																																																																																										
3m以上 4m未満	16	4m以上 6m未満	26																																																																																										
4 " 6 "	13	6 " 8 "	22																																																																																										
6 " 8 "	11	8 " 11 "	20																																																																																										
8 " 11 "	9	11 " 14 "	16																																																																																										
11 " 14 "	7	14 " 17 "	14																																																																																										
14 " 17 "	6	17 " 21 "	12																																																																																										
17 " 20m以下	5	21 " 27 "	10																																																																																										
		27 " 33m以下	8																																																																																										
補 正 係 数	+0.15																																																																																												
規 格	世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																																																																																										
単 軸 施 工	1	2	1																																																																																										
二 軸 施 工																																																																																													
打設長 L (m)	単軸施工	打設長 L (m)	二軸施工																																																																																										
<u>3mを超え 6m未満</u>	<u>14</u>	<u>3mを超え 6m未満</u>	<u>28</u>																																																																																										
<u>6m以上 10 "</u>	<u>10</u>	<u>6m以上10 "</u>	<u>22</u>																																																																																										
<u>10 " 14 "</u>	<u>7</u>	<u>10 " 15 "</u>	<u>16</u>																																																																																										
<u>14 " 17 "</u>	<u>6</u>	<u>15 " 20 "</u>	<u>12</u>																																																																																										
<u>17 " 20m以下</u>	<u>5</u>	<u>20 " 27 "</u>	<u>10</u>																																																																																										
		<u>27 " 33m以下</u>	<u>8</u>																																																																																										
<u>ロ ス 率</u>	+0.15																																																																																												

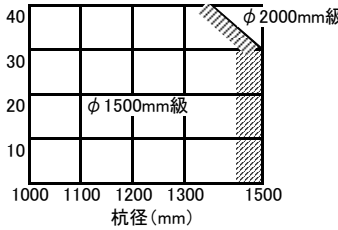
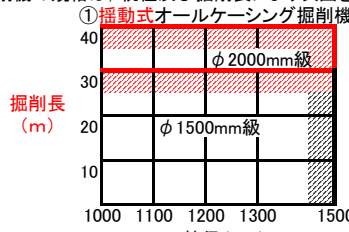
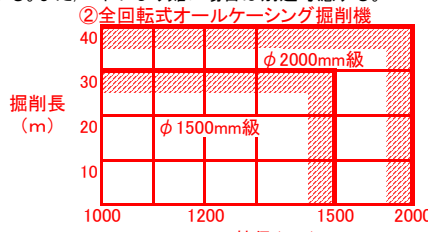
現 行 基 準 の ペ ー ジ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																				
土木工事標準歩掛 P132 (3・⑧・6)	<p>2-5-3 諸 雑 費</p> <p>諸雑費は、足場材(敷鉄板)の賃料、足場材移設用クレーン・空気圧縮機の賃料及び運転経費、改良後の整地に要する費用及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表2.5 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th rowspan="2">諸 雑 費 率</th> <th>単軸施工</th> <th>二軸施工</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> </table> <p>2-5-4 改良材供給設備現場内移設歩掛</p> <p>改良材供給機を中心に半径約75mを超える場合、または同一現場内に施工箇所が2箇所以上あり、改良材供給設備を移設しなければならない場合は、次によるものとする。</p> <p style="text-align: center;">表2.6 改良材供給設備現場内移設歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>単軸施工</th> <th>二軸施工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">0.6</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 移設する設備は改良材供給機、改良材貯蔵槽、発動発電機、空気圧縮機、圧縮空気除湿機、空気槽、制御室、ホース及びケーブル一式とする。 2. 上表には制御室移設後の調整を含む。 3. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>2-5-5 軸 間 変 更</p> <p>二軸施工の場合に同一現場において、粉体噴射攪拌機の軸間変更を必要とする場合は、次によるものとする。</p> <p style="text-align: center;">表2.7 軸間変更歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">3.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">17</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. 諸雑費は、高所作業車の賃料及び運転経費等の費用であり、労務費、賃料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>2-5-6 そ の 他</p> <p>(1) 粉体噴射攪拌機は、特許工法であるので、原則として、特許料を計上するが積算にあたっては留意する。 (2) 次の条件等により攪拌翼が貫入できない場合は、バックホウによる先掘を行うものとし、積算は「第2章②機械土工」による。 1) 表層安定処理等を行った地盤 2) 表層に転石等が多い地盤 3) 表層に障害物等のある地盤</p>	諸 雑 費 率	単軸施工	二軸施工	24	20	名 称	規 格	単 位	単軸施工	二軸施工	世 話 役		人	0.4	0.5	特 殊 作 業 員		〃	0.8	1.2	普 通 作 業 員		〃	0.4	0.5	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	0.6	0.7	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	1.1	特 殊 作 業 員		〃	3.2	普 通 作 業 員		〃	1.6	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	1.3	諸 雑 費 率		%	17	<p>2-5-3 諸 雑 費</p> <p>諸雑費は、<u>施工機用、改良材供給設備用足場材(敷鉄板)の賃料及び設置・撤去に要する費用</u>、空気圧縮機の賃料及び運転経費、改良後の整地に要する費用及び電力に関する費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表2.5 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th rowspan="3">諸 雑 費 率</th> <th colspan="2">単軸施工</th> <th colspan="2">二軸施工</th> </tr> <tr> <th colspan="2">打設長(L) 3mを超え 20m以下</th> <th colspan="2">打設長(L) 3mを超え 20m以下</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">30</td> <td></td> <td style="text-align: center;">28</td> <td style="text-align: center;">25</td> </tr> </table> <p>2-5-4 改良材供給設備現場内移設歩掛</p> <p>改良材供給機を中心に半径約75mを超える場合、または同一現場内に施工箇所が2箇所以上あり、改良材供給設備を移設しなければならない場合は、次によるものとする。</p> <p style="text-align: center;">表2.6 改良材供給設備現場内移設歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>単軸施工</th> <th>二軸施工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">0.6</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 移設する設備は改良材供給機、改良材貯蔵槽、発動発電機、空気圧縮機、圧縮空気除湿機、空気槽、制御室、ホース及びケーブル一式とする。 2. 上表には制御室移設後の調整を含む。 3. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>2-5-5 軸 間 変 更</p> <p>二軸施工の場合に同一現場において、粉体噴射攪拌機の軸間変更を必要とする場合は、次によるものとする。</p> <p style="text-align: center;">表2.7 軸間変更歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">3.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">17</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. 諸雑費は、高所作業車の賃料及び運転経費等の費用であり、労務費、賃料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>2-5-6 そ の 他</p> <p>(1) <u>粉体噴射攪拌機は、特許工法であるので、特許料を計上する。</u> (2) 次の条件等により攪拌翼が貫入できない場合は、バックホウによる先掘を行うものとし、積算は「第2章②機械土工」による。 1) 表層安定処理等を行った地盤 2) 表層に転石等が多い地盤 3) 表層に障害物等のある地盤</p>	諸 雑 費 率	単軸施工		二軸施工		打設長(L) 3mを超え 20m以下		打設長(L) 3mを超え 20m以下		30		28	25	名 称	規 格	単 位	単軸施工	二軸施工	世 話 役		人	0.4	0.5	特 殊 作 業 員		〃	0.8	1.2	普 通 作 業 員		〃	0.4	0.5	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	0.6	0.7	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	1.1	特 殊 作 業 員		〃	3.2	普 通 作 業 員		〃	1.6	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	1.3	諸 雑 費 率		%	17	
諸 雑 費 率	単軸施工		二軸施工																																																																																																																				
	24	20																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	単軸施工	二軸施工																																																																																																																			
世 話 役		人	0.4	0.5																																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	0.8	1.2																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃	0.4	0.5																																																																																																																			
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	0.6	0.7																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																				
世 話 役		人	1.1																																																																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	3.2																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	1.6																																																																																																																				
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	1.3																																																																																																																				
諸 雑 費 率		%	17																																																																																																																				
諸 雑 費 率	単軸施工		二軸施工																																																																																																																				
	打設長(L) 3mを超え 20m以下		打設長(L) 3mを超え 20m以下																																																																																																																				
	30		28	25																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	単軸施工	二軸施工																																																																																																																			
世 話 役		人	0.4	0.5																																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	0.8	1.2																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃	0.4	0.5																																																																																																																			
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	0.6	0.7																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																				
世 話 役		人	1.1																																																																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	3.2																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	1.6																																																																																																																				
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	1.3																																																																																																																				
諸 雑 費 率		%	17																																																																																																																				

現 行 基 準 の ペ ー ジ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																														
土木工事標準歩掛 P133 (3・⑧・7)	2-6 単 価 表 (1) 粉体噴射攪拌工杭長〇〇m 1本当り単価表 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{1}{N} \times 1$</td> <td>表2.2 表2.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{1}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{1}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>改 良 材</td> <td></td> <td>t</td> <td>V</td> <td>式2.1</td> </tr> <tr> <td>粉体噴射攪拌機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{1}{N}$</td> <td>表2.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表2.5</td> </tr> <tr> <td>特 許 料 金</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (注) N: 1日当り杭施工本数(本/日) V: 1本当り改良材使用量(t/本) (2) 改良材供給設備現場内移設1回当り単価表 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表2.6</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (3) 軸間変更1回当り単価表 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表2.7</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (4) 機械運転単価表 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">適用単価表</th> <th colspan="2">指 定 事 項</th> </tr> <tr> <th>単 軸</th> <th>二 軸</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">粉 体 噴 射 攪 拌 機</td> <td rowspan="2">表2.1</td> <td rowspan="2">機-18</td> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→0(諸雑費で計上されるため) 機械損料数量→1.88 </td> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→55kW×2→55 →90kW×2→65 機械損料数量→1.87 </td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{1}{N} \times 1$	表2.2 表2.3	特 殊 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 2$	〃	普 通 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 1$	〃	改 良 材		t	V	式2.1	粉体噴射攪拌機運転		日	$\frac{1}{N}$	表2.3	諸 雑 費		式	1	表2.5	特 許 料 金		〃	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表2.6	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表2.7	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項		単 軸	二 軸	粉 体 噴 射 攪 拌 機	表2.1	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→0(諸雑費で計上されるため) 機械損料数量→1.88	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55kW×2→55 →90kW×2→65 機械損料数量→1.87	2-6 単 価 表 (1) 粉体噴射攪拌工杭長〇〇m 1本当り単価表 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{1}{N} \times 1$</td> <td>表2.2 表2.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{1}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{1}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>改 良 材</td> <td></td> <td>t</td> <td>V</td> <td>式2.1</td> </tr> <tr> <td>粉体噴射攪拌機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{1}{N}$</td> <td>表2.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表2.5</td> </tr> <tr> <td>特 許 料 金</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (注) N: 1日当り杭施工本数(本/日) V: 1本当り改良材使用量(t/本) (2) 改良材供給設備現場内移設1回当り単価表 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表2.6</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (3) 軸間変更1回当り単価表 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表2.7</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (4) 機械運転単価表 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">適用単価表</th> <th colspan="2">指 定 事 項</th> </tr> <tr> <th>単 軸</th> <th>二 軸</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">粉 体 噴 射 攪 拌 機</td> <td rowspan="2">表2.1</td> <td rowspan="2">機-18</td> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→0(諸雑費で計上されるため) 機械損料数量→<u>1.74</u> </td> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→55kW×2→55 →90kW×2→65 機械損料数量→<u>1.73</u> </td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{1}{N} \times 1$	表2.2 表2.3	特 殊 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 2$	〃	普 通 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 1$	〃	改 良 材		t	V	式2.1	粉体噴射攪拌機運転		日	$\frac{1}{N}$	表2.3	諸 雑 費		式	1	表2.5	特 許 料 金		〃	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表2.6	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表2.7	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項		単 軸	二 軸	粉 体 噴 射 攪 拌 機	表2.1	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→0(諸雑費で計上されるため) 機械損料数量→ <u>1.74</u>	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55kW×2→55 →90kW×2→65 機械損料数量→ <u>1.73</u>	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																													
世 話 役		人	$\frac{1}{N} \times 1$	表2.2 表2.3																																																																																																																																																																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 2$	〃																																																																																																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 1$	〃																																																																																																																																																																																																																																																													
改 良 材		t	V	式2.1																																																																																																																																																																																																																																																													
粉体噴射攪拌機運転		日	$\frac{1}{N}$	表2.3																																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表2.5																																																																																																																																																																																																																																																													
特 許 料 金		〃	1																																																																																																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																													
世 話 役		人		表2.6																																																																																																																																																																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																													
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																													
世 話 役		人		表2.7																																																																																																																																																																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																													
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																																	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																																																																														
			単 軸	二 軸																																																																																																																																																																																																																																																													
粉 体 噴 射 攪 拌 機	表2.1	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→0(諸雑費で計上されるため) 機械損料数量→1.88	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55kW×2→55 →90kW×2→65 機械損料数量→1.87																																																																																																																																																																																																																																																													
			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																										
世 話 役		人	$\frac{1}{N} \times 1$	表2.2 表2.3																																																																																																																																																																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 2$	〃																																																																																																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 1$	〃																																																																																																																																																																																																																																																													
改 良 材		t	V	式2.1																																																																																																																																																																																																																																																													
粉体噴射攪拌機運転		日	$\frac{1}{N}$	表2.3																																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表2.5																																																																																																																																																																																																																																																													
特 許 料 金		〃	1																																																																																																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																													
世 話 役		人		表2.6																																																																																																																																																																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																													
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																													
世 話 役		人		表2.7																																																																																																																																																																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																													
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																																	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																																																																														
			単 軸	二 軸																																																																																																																																																																																																																																																													
粉 体 噴 射 攪 拌 機	表2.1	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→0(諸雑費で計上されるため) 機械損料数量→ <u>1.74</u>	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55kW×2→55 →90kW×2→65 機械損料数量→ <u>1.73</u>																																																																																																																																																																																																																																																													

土木工事標準歩掛とりまとめ工種(最終整備)

工種名	場所打杭工(オールケーシング工)		
ページ	現 行	改 定	摘 要
212	<p>1-1 適用範囲 本資料は、掘削長40m以下、杭径1,000~1,500mmのオールケーシング工法及び硬質地盤用オールケーシング工法による場所打杭の施工に適用する。</p> <p>1-2 施工概要 オールケーシング工法は、打込準備を行ったのち、杭芯出しを行い、ケーシングチューブを建込み、ケーシングチューブを押し込みながらハンマーグラブによって土砂及び岩砕の搬出を行う。 支持層に達したことを確認した後、孔内清掃(スライム処理)、鉄筋建込を行い、さらにトレミー管によりコンクリートを打設しながらケーシングパイプを引抜くことにより杭を施工する。</p> <p>1-2-1 施工フロー 施工フローは、下記のとおりである。</p>  <p>(注)本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p>1-1 適用範囲 <u>本資料は、掘削長40m以下、杭径1,000~1,500mmの揺動式オールケーシング工法、杭径1,000~2,000mmの全回転式オールケーシング工法による場所打杭の施工に適用する。</u></p> <p>1-2 施工概要 オールケーシング工法は、打込準備(敷鉄板の設置・撤去含む)を行ったのち、杭芯出しを行い、ケーシングチューブを建込み、ケーシングチューブを押し込みながらハンマーグラブによって土砂及び岩砕の搬出を行う。 支持層に達したことを確認した後、孔内清掃(スライム処理)、鉄筋かご建込を行い、さらにトレミー管によりコンクリートを打設しながらケーシングパイプを引抜くことにより杭を施工する。</p> <p>1-2-1 施工フロー 施工フローは、下記のとおりである。</p>  <p>(注)本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	

土木工事標準歩掛とりまとめ工種(最終整備)

工種名	場所打杭工(オールケーシング工)	改定	摘要																																																																																		
ページ	現 行	改 定																																																																																			
213	<p>1-3 機種の選定 1-3-1 機種の選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>揺動式</th> <th>硬質地盤用</th> <th>適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オールケーシング掘削機</td> <td>図1-1</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全回転型オールケーシング掘削機</td> <td>図1-1 据置式(エンジン式)</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型30~35t吊</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>鉄筋、ケーシング、トレミー管の吊込み、足場材移設</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50~55t吊</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>掘削機、鉄筋、ケーシング、トレミー管の吊込み、足場材移設</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 掘削土砂は、掘削機よりベッセルに排土し、クローラクレーンで旋回範囲内に仮置きし、水切りした後運搬するものを標準とする。 2. 掘削土処理については、「第2章土工②機械土工(土砂)」による。 3. 岩塊・玉石・軟岩・硬岩を含む場合は、硬質地盤用を選定する。また、これにより難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>1-3-2 掘削機の規格 掘削機の規格は、杭径及び掘削長により次図を標準とする。また、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">オールケーシング掘削機及び全回転型オールケーシング掘削機</p>  <p style="text-align: center;">図1-1 掘削機別選定</p> <p>1-4 編成人員 掘削機1台に対する編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.2 編成人員 (人/台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>世話役</th> <th>とび工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>編成人員</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、掘削、鉄筋かご建込、コンクリート打設等及びその準備等を含んだ一連の作業にたずさわる人員である。</p> <p>1-5 施工歩掛 1-5-1 杭1本当りの施工日数Dcは、次による。 Dc = α × Dc₁ Dc : 杭1本当り施工日数(日/本) α : 施工係数 Dc₁ : 掘削長別杭1本当り施工日数(日/本)</p>	機種	規格	単位	揺動式	硬質地盤用	適用	オールケーシング掘削機	図1-1	台	1	-		全回転型オールケーシング掘削機	図1-1 据置式(エンジン式)	"	-	1		クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型30~35t吊	"	1	-	鉄筋、ケーシング、トレミー管の吊込み、足場材移設	"	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50~55t吊	"	-	1	掘削機、鉄筋、ケーシング、トレミー管の吊込み、足場材移設	職種	世話役	とび工	普通作業員	編成人員	1	2	1	<p>1-3 機種の選定 1-3-1 機種の選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>揺動式</th> <th>全回転式</th> <th>適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>揺動式オールケーシング掘削機</td> <td>図1-1</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全回転式オールケーシング掘削機</td> <td>図1-2 据置式(エンジン式)</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン(揺動式)</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50~55t吊</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>鉄筋かご、ケーシング、トレミー管建込、敷鉄板設置・撤去、掘削作業</td> </tr> <tr> <td>"(全回転式)</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型60~65t吊</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>掘削機設置・撤去、鉄筋かご、ケーシング、トレミー管建込、敷鉄板設置・撤去、掘削作業</td> </tr> <tr> <td>パツクホウ</td> <td>掘削土砂搬送用 山積0.45m³(平積み0.95m³)</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>杭周り・機械周り整地、杭穴の埋戻し整地、掘削土集土</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 掘削土砂は、掘削機よりベッセルに排土し、クローラクレーンで旋回範囲内に仮置きし、水切りした後運搬するものを標準とする。 2. 掘削土処理については、「第2章土工②機械土工(土砂)」による。 3. 岩塊・玉石・軟岩・硬岩を含む場合は、全回転式オールケーシング工を選定する。また、これにより難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>1-3-2 掘削機の規格 掘削機の規格は、杭径及び掘削長により次図を標準とする。また、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>① 揺動式オールケーシング掘削機</p>  <p style="text-align: center;">図1-1 掘削機別選定</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>② 全回転型オールケーシング掘削機</p>  <p style="text-align: center;">図1-2 掘削機別選定</p> </div> </div> <p>1-4 編成人員 掘削機1台に対する編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.2 編成人員 (人/台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>世話役</th> <th>とび工</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、掘削、鉄筋かご建込、コンクリート打設等及びその準備等を含んだ一連の作業にたずさわる人員である。</p> <p>1-5 施工歩掛 1-5-1 杭1本当りの施工日数Dcは、次による。 Dc = α × Dc₁ Dc : 杭1本当り施工日数(日/本) α : 土質係数 Dc₁ : 掘削長別杭1本当り施工日数(日/本)</p>	機種	規格	単位	揺動式	全回転式	適用	揺動式オールケーシング掘削機	図1-1	台	1	-		全回転式オールケーシング掘削機	図1-2 据置式(エンジン式)	"	-	1		クローラクレーン(揺動式)	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50~55t吊	"	1	-	鉄筋かご、ケーシング、トレミー管建込、敷鉄板設置・撤去、掘削作業	"(全回転式)	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型60~65t吊	"	-	1	掘削機設置・撤去、鉄筋かご、ケーシング、トレミー管建込、敷鉄板設置・撤去、掘削作業	パツクホウ	掘削土砂搬送用 山積0.45m³(平積み0.95m³)	"	1	1	杭周り・機械周り整地、杭穴の埋戻し整地、掘削土集土	世話役	とび工	特殊作業員	普通作業員	1	1	1	1	
機種	規格	単位	揺動式	硬質地盤用	適用																																																																																
オールケーシング掘削機	図1-1	台	1	-																																																																																	
全回転型オールケーシング掘削機	図1-1 据置式(エンジン式)	"	-	1																																																																																	
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型30~35t吊	"	1	-	鉄筋、ケーシング、トレミー管の吊込み、足場材移設																																																																																
"	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50~55t吊	"	-	1	掘削機、鉄筋、ケーシング、トレミー管の吊込み、足場材移設																																																																																
職種	世話役	とび工	普通作業員																																																																																		
編成人員	1	2	1																																																																																		
機種	規格	単位	揺動式	全回転式	適用																																																																																
揺動式オールケーシング掘削機	図1-1	台	1	-																																																																																	
全回転式オールケーシング掘削機	図1-2 据置式(エンジン式)	"	-	1																																																																																	
クローラクレーン(揺動式)	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50~55t吊	"	1	-	鉄筋かご、ケーシング、トレミー管建込、敷鉄板設置・撤去、掘削作業																																																																																
"(全回転式)	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型60~65t吊	"	-	1	掘削機設置・撤去、鉄筋かご、ケーシング、トレミー管建込、敷鉄板設置・撤去、掘削作業																																																																																
パツクホウ	掘削土砂搬送用 山積0.45m³(平積み0.95m³)	"	1	1	杭周り・機械周り整地、杭穴の埋戻し整地、掘削土集土																																																																																
世話役	とび工	特殊作業員	普通作業員																																																																																		
1	1	1	1																																																																																		

土木工事標準歩掛とりまとめ工種(最終整備)

工種名	場所打杭工(オールケーシング工)																																																																																			
ページ	現 行	改 定																																																																																		
214	<p>1-5-2 施工係数(α)</p> <p>表1.3 施工係数(α)</p> <table border="1"> <tr> <th>掘削機</th> <th>オールケーシング掘削機</th> <th colspan="2">全回転型オールケーシング掘削機</th> </tr> <tr> <th>土質</th> <td>レキ質土 粘性土 砂及び砂質土</td> <td>レキ質土 粘性土、岩塊・玉石 砂及び砂質土、軟岩</td> <td>硬岩</td> </tr> <tr> <th>土質係数</th> <td>1.00</td> <td>1.15</td> <td>2.25</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 土質係数αは、掘削する土質毎の係数を下記のとおり加重平均して算出する。 $\alpha = \frac{(\alpha_1 \times \ell_1) + (\alpha_2 \times \ell_2) + \dots}{\ell_1 + \ell_2 + \dots}$ ここで、α_n:各土質の土質係数 ℓ_n:各土質の掘削長(m) (例) 全回転型オールケーシング掘削機 掘削長20m(レキ質土等15m、硬岩5m)の場合 $\alpha = \frac{(1.15 \times 15) + (2.25 \times 5)}{15 + 5} = 1.43 \approx 1.4$ 2. αは少数第2位を四捨五入し少数第1位とする。</p> <p>1-5-3 掘削長別杭1本当り施工日数(D_{C1})</p> <p>表1.4 1本当り施工日数 (日/本)</p> <table border="1"> <tr> <th>掘削長</th> <th>オールケーシング掘削機</th> <th>全回転型オールケーシング掘削機</th> </tr> <tr><td>0<ℓ≤5</td><td>0.34</td><td>0.45</td></tr> <tr><td>5<ℓ≤10</td><td>0.53</td><td>0.71</td></tr> <tr><td>10<ℓ≤15</td><td>0.73</td><td>0.98</td></tr> <tr><td>15<ℓ≤20</td><td>0.92</td><td>1.24</td></tr> <tr><td>20<ℓ≤25</td><td>1.11</td><td>1.51</td></tr> <tr><td>25<ℓ≤30</td><td>1.30</td><td>1.77</td></tr> <tr><td>30<ℓ≤35</td><td>1.49</td><td>2.04</td></tr> <tr><td>35<ℓ≤40</td><td>1.69</td><td>2.31</td></tr> </table> <p>図1-2 施工図</p>	掘削機	オールケーシング掘削機	全回転型オールケーシング掘削機		土質	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	レキ質土 粘性土、岩塊・玉石 砂及び砂質土、軟岩	硬岩	土質係数	1.00	1.15	2.25	掘削長	オールケーシング掘削機	全回転型オールケーシング掘削機	0<ℓ≤5	0.34	0.45	5<ℓ≤10	0.53	0.71	10<ℓ≤15	0.73	0.98	15<ℓ≤20	0.92	1.24	20<ℓ≤25	1.11	1.51	25<ℓ≤30	1.30	1.77	30<ℓ≤35	1.49	2.04	35<ℓ≤40	1.69	2.31	<p>1-5-2 土質係数(α)</p> <p>表1.3 土質係数(α)</p> <table border="1"> <tr> <th>掘削機</th> <th>揺動式オールケーシング掘削機</th> <th colspan="3">全回転式オールケーシング掘削機</th> </tr> <tr> <th>土質</th> <td>レキ質土 粘性土 砂及び砂質土</td> <td>レキ質土 粘性土 砂及び砂質土</td> <td>岩塊・玉石 軟岩</td> <td>硬岩 中硬岩</td> </tr> <tr> <th>土質係数</th> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.80</td> <td>2.80</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 土質係数αは、掘削する土質毎の係数を下記のとおり加重平均して算出する。 $\alpha = \frac{(\alpha_1 \times \ell_1) + (\alpha_2 \times \ell_2) + \dots}{\ell_1 + \ell_2 + \dots}$ ここで、α_n:各土質の土質係数 ℓ_n:各土質の掘削長(m) (例) 全回転式オールケーシング掘削機 掘削長20m(レキ質土等15m、硬岩5m)の場合 $\alpha = \frac{(1.00 \times 15) + (2.80 \times 5)}{15 + 5} = 1.5$ 2. αは小数第2位を四捨五入し小数第1位とする。</p> <p>1-5-3 掘削長別杭1本当り施工日数(D_{C1})</p> <p>表1.4 1本当り施工日数 (日/本)</p> <table border="1"> <tr> <th>掘削長</th> <th>揺動式オールケーシング掘削機</th> <th>全回転式オールケーシング掘削機</th> </tr> <tr><td>0<ℓ≤5</td><td>0.43</td><td>0.56</td></tr> <tr><td>5<ℓ≤10</td><td>0.59</td><td>0.74</td></tr> <tr><td>10<ℓ≤15</td><td>0.77</td><td>0.93</td></tr> <tr><td>15<ℓ≤20</td><td>0.96</td><td>1.13</td></tr> <tr><td>20<ℓ≤25</td><td>1.17</td><td>1.34</td></tr> <tr><td>25<ℓ≤30</td><td>1.41</td><td>1.56</td></tr> <tr><td>30<ℓ≤35</td><td>1.66</td><td>1.78</td></tr> <tr><td>35<ℓ≤40</td><td>1.92</td><td>2.02</td></tr> </table> <p>図1-2 施工図</p>	掘削機	揺動式オールケーシング掘削機	全回転式オールケーシング掘削機			土質	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石 軟岩	硬岩 中硬岩	土質係数	1.00	1.00	1.80	2.80	掘削長	揺動式オールケーシング掘削機	全回転式オールケーシング掘削機	0<ℓ≤5	0.43	0.56	5<ℓ≤10	0.59	0.74	10<ℓ≤15	0.77	0.93	15<ℓ≤20	0.96	1.13	20<ℓ≤25	1.17	1.34	25<ℓ≤30	1.41	1.56	30<ℓ≤35	1.66	1.78	35<ℓ≤40	1.92	2.02	
掘削機	オールケーシング掘削機	全回転型オールケーシング掘削機																																																																																		
土質	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	レキ質土 粘性土、岩塊・玉石 砂及び砂質土、軟岩	硬岩																																																																																	
土質係数	1.00	1.15	2.25																																																																																	
掘削長	オールケーシング掘削機	全回転型オールケーシング掘削機																																																																																		
0<ℓ≤5	0.34	0.45																																																																																		
5<ℓ≤10	0.53	0.71																																																																																		
10<ℓ≤15	0.73	0.98																																																																																		
15<ℓ≤20	0.92	1.24																																																																																		
20<ℓ≤25	1.11	1.51																																																																																		
25<ℓ≤30	1.30	1.77																																																																																		
30<ℓ≤35	1.49	2.04																																																																																		
35<ℓ≤40	1.69	2.31																																																																																		
掘削機	揺動式オールケーシング掘削機	全回転式オールケーシング掘削機																																																																																		
土質	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石 軟岩	硬岩 中硬岩																																																																																
土質係数	1.00	1.00	1.80	2.80																																																																																
掘削長	揺動式オールケーシング掘削機	全回転式オールケーシング掘削機																																																																																		
0<ℓ≤5	0.43	0.56																																																																																		
5<ℓ≤10	0.59	0.74																																																																																		
10<ℓ≤15	0.77	0.93																																																																																		
15<ℓ≤20	0.96	1.13																																																																																		
20<ℓ≤25	1.17	1.34																																																																																		
25<ℓ≤30	1.41	1.56																																																																																		
30<ℓ≤35	1.66	1.78																																																																																		
35<ℓ≤40	1.92	2.02																																																																																		

土木工事標準歩掛とりまとめ工種(最終整備)

工種名	場所打杭工(オールケーシング工)																																									
ページ	現 行	改 定	摘要																																							
215	<p>1-5-4 材料の使用量 杭1本に必要なコンクリート使用量は、次式による。</p> $Q = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times L \times (1 + \beta)$ <p>Q : 杭1本当りのコンクリート使用量 D : 設計杭径(m) L : 設計杭長(＼) β : コンクリート補正係数 コンクリート量の補正(損失+杭頭処理分を含む)は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.5 コンクリート補正係数(β)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">補 正 係 数</td> <td style="text-align: center;">+0.08</td> </tr> </table> <p>1-5-5 杭頭処理 杭1本当り杭頭処理歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.6 杭頭処理歩掛 (1本当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">特 殊 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.42</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普 通 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">＼</td> <td style="text-align: center;">0.21</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">22</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、空気圧縮機運転(排出ガス対策型)コンクリートブレーカ損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 杭頭処理高さは、0.5~1.0m程度を標準とする。 3. 般処分等は別途計上する。</p> <p>1-5-6 鉄筋工 鉄筋工は、市場単価により別途計上する。</p> <p>1-5-7 諸雑費 基礎杭工の諸雑費は、ハンマグラブ、ケーシングチューブ、ハンマクラウン、鉄筋ごご建込み時の溶接材、プランジャ、足場材、ベッセル、スラッシュタンク、溶接機、トレミー管、水中ポンプの損料等の費用であり、労務費、運転経費及び機械損料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 また、全回転型オールケーシング掘削機の諸雑費には、ビットを含むものとする。</p> <p style="text-align: center;">表1.7 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">揺 動 式</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">硬 質 地 盤 用</td> <td style="text-align: center;">29</td> </tr> </table>	補 正 係 数	+0.08	名 称	単 位	数 量	特 殊 作 業 員	人	0.42	普 通 作 業 員	＼	0.21	諸 雑 費 率	%	22	揺 動 式	27	硬 質 地 盤 用	29	<p>1-5-4 材料の使用量 杭1本に必要なコンクリート使用量は、次式による。</p> $Q = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times L \times (1 + K)$ <p>Q : 杭1本当りのコンクリート使用量 D : 設計杭径(m) L : 設計杭長(＼) <u>K</u> : <u>ロス率</u> コンクリート量の<u>ロス率</u>(損失+杭頭処理分を含む)は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.5 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;"><u>ロス率</u></td> <td style="text-align: center;">+0.08</td> </tr> </table> <p>1-5-5 杭頭処理 杭1本当り杭頭処理歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.6 杭頭処理歩掛 (1本当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"><u>世 話 役</u></td> <td style="text-align: center;"><u>人</u></td> <td style="text-align: center;"><u>0.2</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">特 殊 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">＼</td> <td style="text-align: center;"><u>0.4</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普 通 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">＼</td> <td style="text-align: center;"><u>0.2</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;"><u>20</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、空気圧縮機運転(排出ガス対策型)コンクリートブレーカ損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 <u>2. 般処分等は別途計上する。</u></p> <p style="font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>1-5-7 諸雑費 基礎杭工の諸雑費は、<u>施工機械足場用の敷鉄板賃料</u>、ハンマグラブ、ケーシングチューブ、ハンマクラウン、プランジャ、ベッセル、スラッシュタンク、トレミー管、水中ポンプの損料、<u>電力に関する費用</u>等の費用であり、労務費、運転経費及び機械損料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 また、全回転<u>式</u>オールケーシング掘削機の諸雑費には、ビットを含むものとする。</p> <p style="text-align: center;">表1.7 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">揺 動 式</td> <td style="text-align: center;"><u>19</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>全 回 転 式</u></td> <td style="text-align: center;"><u>22</u></td> </tr> </table>	<u>ロス率</u>	+0.08	名 称	単 位	数 量	<u>世 話 役</u>	<u>人</u>	<u>0.2</u>	特 殊 作 業 員	＼	<u>0.4</u>	普 通 作 業 員	＼	<u>0.2</u>	諸 雑 費 率	%	<u>20</u>	揺 動 式	<u>19</u>	<u>全 回 転 式</u>	<u>22</u>	
補 正 係 数	+0.08																																									
名 称	単 位	数 量																																								
特 殊 作 業 員	人	0.42																																								
普 通 作 業 員	＼	0.21																																								
諸 雑 費 率	%	22																																								
揺 動 式	27																																									
硬 質 地 盤 用	29																																									
<u>ロス率</u>	+0.08																																									
名 称	単 位	数 量																																								
<u>世 話 役</u>	<u>人</u>	<u>0.2</u>																																								
特 殊 作 業 員	＼	<u>0.4</u>																																								
普 通 作 業 員	＼	<u>0.2</u>																																								
諸 雑 費 率	%	<u>20</u>																																								
揺 動 式	<u>19</u>																																									
<u>全 回 転 式</u>	<u>22</u>																																									

土木工事標準歩掛とりまとめ工種(最終整備)

工種名	場所打杭工(オールケーシング工)	改定	摘要																																																																																																																																																																																																																																																
ページ	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																	
216	<p>1-6 単価表</p> <p>(1)基礎杭工1本当り単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1×Dc</td><td></td></tr> <tr><td>と び 工</td><td></td><td>"</td><td>2×Dc</td><td></td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>"</td><td>1×Dc</td><td></td></tr> <tr><td>掘 削 機 運 転</td><td></td><td>日</td><td>Dc</td><td></td></tr> <tr><td>クローラクレーン運転</td><td></td><td>"</td><td>Dc</td><td></td></tr> <tr><td>コンクリート</td><td></td><td>m³</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>鉄 筋 工</td><td></td><td>t</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表1.7</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>Dc: 杭1本当り施工日数</p> <p>(2)掘削機運転1日当り単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>運 転 手 (特 殊)</td><td></td><td>人</td><td></td><td>オールケーシング掘削機 → 1.00 全回転型オールケーシング掘削機 → 1.00</td></tr> <tr><td>燃 料 費</td><td></td><td>ℓ</td><td></td><td>オールケーシング掘削機 → 124 全回転型オールケーシング掘削機 → 79 (φ1,500mm) 全回転型オールケーシング掘削機 → 92 (φ2,000mm)</td></tr> <tr><td>機 械 損 料</td><td></td><td>日</td><td></td><td>オールケーシング掘削機 → 1.40 全回転型オールケーシング掘削機 → 1.49</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(3)杭頭処理1本当り単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表1.6</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>"</td><td></td><td>"</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>"</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(4)機械運転単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウィンチ・ラジスジブ型 30~35t吊</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 59 機械損料数量 → 1.36</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>油圧駆動式ウィンチ・ラジスジブ型 50~55t吊</td> <td>"</td> <td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 76 機械損料数量 → 1.42</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×Dc		と び 工		"	2×Dc		普 通 作 業 員		"	1×Dc		掘 削 機 運 転		日	Dc		クローラクレーン運転		"	Dc		コンクリート		m ³			鉄 筋 工		t			諸 雑 費		式		表1.7	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	運 転 手 (特 殊)		人		オールケーシング掘削機 → 1.00 全回転型オールケーシング掘削機 → 1.00	燃 料 費		ℓ		オールケーシング掘削機 → 124 全回転型オールケーシング掘削機 → 79 (φ1,500mm) 全回転型オールケーシング掘削機 → 92 (φ2,000mm)	機 械 損 料		日		オールケーシング掘削機 → 1.40 全回転型オールケーシング掘削機 → 1.49	諸 雑 費		式			計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	特 殊 作 業 員		人		表1.6	普 通 作 業 員		"		"	諸 雑 費		式	1	"	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	クローラクレーン	油圧駆動式ウィンチ・ラジスジブ型 30~35t吊	機-18	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 59 機械損料数量 → 1.36	"	油圧駆動式ウィンチ・ラジスジブ型 50~55t吊	"	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 76 機械損料数量 → 1.42	<p>1-6 単価表</p> <p>(1)基礎杭工1本当り単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1×Dc</td><td></td></tr> <tr><td>と び 工</td><td></td><td>"</td><td>1×Dc</td><td></td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>"</td><td>1×Dc</td><td></td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>"</td><td>1×Dc</td><td></td></tr> <tr><td>掘 削 機 運 転</td><td></td><td>日</td><td>Dc</td><td></td></tr> <tr><td>クローラクレーン運転</td><td></td><td>"</td><td>Dc</td><td></td></tr> <tr><td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td><td></td><td>"</td><td>Dc</td><td></td></tr> <tr><td>コンクリート</td><td></td><td>m³</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>鉄 筋 工</td><td></td><td>t</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表1.7</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>Dc: 杭1本当り施工日数</p> <p>(2)機械運転単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">揺 動 式</td> <td rowspan="2">揺 動 式 オールケーシング掘削機</td> <td></td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 119 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>油圧駆動式ウィンチ・ラジスジブ型 50~55t吊</td> <td>"</td> <td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 83 機械損料数量 → 1.29</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>0.45m³ クローラ型、排出ガス対策型</td> <td>"</td> <td>運転労務数量 → 0.80 燃料消費量 → 33 機械損料数量 → 1.48</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">全 回 転 式</td> <td rowspan="2">全 回 転 式 オールケーシング掘削機</td> <td>φ1,500mm</td> <td>"</td> <td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 75 機械損料数量 → 1.45</td> </tr> <tr> <td>φ2,000mm</td> <td>"</td> <td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 103 機械損料数量 → 1.45</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウィンチ・ラジスジブ型 60~65t吊</td> <td>"</td> <td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 108 機械損料数量 → 1.38</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>0.45m³ クローラ型、排出ガス対策型</td> <td>"</td> <td>運転労務数量 → 0.80 燃料消費量 → 34 機械損料数量 → 1.60</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)杭頭処理1本当り単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表1.6</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>"</td><td></td><td>"</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>"</td><td></td><td>"</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>"</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×Dc		と び 工		"	1×Dc		特 殊 作 業 員		"	1×Dc		普 通 作 業 員		"	1×Dc		掘 削 機 運 転		日	Dc		クローラクレーン運転		"	Dc		バ ッ ク ホ ウ 運 転		"	Dc		コンクリート		m ³			鉄 筋 工		t			諸 雑 費		式		表1.7	計					工 法	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	揺 動 式	揺 動 式 オールケーシング掘削機		機-18	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 119 機械損料数量 → 1.40	油圧駆動式ウィンチ・ラジスジブ型 50~55t吊	"	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 83 機械損料数量 → 1.29	クローラクレーン	0.45m ³ クローラ型、排出ガス対策型	"	運転労務数量 → 0.80 燃料消費量 → 33 機械損料数量 → 1.48	全 回 転 式	全 回 転 式 オールケーシング掘削機	φ1,500mm	"	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 75 機械損料数量 → 1.45	φ2,000mm	"	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 103 機械損料数量 → 1.45	クローラクレーン	油圧駆動式ウィンチ・ラジスジブ型 60~65t吊	"	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 108 機械損料数量 → 1.38	バ ッ ク ホ ウ	0.45m ³ クローラ型、排出ガス対策型	"	運転労務数量 → 0.80 燃料消費量 → 34 機械損料数量 → 1.60	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表1.6	特 殊 作 業 員		"		"	普 通 作 業 員		"		"	諸 雑 費		式	1	"	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																															
世 話 役		人	1×Dc																																																																																																																																																																																																																																																
と び 工		"	2×Dc																																																																																																																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		"	1×Dc																																																																																																																																																																																																																																																
掘 削 機 運 転		日	Dc																																																																																																																																																																																																																																																
クローラクレーン運転		"	Dc																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート		m ³																																																																																																																																																																																																																																																	
鉄 筋 工		t																																																																																																																																																																																																																																																	
諸 雑 費		式		表1.7																																																																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																															
運 転 手 (特 殊)		人		オールケーシング掘削機 → 1.00 全回転型オールケーシング掘削機 → 1.00																																																																																																																																																																																																																																															
燃 料 費		ℓ		オールケーシング掘削機 → 124 全回転型オールケーシング掘削機 → 79 (φ1,500mm) 全回転型オールケーシング掘削機 → 92 (φ2,000mm)																																																																																																																																																																																																																																															
機 械 損 料		日		オールケーシング掘削機 → 1.40 全回転型オールケーシング掘削機 → 1.49																																																																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式																																																																																																																																																																																																																																																	
計																																																																																																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																															
特 殊 作 業 員		人		表1.6																																																																																																																																																																																																																																															
普 通 作 業 員		"		"																																																																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	"																																																																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																																																																			
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																																																																
クローラクレーン	油圧駆動式ウィンチ・ラジスジブ型 30~35t吊	機-18	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 59 機械損料数量 → 1.36																																																																																																																																																																																																																																																
"	油圧駆動式ウィンチ・ラジスジブ型 50~55t吊	"	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 76 機械損料数量 → 1.42																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																															
世 話 役		人	1×Dc																																																																																																																																																																																																																																																
と び 工		"	1×Dc																																																																																																																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		"	1×Dc																																																																																																																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		"	1×Dc																																																																																																																																																																																																																																																
掘 削 機 運 転		日	Dc																																																																																																																																																																																																																																																
クローラクレーン運転		"	Dc																																																																																																																																																																																																																																																
バ ッ ク ホ ウ 運 転		"	Dc																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート		m ³																																																																																																																																																																																																																																																	
鉄 筋 工		t																																																																																																																																																																																																																																																	
諸 雑 費		式		表1.7																																																																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																																																																			
工 法	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																																																															
揺 動 式	揺 動 式 オールケーシング掘削機		機-18	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 119 機械損料数量 → 1.40																																																																																																																																																																																																																																															
		油圧駆動式ウィンチ・ラジスジブ型 50~55t吊	"	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 83 機械損料数量 → 1.29																																																																																																																																																																																																																																															
	クローラクレーン	0.45m ³ クローラ型、排出ガス対策型	"	運転労務数量 → 0.80 燃料消費量 → 33 機械損料数量 → 1.48																																																																																																																																																																																																																																															
全 回 転 式	全 回 転 式 オールケーシング掘削機	φ1,500mm	"	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 75 機械損料数量 → 1.45																																																																																																																																																																																																																																															
		φ2,000mm	"	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 103 機械損料数量 → 1.45																																																																																																																																																																																																																																															
	クローラクレーン	油圧駆動式ウィンチ・ラジスジブ型 60~65t吊	"	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 108 機械損料数量 → 1.38																																																																																																																																																																																																																																															
	バ ッ ク ホ ウ	0.45m ³ クローラ型、排出ガス対策型	"	運転労務数量 → 0.80 燃料消費量 → 34 機械損料数量 → 1.60																																																																																																																																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																															
世 話 役		人		表1.6																																																																																																																																																																																																																																															
特 殊 作 業 員		"		"																																																																																																																																																																																																																																															
普 通 作 業 員		"		"																																																																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	"																																																																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																																																																			

とりまとめ工種（最終整備）

鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																							
P. 303 (6・①・11)	<h3>2 油圧圧入引抜工</h3> <p>2-1 適用範囲 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入（ウォータージェット併用圧入を含む）及び、引抜きの施工に適用する。 なお、継矢板の施工法は、先行する鋼矢板を圧入後、それに接続する鋼矢板を鉛直に建込んだ状態で継手部を溶接するものである。 油圧式圧入引抜機の反力チャックのつかみ代は、500mmを標準とする。</p> <p>2-2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 2-2-1 圧 入</p>	<h3>2 油圧圧入引抜工</h3> <p>2-1 適用範囲 <u>油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入（$N_{max} \leq 50$）及び、引抜きの施工に適用する。</u> <u>なお、継矢板の施工法は、先行する鋼矢板を圧入後、それに接続する鋼矢板を鉛直に建込んだ状態で継手部を溶接するものである。</u> <u>油圧式圧入引抜機の反力チャックのつかみ代は、500mmを標準とする。</u> <u>また、鋼矢板型式毎の圧入長（引抜き長）の適用範囲は、表 2.1 のとおりとし、これにより難しい場合は、別途考慮する。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>表 2.1 圧入長（引抜き長）</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">鋼矢板の型式</th> <th>Ⅱ型</th> <th>Ⅲ型</th> <th>Ⅳ型</th> <th>ⅤL型</th> <th>ⅤL型</th> <th>Ⅵw型</th> <th>Ⅶw型</th> <th>Ⅷw型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">圧入長 (引抜き長) (m)</td> <td>圧入</td> <td>$N_{max} \leq 25$</td> <td>10以下</td> <td>15以下</td> <td>20以下</td> <td>25以下</td> <td>25以下</td> <td>12以下</td> <td>25以下</td> </tr> <tr> <td>圧入</td> <td>$N_{max} \leq 50$</td> <td>12以下</td> <td>18以下</td> <td>20以下</td> <td>25以下</td> <td>25以下</td> <td>14以下</td> <td>25以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>引抜き</td> <td>12以下</td> <td>18以下</td> <td>20以下</td> <td>25以下</td> <td>25以下</td> <td colspan="3">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入長（引抜き長）とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長（引抜き長）であり、鋼矢板長とは異なる。 2. 圧入 ($N_{max} \leq 50$) は、$25 < N_{max} \leq 50$ の場合、または、$N_{max} \leq 25$ で転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合に適用する。</p> <p>2-2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 2-2-1 圧 入 ($N_{max} \leq 25$)</p>	鋼矢板の型式		Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅳ型	ⅤL型	ⅤL型	Ⅵw型	Ⅶw型	Ⅷw型	圧入長 (引抜き長) (m)	圧入	$N_{max} \leq 25$	10以下	15以下	20以下	25以下	25以下	12以下	25以下	圧入	$N_{max} \leq 50$	12以下	18以下	20以下	25以下	25以下	14以下	25以下		引抜き	12以下	18以下	20以下	25以下	25以下	—			
鋼矢板の型式		Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅳ型	ⅤL型	ⅤL型	Ⅵw型	Ⅶw型	Ⅷw型																																	
圧入長 (引抜き長) (m)	圧入	$N_{max} \leq 25$	10以下	15以下	20以下	25以下	25以下	12以下	25以下																																	
	圧入	$N_{max} \leq 50$	12以下	18以下	20以下	25以下	25以下	14以下	25以下																																	
	引抜き	12以下	18以下	20以下	25以下	25以下	—																																			

※ 施工機械足場用の敷鉄板の施工を含む。

とりまとめ工種（最終整備）

鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要
<p>P. 303 (6・①・11)</p>	<p style="text-align: center;">2-2-2 ウォータージェット併用圧入</p>	<p style="text-align: center;">2-2-2 圧入 (<u>$N_{max} \leq 50$</u>)</p> <p style="text-align: center;"><u>※ 施工機械足場用の敷鉄板の施工を含む。</u></p>	
<p>P. 304 (6・①・12)</p>	<p style="text-align: center;">2-2-3 引抜き</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p style="text-align: center;">2-2-3 引抜き</p> <p style="text-align: center;"><u>※ 施工機械足場用の敷鉄板の施工を含む。</u></p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	

とりまとめ工種（最終整備）

鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜き工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																																																	
P.304 (6・①・12)	<p>2-3 機種 の 選 定 2-3-1 油圧式杭圧入引抜き機 油圧式杭圧入引抜き機の機種は、鋼矢板の圧入長又は引抜き長及び最大N値により、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.1 機種選定（鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">作業種類 最大N値 鋼矢板型式</th> <th style="width: 20%;">圧 入</th> <th style="width: 20%;">ウォータージェット 併用施工</th> <th style="width: 45%;">引 抜 き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ型</td> <td>Nmax ≤ 25</td> <td>25 < Nmax ≤ 50</td> <td>Nmax ≤ 50</td> </tr> <tr> <td>Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ型</td> <td colspan="2">排出ガス対策型 圧入力 980.7～1471.0 k N級 (100～150 t 級) 引抜き力 1078.7～1569.1 k N級 (110～160 t 級)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型</td> <td colspan="2">排出ガス対策型 広幅鋼矢板用 圧入力 980.7～1471.0 k N級 (100～150 t 級)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本歩掛の適用範囲は、表 2.2 のとおりとするが、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表 2.2 圧入長（引抜き長）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">鋼矢板の型式</th> <th>Ⅱ型</th> <th>Ⅲ型</th> <th>Ⅳ型</th> <th>Ⅴ型</th> <th>Ⅱw型</th> <th>Ⅲw型</th> <th>Ⅳw型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">圧入長 (引抜き長) (m)</td> <td>圧 入</td> <td>10以下</td> <td>15以下</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>12以下</td> <td>25以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウォータージェット 併用圧入</td> <td>12以下</td> <td>18以下</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>14以下</td> <td>25以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引 抜 き</td> <td>12以下</td> <td>18以下</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td></td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 圧入長（引抜き長）とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長（引抜き長）であり、鋼矢板長とは異なる。</p>	作業種類 最大N値 鋼矢板型式	圧 入	ウォータージェット 併用施工	引 抜 き	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ型	Nmax ≤ 25	25 < Nmax ≤ 50	Nmax ≤ 50	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ型	排出ガス対策型 圧入力 980.7～1471.0 k N級 (100～150 t 級) 引抜き力 1078.7～1569.1 k N級 (110～160 t 級)			Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型	排出ガス対策型 広幅鋼矢板用 圧入力 980.7～1471.0 k N級 (100～150 t 級)		—	鋼矢板の型式		Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅳ型	Ⅴ型	Ⅱw型	Ⅲw型	Ⅳw型	圧入長 (引抜き長) (m)	圧 入	10以下	15以下	20以下	20以下	12以下	25以下		ウォータージェット 併用圧入	12以下	18以下	20以下	20以下	14以下	25以下		引 抜 き	12以下	18以下	20以下	20以下		—		<p>2-3 機種 の 選 定 2-3-1 油圧式杭圧入引抜き機 <u>油圧式杭圧入引抜き機の機種は、次表を標準とする。</u></p> <p style="text-align: center;">表 2.2 機種選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">作 業 の 種 類</th> <th colspan="2" style="width: 40%;">圧 入</th> <th style="width: 40%;">引 抜 き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最 大 N 値</td> <td>Nmax ≤ 25</td> <td>Nmax ≤ 50</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">鋼矢板型式</td> <td colspan="2">Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ型 排出ガス対策型（第一次基準値） 圧入力 980.7～1471.0 k N級 (100～150 t 級) 引抜き力 1078.7～1569.1 k N級 (110～160 t 級)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型 排出ガス対策型（第一次基準値） 広幅鋼矢板用 圧入力 980.7～1471.0 k N級 (100～150 t 級) 引抜き力 1078.7～1569.1 k N級 (110～160 t 級)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 圧入（Nmax ≤ 50）は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。</p>	作 業 の 種 類	圧 入		引 抜 き	最 大 N 値	Nmax ≤ 25	Nmax ≤ 50	—	鋼矢板型式	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ型 排出ガス対策型（第一次基準値） 圧入力 980.7～1471.0 k N級 (100～150 t 級) 引抜き力 1078.7～1569.1 k N級 (110～160 t 級)			Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型 排出ガス対策型（第一次基準値） 広幅鋼矢板用 圧入力 980.7～1471.0 k N級 (100～150 t 級) 引抜き力 1078.7～1569.1 k N級 (110～160 t 級)		—	
作業種類 最大N値 鋼矢板型式	圧 入	ウォータージェット 併用施工	引 抜 き																																																																	
Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ型	Nmax ≤ 25	25 < Nmax ≤ 50	Nmax ≤ 50																																																																	
Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ型	排出ガス対策型 圧入力 980.7～1471.0 k N級 (100～150 t 級) 引抜き力 1078.7～1569.1 k N級 (110～160 t 級)																																																																			
Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型	排出ガス対策型 広幅鋼矢板用 圧入力 980.7～1471.0 k N級 (100～150 t 級)		—																																																																	
鋼矢板の型式		Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅳ型	Ⅴ型	Ⅱw型	Ⅲw型	Ⅳw型																																																												
圧入長 (引抜き長) (m)	圧 入	10以下	15以下	20以下	20以下	12以下	25以下																																																													
	ウォータージェット 併用圧入	12以下	18以下	20以下	20以下	14以下	25以下																																																													
	引 抜 き	12以下	18以下	20以下	20以下		—																																																													
作 業 の 種 類	圧 入		引 抜 き																																																																	
最 大 N 値	Nmax ≤ 25	Nmax ≤ 50	—																																																																	
鋼矢板型式	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ型 排出ガス対策型（第一次基準値） 圧入力 980.7～1471.0 k N級 (100～150 t 級) 引抜き力 1078.7～1569.1 k N級 (110～160 t 級)																																																																			
	Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型 排出ガス対策型（第一次基準値） 広幅鋼矢板用 圧入力 980.7～1471.0 k N級 (100～150 t 級) 引抜き力 1078.7～1569.1 k N級 (110～160 t 級)		—																																																																	

とりまとめ工種（最終整備）
鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																						
P. 305 (6・①・13)	<p>2-3-2 付属機械 油圧式杭圧入引抜機に付属する機械の機種、規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.3 付属機械の機種規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">作業の種類 機 種</th> <th style="width: 20%;">圧入及び引抜き</th> <th style="width: 20%;">ウォータージェット 併用圧入</th> <th style="width: 45%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 (注) 1</td> <td>陸上からの施工時のみ</td> </tr> <tr> <td>杭 打 ち 用 ウォータージェット</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">14.7MPa (150kg/cm²) 325ℓ /min</td> <td>杭打ち用ウォーター ジェット使用時のみ</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">クローラクレーン 35～40 t 吊, 台船 300 t 積 (注) 2</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">水上からの施工時のみ</td> </tr> <tr> <td>引 船</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">鋼製 100 P S 型 (注) 2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. 水上施工の場合の注意事項。 ・潜水士船を必要に応じ計上する。 ・海上及び港湾工事で、これにより難しい場合は別途考慮する。 ・クレーン付台船には、単独施工時は油圧式杭圧入引抜機、同油圧ユニット、溶接機及び鋼矢板を搭載するものとし、鋼矢板の搭載質量は、230 t（ウォータージェット併用施工時は杭打ち用ウォータージェット、水槽も搭載し 210 t）以下とする。 3. 現場条件により上表により難しい場合は、現場条件に適した規格とする。 4. 濁水処理装置が必要な場合は、別途計上する。</p>	作業の種類 機 種	圧入及び引抜き	ウォータージェット 併用圧入	備 考	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 (注) 1		陸上からの施工時のみ	杭 打 ち 用 ウォータージェット	-	14.7MPa (150kg/cm ²) 325ℓ /min	杭打ち用ウォーター ジェット使用時のみ	クレーン付台船	クローラクレーン 35～40 t 吊, 台船 300 t 積 (注) 2		水上からの施工時のみ	引 船	鋼製 100 P S 型 (注) 2		<p>2-3-2 付属機械 油圧式杭圧入引抜機に付属する機械の機種、規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.3 付属機械の機種規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">作業の種類 機 種</th> <th style="width: 20%;"><u>圧入 (Nmax≤25) 引 抜 き</u></th> <th style="width: 20%;"><u>圧入 (Nmax≤50)</u></th> <th style="width: 45%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td colspan="2" style="text-align: center;"><u>排出ガス対策型 (第一次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 (注) 2</u></td> <td>陸上からの施工時のみ</td> </tr> <tr> <td>杭 打 ち 用 ウォータージェット</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;"><u>排出ガス対策型 (第一次基準値) 14.7MPa325ℓ /min</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">クローラクレーン 35～40 t 吊, 台船 300 t 積 (注) 3</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">水上からの施工時のみ</td> </tr> <tr> <td>引 船</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">鋼製 100 P S 型 (注) 3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) <u>1. 圧入 (Nmax≤50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。</u> <u>2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</u> <u>3. 水上施工の場合の注意事項</u> ・潜水士船を必要に応じ計上する。 ・海上及び港湾工事で、これにより難しい場合は別途考慮する。 ・クレーン付台船には、<u>圧入 (Nmax≤25)</u>時は油圧式杭圧入引抜機、同油圧ユニット、溶接機及び鋼矢板を搭載するものとし、鋼矢板の搭載質量は、230 t (<u>圧入 (Nmax≤50)</u>時は杭打ち用ウォータージェット、水槽も搭載し、鋼矢板の搭載質量は、210 t) 以下とする。 <u>4. 現場条件により上表により難しい場合は、現場条件に適した規格とする。</u> <u>5. 濁水処理装置が必要な場合は、別途計上する。</u></p>	作業の種類 機 種	<u>圧入 (Nmax≤25) 引 抜 き</u>	<u>圧入 (Nmax≤50)</u>	備 考	ラフテレーンクレーン	<u>排出ガス対策型 (第一次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 (注) 2</u>		陸上からの施工時のみ	杭 打 ち 用 ウォータージェット	-	<u>排出ガス対策型 (第一次基準値) 14.7MPa325ℓ /min</u>		クレーン付台船	クローラクレーン 35～40 t 吊, 台船 300 t 積 (注) 3		水上からの施工時のみ	引 船	鋼製 100 P S 型 (注) 3		
作業の種類 機 種	圧入及び引抜き	ウォータージェット 併用圧入	備 考																																						
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 (注) 1		陸上からの施工時のみ																																						
杭 打 ち 用 ウォータージェット	-	14.7MPa (150kg/cm ²) 325ℓ /min	杭打ち用ウォーター ジェット使用時のみ																																						
クレーン付台船	クローラクレーン 35～40 t 吊, 台船 300 t 積 (注) 2		水上からの施工時のみ																																						
引 船	鋼製 100 P S 型 (注) 2																																								
作業の種類 機 種	<u>圧入 (Nmax≤25) 引 抜 き</u>	<u>圧入 (Nmax≤50)</u>	備 考																																						
ラフテレーンクレーン	<u>排出ガス対策型 (第一次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 (注) 2</u>		陸上からの施工時のみ																																						
杭 打 ち 用 ウォータージェット	-	<u>排出ガス対策型 (第一次基準値) 14.7MPa325ℓ /min</u>																																							
クレーン付台船	クローラクレーン 35～40 t 吊, 台船 300 t 積 (注) 3		水上からの施工時のみ																																						
引 船	鋼製 100 P S 型 (注) 3																																								

とりまとめ工種（最終整備）

鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜き工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																																				
P.305 (6・①・13)	<p>2-4 編 成 人 員 (1) 油圧圧入引抜き工の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.4 編 成 人 員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>作 業 の 種 類</th> <th>世 話 役</th> <th>特殊作業員</th> <th>と び 工</th> <th>溶接工(注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧 入</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ウォータージェット併用圧入</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>引 抜 き</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 溶接工は継矢板を施工する場合のみ計上する。</p> <p>(2) 水上施工の1船団に対する船舶作業の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.5 船舶作業の編成人員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>クレーン付 台 船</th> <th>引 船</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高 級 船 員</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 船員は休日以外の休止日については、共通仮設費積算基準における準備費で繋船費として計上する。 2. 潜水士は、必要に応じて船員と同様な方法で計上する。 3. 海上及び港湾工事で、これにより難しい場合は別途考慮する。 4. 上表は、圧入又は引抜き作業の配置人員であり、搬入、搬出等の回航は共通仮設費積算基準における運搬費で計上する。</p>	作 業 の 種 類	世 話 役	特殊作業員	と び 工	溶接工(注)	圧 入	1	1	2	2	ウォータージェット併用圧入	1	1	2	2	引 抜 き	1	1	2	—	職 種	クレーン付 台 船	引 船	高 級 船 員	1	1	<p>2-4 編 成 人 員 (1) 油圧圧入引抜き工の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.4 編 成 人 員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>作 業 の 種 類</th> <th>世 話 役</th> <th>特殊作業員</th> <th>と び 工</th> <th>溶接工(注)2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>圧 入 (Nmax≤25)</u></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td><u>圧 入 (Nmax≤50)</u></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>引 抜 き</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) <u>1. 圧入 (Nmax≤50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。</u> <u>2. 溶接工は継矢板を施工する場合のみ計上する。</u></p> <p>(2) 水上施工の1船団に対する船舶作業の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.5 船舶作業の編成人員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>クレーン付 台 船</th> <th>引 船</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高 級 船 員</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 船員は休日以外の休止日については、共通仮設費積算基準における準備費で繋船費として計上する。 2. 潜水士は、必要に応じて船員と同様な方法で計上する。 3. 海上及び港湾工事で、これにより難しい場合は別途考慮する。 4. 上表は、圧入又は引抜き作業の配置人員であり、搬入、搬出等の回航は共通仮設費積算基準における運搬費で計上する。</p>	作 業 の 種 類	世 話 役	特殊作業員	と び 工	溶接工(注)2	<u>圧 入 (Nmax≤25)</u>	1	1	2	2	<u>圧 入 (Nmax≤50)</u>	1	1	2	2	引 抜 き	1	1	2	—	職 種	クレーン付 台 船	引 船	高 級 船 員	1	1	
作 業 の 種 類	世 話 役	特殊作業員	と び 工	溶接工(注)																																																			
圧 入	1	1	2	2																																																			
ウォータージェット併用圧入	1	1	2	2																																																			
引 抜 き	1	1	2	—																																																			
職 種	クレーン付 台 船	引 船																																																					
高 級 船 員	1	1																																																					
作 業 の 種 類	世 話 役	特殊作業員	と び 工	溶接工(注)2																																																			
<u>圧 入 (Nmax≤25)</u>	1	1	2	2																																																			
<u>圧 入 (Nmax≤50)</u>	1	1	2	2																																																			
引 抜 き	1	1	2	—																																																			
職 種	クレーン付 台 船	引 船																																																					
高 級 船 員	1	1																																																					

とりまとめ工種（最終整備）

鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜き工）

現行基準のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																																																																																																																			
P. 306 (6・①・14)	<p>2-5 日当り施工枚数 2-5-1 圧入、引抜き（継施工なし） 鋼矢板の圧入及び引抜き作業における1日当り施工枚数（N）は、表 2.6～2.8 による。</p> <p>(1) 油圧式杭圧入引抜き機による圧入（$N_{max} \leq 25$）</p> <p style="text-align: center;">表 2.6 日当り施工枚数（N） (枚/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">鋼矢板型式 \ 圧入長(m)</th> <th>2以下</th> <th>4以下</th> <th>6以下</th> <th>9以下</th> <th>12以下</th> <th>16以下</th> <th>20以下</th> <th>25以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II・III・IV・V型</td> <td>51</td> <td>43</td> <td>33</td> <td>26</td> <td>20</td> <td>16</td> <td>13</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IIw・IIIw・IVw型</td> <td>46</td> <td>39</td> <td>29</td> <td>22</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表 2.2 による。</p> <p>(2) 油圧式杭圧入引抜き機とウォータージェット併用圧入</p> <p style="text-align: center;">表 2.7 日当り施工枚数（ウォータージェット併用）（N） (枚/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">鋼矢板型式 \ 圧入長(m)</th> <th>2以下</th> <th>4以下</th> <th>7以下</th> <th>10以下</th> <th>15以下</th> <th>20以下</th> <th>25以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II・III・IV・V型</td> <td>32 (34)</td> <td>28 (30)</td> <td>22 (24)</td> <td>17 (17)</td> <td>13 (15)</td> <td>10 (12)</td> <td>— (—)</td> </tr> <tr> <td>IIw・IIIw・IVw型</td> <td>31 (33)</td> <td>27 (29)</td> <td>20 (23)</td> <td>16 (18)</td> <td>12 (14)</td> <td>10 (11)</td> <td>8 (9)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表 2.2 による。 3. 上段：$25 < N_{max} \leq 50$ 下段（ ）書き：$N_{max} \leq 25$ で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要がある生じた場合。</p>	鋼矢板型式 \ 圧入長(m)	2以下	4以下	6以下	9以下	12以下	16以下	20以下	25以下	II・III・IV・V型	51	43	33	26	20	16	13	—	IIw・IIIw・IVw型	46	39	29	22	17	14	11	9	鋼矢板型式 \ 圧入長(m)	2以下	4以下	7以下	10以下	15以下	20以下	25以下	II・III・IV・V型	32 (34)	28 (30)	22 (24)	17 (17)	13 (15)	10 (12)	— (—)	IIw・IIIw・IVw型	31 (33)	27 (29)	20 (23)	16 (18)	12 (14)	10 (11)	8 (9)	<p>2-5 日当り施工枚数 2-5-1 圧入、引抜き（継施工なし） 鋼矢板の圧入及び引抜き作業における1日当り施工枚数（N）は、表 2.6～2.8 による。</p> <p>(1) <u>圧入（$N_{max} \leq 25$）</u></p> <p style="text-align: center;">表 2.6 日当り施工枚数（N） (枚/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">鋼矢板型式 \ 圧入長(m)</th> <th>2以下</th> <th>4以下</th> <th>6以下</th> <th>9以下</th> <th>12以下</th> <th>15以下</th> <th>19以下</th> <th>23以下</th> <th>25以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II・III・IV型</td> <td><u>62</u></td> <td><u>45</u></td> <td><u>35</u></td> <td><u>28</u></td> <td><u>22</u></td> <td><u>18</u></td> <td><u>15</u></td> <td><u>13</u></td> <td><u>—</u></td> </tr> <tr> <td>V L・VI L型</td> <td><u>59</u></td> <td><u>41</u></td> <td><u>31</u></td> <td><u>24</u></td> <td><u>19</u></td> <td><u>16</u></td> <td><u>13</u></td> <td><u>11</u></td> <td><u>10</u></td> </tr> <tr> <td>IIw・IIIw・IVw型</td> <td><u>59</u></td> <td><u>41</u></td> <td><u>31</u></td> <td><u>24</u></td> <td><u>19</u></td> <td><u>15</u></td> <td><u>13</u></td> <td><u>11</u></td> <td><u>9</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、<u>表 2.1</u> による。 3. <u>日当り施工枚数には、敷鉄板の施工手間が含まれている。</u></p> <p>(2) <u>圧入（$N_{max} \leq 50$）</u></p> <p style="text-align: center;">表 2.7 日当り施工枚数（N） (枚/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">鋼矢板型式 \ 圧入長(m)</th> <th>2以下</th> <th>4以下</th> <th>6以下</th> <th>9以下</th> <th>12以下</th> <th>15以下</th> <th>19以下</th> <th>23以下</th> <th>25以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II・III・IV型</td> <td><u>41</u> <u>(42)</u></td> <td><u>30</u> <u>(33)</u></td> <td><u>24</u> <u>(27)</u></td> <td><u>19</u> <u>(22)</u></td> <td><u>16</u> <u>(18)</u></td> <td><u>13</u> <u>(15)</u></td> <td><u>11</u> <u>(13)</u></td> <td><u>9</u> <u>(11)</u></td> <td><u>—</u> <u>(—)</u></td> </tr> <tr> <td>V L・VI L型</td> <td><u>40</u> <u>(41)</u></td> <td><u>29</u> <u>(31)</u></td> <td><u>23</u> <u>(25)</u></td> <td><u>18</u> <u>(20)</u></td> <td><u>14</u> <u>(16)</u></td> <td><u>12</u> <u>(14)</u></td> <td><u>10</u> <u>(12)</u></td> <td><u>8</u> <u>(10)</u></td> <td><u>8</u> <u>(9)</u></td> </tr> <tr> <td>IIw・IIIw・IVw型</td> <td><u>40</u> <u>(41)</u></td> <td><u>29</u> <u>(31)</u></td> <td><u>23</u> <u>(25)</u></td> <td><u>18</u> <u>(20)</u></td> <td><u>14</u> <u>(16)</u></td> <td><u>12</u> <u>(14)</u></td> <td><u>10</u> <u>(11)</u></td> <td><u>8</u> <u>(10)</u></td> <td><u>7</u> <u>(9)</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. <u>圧入（$N_{max} \leq 50$）は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。</u> 2. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。 3. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、<u>表 2.1</u> による。 4. <u>上段：$25 < N_{max} \leq 50$</u> 下段（ ）書き：$N_{max} \leq 25$ で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要がある生じた場合。 5. <u>日当り施工枚数には、敷鉄板の施工手間が含まれている。</u></p>	鋼矢板型式 \ 圧入長(m)	2以下	4以下	6以下	9以下	12以下	15以下	19以下	23以下	25以下	II・III・IV型	<u>62</u>	<u>45</u>	<u>35</u>	<u>28</u>	<u>22</u>	<u>18</u>	<u>15</u>	<u>13</u>	<u>—</u>	V L・VI L型	<u>59</u>	<u>41</u>	<u>31</u>	<u>24</u>	<u>19</u>	<u>16</u>	<u>13</u>	<u>11</u>	<u>10</u>	IIw・IIIw・IVw型	<u>59</u>	<u>41</u>	<u>31</u>	<u>24</u>	<u>19</u>	<u>15</u>	<u>13</u>	<u>11</u>	<u>9</u>	鋼矢板型式 \ 圧入長(m)	2以下	4以下	6以下	9以下	12以下	15以下	19以下	23以下	25以下	II・III・IV型	<u>41</u> <u>(42)</u>	<u>30</u> <u>(33)</u>	<u>24</u> <u>(27)</u>	<u>19</u> <u>(22)</u>	<u>16</u> <u>(18)</u>	<u>13</u> <u>(15)</u>	<u>11</u> <u>(13)</u>	<u>9</u> <u>(11)</u>	<u>—</u> <u>(—)</u>	V L・VI L型	<u>40</u> <u>(41)</u>	<u>29</u> <u>(31)</u>	<u>23</u> <u>(25)</u>	<u>18</u> <u>(20)</u>	<u>14</u> <u>(16)</u>	<u>12</u> <u>(14)</u>	<u>10</u> <u>(12)</u>	<u>8</u> <u>(10)</u>	<u>8</u> <u>(9)</u>	IIw・IIIw・IVw型	<u>40</u> <u>(41)</u>	<u>29</u> <u>(31)</u>	<u>23</u> <u>(25)</u>	<u>18</u> <u>(20)</u>	<u>14</u> <u>(16)</u>	<u>12</u> <u>(14)</u>	<u>10</u> <u>(11)</u>	<u>8</u> <u>(10)</u>	<u>7</u> <u>(9)</u>	
鋼矢板型式 \ 圧入長(m)	2以下	4以下	6以下	9以下	12以下	16以下	20以下	25以下																																																																																																																														
II・III・IV・V型	51	43	33	26	20	16	13	—																																																																																																																														
IIw・IIIw・IVw型	46	39	29	22	17	14	11	9																																																																																																																														
鋼矢板型式 \ 圧入長(m)	2以下	4以下	7以下	10以下	15以下	20以下	25以下																																																																																																																															
II・III・IV・V型	32 (34)	28 (30)	22 (24)	17 (17)	13 (15)	10 (12)	— (—)																																																																																																																															
IIw・IIIw・IVw型	31 (33)	27 (29)	20 (23)	16 (18)	12 (14)	10 (11)	8 (9)																																																																																																																															
鋼矢板型式 \ 圧入長(m)	2以下	4以下	6以下	9以下	12以下	15以下	19以下	23以下	25以下																																																																																																																													
II・III・IV型	<u>62</u>	<u>45</u>	<u>35</u>	<u>28</u>	<u>22</u>	<u>18</u>	<u>15</u>	<u>13</u>	<u>—</u>																																																																																																																													
V L・VI L型	<u>59</u>	<u>41</u>	<u>31</u>	<u>24</u>	<u>19</u>	<u>16</u>	<u>13</u>	<u>11</u>	<u>10</u>																																																																																																																													
IIw・IIIw・IVw型	<u>59</u>	<u>41</u>	<u>31</u>	<u>24</u>	<u>19</u>	<u>15</u>	<u>13</u>	<u>11</u>	<u>9</u>																																																																																																																													
鋼矢板型式 \ 圧入長(m)	2以下	4以下	6以下	9以下	12以下	15以下	19以下	23以下	25以下																																																																																																																													
II・III・IV型	<u>41</u> <u>(42)</u>	<u>30</u> <u>(33)</u>	<u>24</u> <u>(27)</u>	<u>19</u> <u>(22)</u>	<u>16</u> <u>(18)</u>	<u>13</u> <u>(15)</u>	<u>11</u> <u>(13)</u>	<u>9</u> <u>(11)</u>	<u>—</u> <u>(—)</u>																																																																																																																													
V L・VI L型	<u>40</u> <u>(41)</u>	<u>29</u> <u>(31)</u>	<u>23</u> <u>(25)</u>	<u>18</u> <u>(20)</u>	<u>14</u> <u>(16)</u>	<u>12</u> <u>(14)</u>	<u>10</u> <u>(12)</u>	<u>8</u> <u>(10)</u>	<u>8</u> <u>(9)</u>																																																																																																																													
IIw・IIIw・IVw型	<u>40</u> <u>(41)</u>	<u>29</u> <u>(31)</u>	<u>23</u> <u>(25)</u>	<u>18</u> <u>(20)</u>	<u>14</u> <u>(16)</u>	<u>12</u> <u>(14)</u>	<u>10</u> <u>(11)</u>	<u>8</u> <u>(10)</u>	<u>7</u> <u>(9)</u>																																																																																																																													

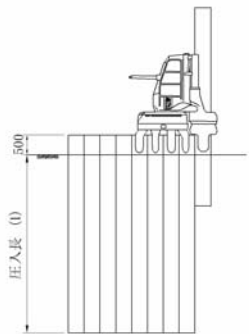
とりまとめ工種（最終整備）
鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜き工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																		
P. 306 (6・①・14)	(3) 油圧式杭圧入引抜き機による引抜き <p style="text-align: center;">表 2.8 日当り施工枚数 (N) (枚/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">引抜き長(m) 鋼矢板型式</th> <th style="width: 10%;">2以下</th> <th style="width: 10%;">4以下</th> <th style="width: 10%;">7以下</th> <th style="width: 10%;">11以下</th> <th style="width: 10%;">15以下</th> <th style="width: 10%;">20以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ型</td> <td>78</td> <td>70</td> <td>56</td> <td>44</td> <td>35</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 引抜き長とは、地表面よりの鋼矢板の引抜き長であり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表 2.2 による。</p>	引抜き長(m) 鋼矢板型式	2以下	4以下	7以下	11以下	15以下	20以下	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ型	78	70	56	44	35	29	(3) <u>引抜き</u> <p style="text-align: center;">表 2.8 日当り施工枚数 (N) (枚/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"><u>引抜き長(m)</u> <u>鋼矢板型式</u></th> <th style="width: 10%;"><u>2以下</u></th> <th style="width: 10%;"><u>4以下</u></th> <th style="width: 10%;"><u>6以下</u></th> <th style="width: 10%;"><u>9以下</u></th> <th style="width: 10%;"><u>12以下</u></th> <th style="width: 10%;"><u>15以下</u></th> <th style="width: 10%;"><u>19以下</u></th> <th style="width: 10%;"><u>23以下</u></th> <th style="width: 10%;"><u>25以下</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅵ・Ⅶ型</u></td> <td><u>86</u></td> <td><u>70</u></td> <td><u>58</u></td> <td><u>48</u></td> <td><u>40</u></td> <td><u>34</u></td> <td><u>30</u></td> <td><u>25</u></td> <td><u>23</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 引抜き長とは、地表面よりの鋼矢板の引抜き長であり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、<u>表 2.1</u> による。 3. <u>日当り施工枚数には、敷鉄板の施工手間が含まれている。</u></p>	<u>引抜き長(m)</u> <u>鋼矢板型式</u>	<u>2以下</u>	<u>4以下</u>	<u>6以下</u>	<u>9以下</u>	<u>12以下</u>	<u>15以下</u>	<u>19以下</u>	<u>23以下</u>	<u>25以下</u>	<u>Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅵ・Ⅶ型</u>	<u>86</u>	<u>70</u>	<u>58</u>	<u>48</u>	<u>40</u>	<u>34</u>	<u>30</u>	<u>25</u>	<u>23</u>	
引抜き長(m) 鋼矢板型式	2以下	4以下	7以下	11以下	15以下	20以下																															
Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ型	78	70	56	44	35	29																															
<u>引抜き長(m)</u> <u>鋼矢板型式</u>	<u>2以下</u>	<u>4以下</u>	<u>6以下</u>	<u>9以下</u>	<u>12以下</u>	<u>15以下</u>	<u>19以下</u>	<u>23以下</u>	<u>25以下</u>																												
<u>Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅵ・Ⅶ型</u>	<u>86</u>	<u>70</u>	<u>58</u>	<u>48</u>	<u>40</u>	<u>34</u>	<u>30</u>	<u>25</u>	<u>23</u>																												

とりまとめ工種（最終整備）
鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																																																																																																																																										
P. 307 (6・①・15)	<p style="text-align: center;">(2) 油圧式杭圧入引抜機とウォータージェット併用圧入継施工</p> <p style="text-align: center;">表 2.10 日当り継施工枚数（ウォータージェット併用）(N) (枚/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">圧入長(m) 鋼矢板型式</th> <th>2以下</th> <th>4以下</th> <th>7以下</th> <th>10以下</th> <th>15以下</th> <th>20以下</th> <th>25以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ⅱ 型</td> <td>16 (16)</td> <td>15 (15)</td> <td>13 (14)</td> <td>11 (12)</td> <td>9 (10)</td> <td>— (—)</td> <td>— (—)</td> </tr> <tr> <td>Ⅲ 型</td> <td>13 (13)</td> <td>12 (12)</td> <td>11 (11)</td> <td>9 (10)</td> <td>8 (9)</td> <td>7 (8)</td> <td>— (—)</td> </tr> <tr> <td>Ⅳ 型</td> <td>10 (10)</td> <td>10 (10)</td> <td>9 (9)</td> <td>8 (8)</td> <td>7 (8)</td> <td>6 (7)</td> <td>— (—)</td> </tr> <tr> <td>Ⅴ 型</td> <td>6 (6)</td> <td>6 (6)</td> <td>6 (6)</td> <td>5 (6)</td> <td>5 (5)</td> <td>4 (5)</td> <td>— (—)</td> </tr> <tr> <td>Ⅱw型</td> <td>14 (15)</td> <td>14 (14)</td> <td>11 (12)</td> <td>10 (11)</td> <td>8 (9)</td> <td>— (—)</td> <td>— (—)</td> </tr> <tr> <td>Ⅲw型</td> <td>11 (12)</td> <td>11 (11)</td> <td>9 (10)</td> <td>8 (9)</td> <td>7 (8)</td> <td>6 (7)</td> <td>6 (6)</td> </tr> <tr> <td>Ⅳw型</td> <td>8 (8)</td> <td>8 (8)</td> <td>7 (7)</td> <td>7 (7)</td> <td>6 (6)</td> <td>5 (6)</td> <td>5 (5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表 2.2 による。 3. 上段：25 < Nmax ≤ 50 下段（ ）書き：Nmax ≤ 25 で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。</p>	圧入長(m) 鋼矢板型式	2以下	4以下	7以下	10以下	15以下	20以下	25以下	Ⅱ 型	16 (16)	15 (15)	13 (14)	11 (12)	9 (10)	— (—)	— (—)	Ⅲ 型	13 (13)	12 (12)	11 (11)	9 (10)	8 (9)	7 (8)	— (—)	Ⅳ 型	10 (10)	10 (10)	9 (9)	8 (8)	7 (8)	6 (7)	— (—)	Ⅴ 型	6 (6)	6 (6)	6 (6)	5 (6)	5 (5)	4 (5)	— (—)	Ⅱw型	14 (15)	14 (14)	11 (12)	10 (11)	8 (9)	— (—)	— (—)	Ⅲw型	11 (12)	11 (11)	9 (10)	8 (9)	7 (8)	6 (7)	6 (6)	Ⅳw型	8 (8)	8 (8)	7 (7)	7 (7)	6 (6)	5 (6)	5 (5)	<p style="text-align: center;">(2) <u>圧入継施工 (Nmax ≤ 50)</u></p> <p style="text-align: center;">表 2.10 日当り継施工枚数 (N) (枚/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">圧入長(m) 鋼矢板型式</th> <th><u>2以下</u></th> <th><u>4以下</u></th> <th><u>6以下</u></th> <th><u>9以下</u></th> <th><u>12以下</u></th> <th><u>15以下</u></th> <th><u>19以下</u></th> <th><u>23以下</u></th> <th><u>25以下</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>Ⅱ 型</u></td> <td><u>18</u> (18)</td> <td><u>16</u> (17)</td> <td><u>14</u> (15)</td> <td><u>12</u> (13)</td> <td><u>11</u> (12)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td><u>Ⅲ 型</u></td> <td><u>15</u> (15)</td> <td><u>13</u> (14)</td> <td><u>12</u> (13)</td> <td><u>11</u> (11)</td> <td><u>10</u> (10)</td> <td><u>8</u> (9)</td> <td><u>8</u> (8)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td><u>Ⅳ 型</u></td> <td><u>13</u> (14)</td> <td><u>12</u> (12)</td> <td><u>11</u> (11)</td> <td><u>10</u> (10)</td> <td><u>9</u> (9)</td> <td><u>8</u> (9)</td> <td><u>7</u> (8)</td> <td><u>6</u> (7)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td><u>ⅤL型</u></td> <td><u>8</u> (8)</td> <td><u>7</u> (8)</td> <td><u>7</u> (7)</td> <td><u>6</u> (7)</td> <td><u>6</u> (6)</td> <td><u>5</u> (6)</td> <td><u>5</u> (5)</td> <td><u>4</u> (5)</td> <td><u>4</u> (5)</td> </tr> <tr> <td><u>ⅤL型</u></td> <td><u>7</u> (7)</td> <td><u>6</u> (6)</td> <td><u>6</u> (6)</td> <td><u>6</u> (6)</td> <td><u>5</u> (5)</td> <td><u>5</u> (5)</td> <td><u>4</u> (5)</td> <td><u>4</u> (4)</td> <td><u>4</u> (4)</td> </tr> <tr> <td><u>Ⅱw型</u></td> <td><u>17</u> (17)</td> <td><u>15</u> (15)</td> <td><u>13</u> (13)</td> <td><u>11</u> (12)</td> <td><u>9</u> (10)</td> <td><u>8</u> (9)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td><u>Ⅲw型</u></td> <td><u>13</u> (13)</td> <td><u>12</u> (12)</td> <td><u>11</u> (11)</td> <td><u>9</u> (10)</td> <td><u>8</u> (9)</td> <td><u>8</u> (8)</td> <td><u>7</u> (7)</td> <td><u>6</u> (7)</td> <td><u>5</u> (6)</td> </tr> <tr> <td><u>Ⅳw型</u></td> <td><u>10</u> (10)</td> <td><u>9</u> (9)</td> <td><u>8</u> (9)</td> <td><u>8</u> (8)</td> <td><u>7</u> (7)</td> <td><u>6</u> (7)</td> <td><u>6</u> (6)</td> <td><u>5</u> (6)</td> <td><u>5</u> (5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) <u>1. 圧入 (Nmax ≤ 50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。</u> <u>2. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。</u> <u>3. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表 2.1 による。</u> <u>4. 上段：25 < Nmax ≤ 50</u> 下段（ ）書き：Nmax ≤ 25 で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。 <u>5. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工手間が含まれている。</u></p>	圧入長(m) 鋼矢板型式	<u>2以下</u>	<u>4以下</u>	<u>6以下</u>	<u>9以下</u>	<u>12以下</u>	<u>15以下</u>	<u>19以下</u>	<u>23以下</u>	<u>25以下</u>	<u>Ⅱ 型</u>	<u>18</u> (18)	<u>16</u> (17)	<u>14</u> (15)	<u>12</u> (13)	<u>11</u> (12)	—	—	—	—	<u>Ⅲ 型</u>	<u>15</u> (15)	<u>13</u> (14)	<u>12</u> (13)	<u>11</u> (11)	<u>10</u> (10)	<u>8</u> (9)	<u>8</u> (8)	—	—	<u>Ⅳ 型</u>	<u>13</u> (14)	<u>12</u> (12)	<u>11</u> (11)	<u>10</u> (10)	<u>9</u> (9)	<u>8</u> (9)	<u>7</u> (8)	<u>6</u> (7)	—	<u>ⅤL型</u>	<u>8</u> (8)	<u>7</u> (8)	<u>7</u> (7)	<u>6</u> (7)	<u>6</u> (6)	<u>5</u> (6)	<u>5</u> (5)	<u>4</u> (5)	<u>4</u> (5)	<u>ⅤL型</u>	<u>7</u> (7)	<u>6</u> (6)	<u>6</u> (6)	<u>6</u> (6)	<u>5</u> (5)	<u>5</u> (5)	<u>4</u> (5)	<u>4</u> (4)	<u>4</u> (4)	<u>Ⅱw型</u>	<u>17</u> (17)	<u>15</u> (15)	<u>13</u> (13)	<u>11</u> (12)	<u>9</u> (10)	<u>8</u> (9)	—	—	—	<u>Ⅲw型</u>	<u>13</u> (13)	<u>12</u> (12)	<u>11</u> (11)	<u>9</u> (10)	<u>8</u> (9)	<u>8</u> (8)	<u>7</u> (7)	<u>6</u> (7)	<u>5</u> (6)	<u>Ⅳw型</u>	<u>10</u> (10)	<u>9</u> (9)	<u>8</u> (9)	<u>8</u> (8)	<u>7</u> (7)	<u>6</u> (7)	<u>6</u> (6)	<u>5</u> (6)	<u>5</u> (5)	
圧入長(m) 鋼矢板型式	2以下	4以下	7以下	10以下	15以下	20以下	25以下																																																																																																																																																						
Ⅱ 型	16 (16)	15 (15)	13 (14)	11 (12)	9 (10)	— (—)	— (—)																																																																																																																																																						
Ⅲ 型	13 (13)	12 (12)	11 (11)	9 (10)	8 (9)	7 (8)	— (—)																																																																																																																																																						
Ⅳ 型	10 (10)	10 (10)	9 (9)	8 (8)	7 (8)	6 (7)	— (—)																																																																																																																																																						
Ⅴ 型	6 (6)	6 (6)	6 (6)	5 (6)	5 (5)	4 (5)	— (—)																																																																																																																																																						
Ⅱw型	14 (15)	14 (14)	11 (12)	10 (11)	8 (9)	— (—)	— (—)																																																																																																																																																						
Ⅲw型	11 (12)	11 (11)	9 (10)	8 (9)	7 (8)	6 (7)	6 (6)																																																																																																																																																						
Ⅳw型	8 (8)	8 (8)	7 (7)	7 (7)	6 (6)	5 (6)	5 (5)																																																																																																																																																						
圧入長(m) 鋼矢板型式	<u>2以下</u>	<u>4以下</u>	<u>6以下</u>	<u>9以下</u>	<u>12以下</u>	<u>15以下</u>	<u>19以下</u>	<u>23以下</u>	<u>25以下</u>																																																																																																																																																				
<u>Ⅱ 型</u>	<u>18</u> (18)	<u>16</u> (17)	<u>14</u> (15)	<u>12</u> (13)	<u>11</u> (12)	—	—	—	—																																																																																																																																																				
<u>Ⅲ 型</u>	<u>15</u> (15)	<u>13</u> (14)	<u>12</u> (13)	<u>11</u> (11)	<u>10</u> (10)	<u>8</u> (9)	<u>8</u> (8)	—	—																																																																																																																																																				
<u>Ⅳ 型</u>	<u>13</u> (14)	<u>12</u> (12)	<u>11</u> (11)	<u>10</u> (10)	<u>9</u> (9)	<u>8</u> (9)	<u>7</u> (8)	<u>6</u> (7)	—																																																																																																																																																				
<u>ⅤL型</u>	<u>8</u> (8)	<u>7</u> (8)	<u>7</u> (7)	<u>6</u> (7)	<u>6</u> (6)	<u>5</u> (6)	<u>5</u> (5)	<u>4</u> (5)	<u>4</u> (5)																																																																																																																																																				
<u>ⅤL型</u>	<u>7</u> (7)	<u>6</u> (6)	<u>6</u> (6)	<u>6</u> (6)	<u>5</u> (5)	<u>5</u> (5)	<u>4</u> (5)	<u>4</u> (4)	<u>4</u> (4)																																																																																																																																																				
<u>Ⅱw型</u>	<u>17</u> (17)	<u>15</u> (15)	<u>13</u> (13)	<u>11</u> (12)	<u>9</u> (10)	<u>8</u> (9)	—	—	—																																																																																																																																																				
<u>Ⅲw型</u>	<u>13</u> (13)	<u>12</u> (12)	<u>11</u> (11)	<u>9</u> (10)	<u>8</u> (9)	<u>8</u> (8)	<u>7</u> (7)	<u>6</u> (7)	<u>5</u> (6)																																																																																																																																																				
<u>Ⅳw型</u>	<u>10</u> (10)	<u>9</u> (9)	<u>8</u> (9)	<u>8</u> (8)	<u>7</u> (7)	<u>6</u> (7)	<u>6</u> (6)	<u>5</u> (6)	<u>5</u> (5)																																																																																																																																																				

とりまとめ工種（最終整備） 鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																						
P. 307 (6・①・15)	(3) 鋼矢板 1 枚当り継施工箇所数による補正 表 2.11 鋼矢板 1 枚当り継施工箇所補正係数 (F) <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">鋼矢板 1 枚当り継施工箇所数(N_N)</td> <td style="padding: 5px;">1</td> <td style="padding: 5px;">2</td> <td style="padding: 5px;">3</td> <td style="padding: 5px;">4</td> <td style="padding: 5px;">5</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">補 正 係 数 (F)</td> <td style="padding: 5px;">1.00</td> <td style="padding: 5px;">0.66</td> <td style="padding: 5px;">0.52</td> <td style="padding: 5px;">0.42</td> <td style="padding: 5px;">0.35</td> </tr> </table>	鋼矢板 1 枚当り継施工箇所数(N _N)	1	2	3	4	5	補 正 係 数 (F)	1.00	0.66	0.52	0.42	0.35	(3) 鋼矢板 1 枚当り継施工箇所数による補正 表 2.11 <u>補正係数 (F) (鋼矢板 1 枚当り 2 箇所以上継施工を行う場合)</u> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">鋼矢板 1 枚当り継施工箇所数(X)</td> <td style="padding: 5px;"><u>2 箇所</u></td> <td style="padding: 5px;"><u>3 箇所</u></td> <td style="padding: 5px;"><u>4 箇所</u></td> <td style="padding: 5px;"><u>5 箇所</u></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">補 正 係 数 (F)</td> <td style="padding: 5px;"><u>0.66</u></td> <td style="padding: 5px;"><u>0.50</u></td> <td style="padding: 5px;"><u>0.40</u></td> <td style="padding: 5px;"><u>0.34</u></td> </tr> </table>	鋼矢板 1 枚当り継施工箇所数(X)	<u>2 箇所</u>	<u>3 箇所</u>	<u>4 箇所</u>	<u>5 箇所</u>	補 正 係 数 (F)	<u>0.66</u>	<u>0.50</u>	<u>0.40</u>	<u>0.34</u>	
鋼矢板 1 枚当り継施工箇所数(N _N)	1	2	3	4	5																				
補 正 係 数 (F)	1.00	0.66	0.52	0.42	0.35																				
鋼矢板 1 枚当り継施工箇所数(X)	<u>2 箇所</u>	<u>3 箇所</u>	<u>4 箇所</u>	<u>5 箇所</u>																					
補 正 係 数 (F)	<u>0.66</u>	<u>0.50</u>	<u>0.40</u>	<u>0.34</u>																					
P. 308 (6・①・16)	2-5-3 鋼矢板の引抜き・切断 鋼矢板を鉛直に吊り上げた状態で、鋼矢板を切断する場合には、別途計上する。 (参考図) 	2-5-3 鋼矢板の引抜き・切断 鋼矢板を鉛直に吊り上げた状態で、鋼矢板を切断する場合には、別途計上する。 <u>《参考図→削除》</u>																							

とりまとめ工種（最終整備）
鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																																										
P. 308 (6・①・16)	<p>2-5-4 油圧式杭圧入引抜機の据付・解体歩掛 据付・解体は、施工前の準備としての施工機械の設置、試運転調整等と施工後の施工機械の解体・撤去作業であり、歩掛は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.12 据付・解体歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th colspan="3">労務（人／回）</th> <th colspan="2">組合せ機械運転時間（日／回）</th> </tr> <tr> <th>世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>とび工</th> <th>油圧式杭 圧入引抜機</th> <th>ラフテレーン クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧入</td> <td>0.31</td> <td>0.31</td> <td>0.63</td> <td>0.24</td> <td>0.38</td> </tr> <tr> <td>ウォータージェット 併用圧入</td> <td>0.53</td> <td>0.53</td> <td>1.05</td> <td>0.24</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>引抜き</td> <td>0.21</td> <td>0.21</td> <td>0.43</td> <td>0.11</td> <td>0.25</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛は、既設鋼矢板の有無に関わらず適用できる。 2. 本表は、据付・解体1回当りの歩掛である。したがって、1工事で機械1組につき、工事着工時には1回、現場内移設時には移設回数分計上する。 3. 水上施工等で反力架台が設置できない場合には、初期鋼矢板の施工は、パイプロハンマ工により別途積算する。また、引抜きにおいても残鋼矢板の施工はパイプロハンマ工により別途計上する。（初期または残鋼矢板：Ⅱ～Ⅳ型4枚、Ⅴ型及びⅡw～Ⅳw型3枚、ハット形鋼矢板4枚） なお、クレーン付台船及び引船の運転日数は、世話役の歩掛を「日／回」と読み変えて適用するものとし、回航費用は別途計上する。</p>	作業の種類	労務（人／回）			組合せ機械運転時間（日／回）		世話役	特殊作業員	とび工	油圧式杭 圧入引抜機	ラフテレーン クレーン	圧入	0.31	0.31	0.63	0.24	0.38	ウォータージェット 併用圧入	0.53	0.53	1.05	0.24	0.60	引抜き	0.21	0.21	0.43	0.11	0.25	<p>2-5-4 油圧式杭圧入引抜機の据付・解体歩掛 据付・解体は、施工前の準備としての施工機械の設置、試運転調整等と施工後の施工機械の解体・撤去作業であり、歩掛は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.12 据付・解体歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th colspan="3">労務（人／回）</th> <th colspan="2">組合せ機械運転時間（日／回）</th> </tr> <tr> <th>世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>とび工</th> <th>油圧式杭 圧入引抜機</th> <th>ラフテレーン クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>圧入 (Nmax≤25)</u></td> <td><u>0.29</u></td> <td><u>0.29</u></td> <td><u>0.58</u></td> <td><u>0.25</u></td> <td><u>0.30</u></td> </tr> <tr> <td><u>圧入 (Nmax≤50)</u></td> <td><u>0.50</u></td> <td><u>0.50</u></td> <td><u>1.00</u></td> <td><u>0.29</u></td> <td><u>0.45</u></td> </tr> <tr> <td><u>引抜き</u></td> <td><u>0.19</u></td> <td><u>0.19</u></td> <td><u>0.39</u></td> <td><u>0.13</u></td> <td><u>0.19</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) <u>1. 圧入 (Nmax≤50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。</u> <u>2. 本歩掛は、既設鋼矢板、反力架台いずれを使用する場合も適用できる。</u> 3. 本表は、据付・解体1回当りの歩掛である。したがって、1工事で機械1組につき、工事着工時には1回、現場内移設時には移設回数分計上する。 4. 水上施工等で反力架台が設置できない場合には、初期鋼矢板の施工は、パイプロハンマ工により別途積算する。また、引抜きにおいても残鋼矢板の施工はパイプロハンマ工により別途計上する。（初期または残鋼矢板：Ⅱ～Ⅳ型4枚、<u>ⅤL～ⅤL型</u>及びⅡw～Ⅳw型3枚） なお、クレーン付台船及び引船の運転日数は、世話役の歩掛を「日／回」と読み変えて適用するものとし、回航費用は別途計上する。</p>	作業の種類	労務（人／回）			組合せ機械運転時間（日／回）		世話役	特殊作業員	とび工	油圧式杭 圧入引抜機	ラフテレーン クレーン	<u>圧入 (Nmax≤25)</u>	<u>0.29</u>	<u>0.29</u>	<u>0.58</u>	<u>0.25</u>	<u>0.30</u>	<u>圧入 (Nmax≤50)</u>	<u>0.50</u>	<u>0.50</u>	<u>1.00</u>	<u>0.29</u>	<u>0.45</u>	<u>引抜き</u>	<u>0.19</u>	<u>0.19</u>	<u>0.39</u>	<u>0.13</u>	<u>0.19</u>	
作業の種類	労務（人／回）			組合せ機械運転時間（日／回）																																																									
	世話役	特殊作業員	とび工	油圧式杭 圧入引抜機	ラフテレーン クレーン																																																								
圧入	0.31	0.31	0.63	0.24	0.38																																																								
ウォータージェット 併用圧入	0.53	0.53	1.05	0.24	0.60																																																								
引抜き	0.21	0.21	0.43	0.11	0.25																																																								
作業の種類	労務（人／回）			組合せ機械運転時間（日／回）																																																									
	世話役	特殊作業員	とび工	油圧式杭 圧入引抜機	ラフテレーン クレーン																																																								
<u>圧入 (Nmax≤25)</u>	<u>0.29</u>	<u>0.29</u>	<u>0.58</u>	<u>0.25</u>	<u>0.30</u>																																																								
<u>圧入 (Nmax≤50)</u>	<u>0.50</u>	<u>0.50</u>	<u>1.00</u>	<u>0.29</u>	<u>0.45</u>																																																								
<u>引抜き</u>	<u>0.19</u>	<u>0.19</u>	<u>0.39</u>	<u>0.13</u>	<u>0.19</u>																																																								

とりまとめ工種（最終整備）
鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜き工）

現行基準のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																					
P. 308 (6・①・16)	<p>2-5-5 諸雑費 諸雑費は、溶接棒、電気溶接機損料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費（配管バンド及び溶接棒、電気溶接機損料、水中ポンプ損料、水槽及び配管損料）、電力に関する経費等の費用（継施工に関する経費は除く）であり、労務費、賃料、機械損料及び運転経費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 2.13 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">作 業 の 種 類</th> <th style="width: 25%;">継 施 工 の 有 無</th> <th style="width: 50%;">諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">圧 入</td> <td style="text-align: center;">継 施 工 な し</td> <td style="text-align: center;">0.2 (0.1)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">継 施 工 あ り</td> <td style="text-align: center;">2 (1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">ウォータージェット併用圧入</td> <td style="text-align: center;">継 施 工 な し</td> <td style="text-align: center;">9 (6)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">継 施 工 あ り</td> <td style="text-align: center;">8 (6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 水中施工の場合は () 内の値とする。</p>	作 業 の 種 類	継 施 工 の 有 無	諸 雑 費 率	圧 入	継 施 工 な し	0.2 (0.1)	継 施 工 あ り	2 (1)	ウォータージェット併用圧入	継 施 工 な し	9 (6)	継 施 工 あ り	8 (6)	<p>2-5-5 諸雑費 諸雑費は、溶接棒、<u>施工機械足場用の敷鉄板賃料</u>、電気溶接機損料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費（配管バンド及び溶接棒、電気溶接機損料、水中ポンプ損料、水槽及び配管損料）、<u>現場内小運搬に関する経費</u>、電力に関する経費等の費用（継施工に関する経費は除く）であり、労務費、賃料及び機械運転経費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 2.13 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 25%;"><u>作 業 の 種 類</u></th> <th colspan="2" style="width: 25%;"><u>陸上施工</u></th> <th colspan="2" style="width: 25%;"><u>水上施工</u></th> </tr> <tr> <th style="width: 12.5%;"><u>継施工なし</u></th> <th style="width: 12.5%;"><u>継施工あり</u></th> <th style="width: 12.5%;"><u>継施工なし</u></th> <th style="width: 12.5%;"><u>継施工あり</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"><u>圧 入 (Nmax ≤ 25)</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1</u></td> <td style="text-align: center;"><u>4</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1</u></td> <td style="text-align: center;"><u>3</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>圧 入 (Nmax ≤ 50)</u></td> <td style="text-align: center;"><u>8</u></td> <td style="text-align: center;"><u>10</u></td> <td style="text-align: center;"><u>6</u></td> <td style="text-align: center;"><u>8</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>引 抜 き</u></td> <td style="text-align: center;"><u>0.1</u></td> <td colspan="3" style="text-align: center;"><u>二</u></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(注) 圧入 (Nmax ≤ 50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。</u></p>	<u>作 業 の 種 類</u>	<u>陸上施工</u>		<u>水上施工</u>		<u>継施工なし</u>	<u>継施工あり</u>	<u>継施工なし</u>	<u>継施工あり</u>	<u>圧 入 (Nmax ≤ 25)</u>	<u>1</u>	<u>4</u>	<u>1</u>	<u>3</u>	<u>圧 入 (Nmax ≤ 50)</u>	<u>8</u>	<u>10</u>	<u>6</u>	<u>8</u>	<u>引 抜 き</u>	<u>0.1</u>	<u>二</u>			
作 業 の 種 類	継 施 工 の 有 無	諸 雑 費 率																																						
圧 入	継 施 工 な し	0.2 (0.1)																																						
	継 施 工 あ り	2 (1)																																						
ウォータージェット併用圧入	継 施 工 な し	9 (6)																																						
	継 施 工 あ り	8 (6)																																						
<u>作 業 の 種 類</u>	<u>陸上施工</u>		<u>水上施工</u>																																					
	<u>継施工なし</u>	<u>継施工あり</u>	<u>継施工なし</u>	<u>継施工あり</u>																																				
<u>圧 入 (Nmax ≤ 25)</u>	<u>1</u>	<u>4</u>	<u>1</u>	<u>3</u>																																				
<u>圧 入 (Nmax ≤ 50)</u>	<u>8</u>	<u>10</u>	<u>6</u>	<u>8</u>																																				
<u>引 抜 き</u>	<u>0.1</u>	<u>二</u>																																						

とりまとめ工種（最終整備）
鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																																																																																				
P. 309 (6・①・17)	<p>2-6 単 価 表 (1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板圧入 10 枚当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表 2.4 表 2.6</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.1 〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.3 〃</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船運転</td> <td>カーブクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃 (注)2 〃</td> </tr> <tr> <td>引 船 運 転</td> <td>鋼製 100PS 型</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃 〃 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 2.13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. N : 日当り施工枚数(枚(本) / 日) 2. 必要に応じて計上</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.6	特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 2.1 〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃	クレーン付台船運転	カーブクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	〃	$\frac{10}{N}$	〃 (注)2 〃	引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	$\frac{10}{N}$	〃 〃 〃	諸 雑 費		式	1	表 2.13	計					<p>2-6 単 価 表 (1) <u>鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (Nmax ≤ 25)</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表 2.4 表 2.6</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td><u>表 2.2</u> 〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 <u>(第一次基準値)</u> 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.3 〃</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船運転</td> <td>カーブクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃 (注)2 〃</td> </tr> <tr> <td>引 船 運 転</td> <td>鋼製 100PS 型</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 2.13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. N : 日当り施工枚数(<u>枚/日</u>) 2. 必要に応じて計上</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.6	特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	<u>表 2.2</u> 〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 <u>(第一次基準値)</u> 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃	クレーン付台船運転	カーブクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	〃	$\frac{10}{N}$	〃 (注)2 〃	引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	$\frac{10}{N}$	〃	諸 雑 費		式	1	表 2.13	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.6																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																																			
と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																																			
油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 2.1 〃																																																																																																			
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃																																																																																																			
クレーン付台船運転	カーブクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	〃	$\frac{10}{N}$	〃 (注)2 〃																																																																																																			
引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	$\frac{10}{N}$	〃 〃 〃																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表 2.13																																																																																																			
計																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.6																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																																			
と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																																			
油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	<u>表 2.2</u> 〃																																																																																																			
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 <u>(第一次基準値)</u> 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃																																																																																																			
クレーン付台船運転	カーブクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	〃	$\frac{10}{N}$	〃 (注)2 〃																																																																																																			
引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	$\frac{10}{N}$	〃																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表 2.13																																																																																																			
計																																																																																																							

とりまとめ工種（最終整備）
鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																																																																																														
P. 309 (6・①・17)	(2) 油圧式杭圧入引抜機とウォータージェット併用施工による鋼矢板圧入 10 枚当り単価表	(2) <u>鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (Nmax ≤ 50)</u>																																																																																																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表 2.4 表 2.7</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.1 〃</td> </tr> <tr> <td>杭 打 ち 用 ウォータージェット運転</td> <td>14.7MPa(150kg/cm²) 325ℓ /min</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.3 〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.3 〃</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船運転</td> <td>クレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃 (注)2 〃</td> </tr> <tr> <td>引 船 運 転</td> <td>鋼製 100PS 型</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 2.13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.7	特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 2.1 〃	杭 打 ち 用 ウォータージェット運転	14.7MPa(150kg/cm ²) 325ℓ /min	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃	クレーン付台船運転	クレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	〃	$\frac{10}{N}$	〃 (注)2 〃	引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	$\frac{10}{N}$	〃	諸 雑 費		式	1	表 2.13	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表 2.4 表 2.7</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td><u>表 2.2</u> 〃</td> </tr> <tr> <td>杭 打 ち 用 ウォータージェット運転</td> <td><u>排出ガス対策型 (第一次基準値) 14.7MPa325ℓ /min</u></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.3 〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td><u>排出ガス対策型 (第一次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</u></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船運転</td> <td>クレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃 <u>(注)3</u> 〃</td> </tr> <tr> <td>引 船 運 転</td> <td>鋼製 100PS 型</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 2.13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.7	特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	<u>表 2.2</u> 〃	杭 打 ち 用 ウォータージェット運転	<u>排出ガス対策型 (第一次基準値) 14.7MPa325ℓ /min</u>	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃	ラフテレーンクレーン賃料	<u>排出ガス対策型 (第一次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</u>	〃	$\frac{10}{N}$	〃 〃	クレーン付台船運転	クレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	〃	$\frac{10}{N}$	〃 <u>(注)3</u> 〃	引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	$\frac{10}{N}$	〃	諸 雑 費		式	1	表 2.13	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																													
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.7																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																																													
と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																																													
油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 2.1 〃																																																																																																													
杭 打 ち 用 ウォータージェット運転	14.7MPa(150kg/cm ²) 325ℓ /min	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃																																																																																																													
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃																																																																																																													
クレーン付台船運転	クレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	〃	$\frac{10}{N}$	〃 (注)2 〃																																																																																																													
引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	$\frac{10}{N}$	〃																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表 2.13																																																																																																													
計																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																													
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.7																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																																													
と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																																													
油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	<u>表 2.2</u> 〃																																																																																																													
杭 打 ち 用 ウォータージェット運転	<u>排出ガス対策型 (第一次基準値) 14.7MPa325ℓ /min</u>	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃																																																																																																													
ラフテレーンクレーン賃料	<u>排出ガス対策型 (第一次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</u>	〃	$\frac{10}{N}$	〃 〃																																																																																																													
クレーン付台船運転	クレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	〃	$\frac{10}{N}$	〃 <u>(注)3</u> 〃																																																																																																													
引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	$\frac{10}{N}$	〃																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表 2.13																																																																																																													
計																																																																																																																	
	(注) 1. N : 日当り施工枚数(枚(本) / 日) 2. 必要に応じて計上	(注) <u>1. 本単価表は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。</u> <u>2. N : 日当り施工枚数(枚/日)</u> <u>3. 必要に応じて計上</u>																																																																																																															

とりまとめ工種（最終整備）
鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																																																																																																								
P. 310 (6・①・18)	(3) 油圧式杭圧入引抜機による継鋼矢板圧入 10 枚当り単価表	(3) <u>継鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (Nmax ≤ 25)</u>																																																																																																																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表 2.4 表 2.9, 2.11</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>継 施 工 費</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>10 × NN</td> <td></td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.1 表 2.9, 2.11</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td></td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.3 "</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船運転</td> <td>加ラクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積</td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>" (注)2 "</td> </tr> <tr> <td>引 船 運 転</td> <td>鋼製 100PS 型</td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 2.13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.9, 2.11	特 殊 作 業 員		"	$\frac{10}{N} \times 1$	" "	と び 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "	溶 接 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "	継 施 工 費		箇所	10 × NN		油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 2.1 表 2.9, 2.11	ラフテレンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊		$\frac{10}{N}$	表 2.3 "	クレーン付台船運転	加ラクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	"	$\frac{10}{N}$	" (注)2 "	引 船 運 転	鋼製 100PS 型	"	$\frac{10}{N}$	" "	諸 雑 費		式	1	表 2.13	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表 2.4 表 2.9, 2.11</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>継 施 工 費</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>10 × <u>X</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td><u>表 2.2</u> 表 2.9, 2.11</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 <u>(第一次基準値)</u> 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td></td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.3 "</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船運転</td> <td>加ラクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積</td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>" (注)2 "</td> </tr> <tr> <td>引 船 運 転</td> <td>鋼製 100PS 型</td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 2.13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.9, 2.11	特 殊 作 業 員		"	$\frac{10}{N} \times 1$	" "	と び 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "	溶 接 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "	継 施 工 費		箇所	10 × <u>X</u>		油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	<u>表 2.2</u> 表 2.9, 2.11	ラフテレンクレーン賃料	排出ガス対策型 <u>(第一次基準値)</u> 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊		$\frac{10}{N}$	表 2.3 "	クレーン付台船運転	加ラクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	"	$\frac{10}{N}$	" (注)2 "	引 船 運 転	鋼製 100PS 型	"	$\frac{10}{N}$	" "	諸 雑 費		式	1	表 2.13	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																							
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.9, 2.11																																																																																																																							
特 殊 作 業 員		"	$\frac{10}{N} \times 1$	" "																																																																																																																							
と び 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "																																																																																																																							
溶 接 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "																																																																																																																							
継 施 工 費		箇所	10 × NN																																																																																																																								
油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 2.1 表 2.9, 2.11																																																																																																																							
ラフテレンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊		$\frac{10}{N}$	表 2.3 "																																																																																																																							
クレーン付台船運転	加ラクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	"	$\frac{10}{N}$	" (注)2 "																																																																																																																							
引 船 運 転	鋼製 100PS 型	"	$\frac{10}{N}$	" "																																																																																																																							
諸 雑 費		式	1	表 2.13																																																																																																																							
計																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																							
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.9, 2.11																																																																																																																							
特 殊 作 業 員		"	$\frac{10}{N} \times 1$	" "																																																																																																																							
と び 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "																																																																																																																							
溶 接 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "																																																																																																																							
継 施 工 費		箇所	10 × <u>X</u>																																																																																																																								
油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	<u>表 2.2</u> 表 2.9, 2.11																																																																																																																							
ラフテレンクレーン賃料	排出ガス対策型 <u>(第一次基準値)</u> 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊		$\frac{10}{N}$	表 2.3 "																																																																																																																							
クレーン付台船運転	加ラクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	"	$\frac{10}{N}$	" (注)2 "																																																																																																																							
引 船 運 転	鋼製 100PS 型	"	$\frac{10}{N}$	" "																																																																																																																							
諸 雑 費		式	1	表 2.13																																																																																																																							
計																																																																																																																											
	<p>(注) 1. N : 日当り施工枚数(枚/本) / 日) NN : 枚当り継施工箇所数(箇所/枚)</p> <p>2. 必要に応じて計上</p>	<p>(注) 1. N : 日当り施工枚数(枚/日)</p> <p><u>X : 1 枚当り継施工箇所数(箇所/枚)</u></p> <p>2. 必要に応じて計上</p>																																																																																																																									

とりまとめ工種（最終整備）
鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																																																																																																																		
P. 310 (6・①・18)	(4) 油圧式杭圧入引抜機とウォータージェット併用施工による継鋼矢板圧入10枚当り単価表	(4) <u>継鋼矢板圧入10枚当り単価表 (Nmax≤50)</u>																																																																																																																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表 2.4 表 2.10, 2.11</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>継 施 工 費</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>10 × NN</td> <td></td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.1 表 2.10, 2.11</td> </tr> <tr> <td>杭 打 ち 用 ウォータージェット運転</td> <td>14.7MPa(150kg/cm²) 325ℓ /min</td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.3 "</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td></td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.3 "</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船運転</td> <td>クレーン35~40t吊 台船300t積</td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>" (注)2 "</td> </tr> <tr> <td>引 船 運 転</td> <td>鋼製 100PS 型</td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 2.13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.10, 2.11	特 殊 作 業 員		"	$\frac{10}{N} \times 1$	" "	と び 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "	溶 接 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "	継 施 工 費		箇所	10 × NN		油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 2.1 表 2.10, 2.11	杭 打 ち 用 ウォータージェット運転	14.7MPa(150kg/cm ²) 325ℓ /min	"	$\frac{10}{N}$	表 2.3 "	ラフテレンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊		$\frac{10}{N}$	表 2.3 "	クレーン付台船運転	クレーン35~40t吊 台船300t積	"	$\frac{10}{N}$	" (注)2 "	引 船 運 転	鋼製 100PS 型	"	$\frac{10}{N}$	" "	諸 雑 費		式	1	表 2.13	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表 2.4 表 2.10, 2.11</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>継 施 工 費</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>10 × <u>X</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td><u>表 2.2</u> 表 2.10, 2.11</td> </tr> <tr> <td>杭 打 ち 用 ウォータージェット運転</td> <td><u>排出ガス対策型</u> <u>(第一次基準値)</u> <u>14.7MPa325ℓ /min</u></td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.3 "</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン賃料</td> <td><u>排出ガス対策型</u> <u>(第一次基準値)</u> <u>油圧伸縮ジブ型25t吊</u></td> <td></td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船運転</td> <td>クレーン35~40t吊 台船300t積</td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>" <u>(注)3</u> "</td> </tr> <tr> <td>引 船 運 転</td> <td>鋼製 100PS 型</td> <td>"</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 2.13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.10, 2.11	特 殊 作 業 員		"	$\frac{10}{N} \times 1$	" "	と び 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "	溶 接 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "	継 施 工 費		箇所	10 × <u>X</u>		油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	<u>表 2.2</u> 表 2.10, 2.11	杭 打 ち 用 ウォータージェット運転	<u>排出ガス対策型</u> <u>(第一次基準値)</u> <u>14.7MPa325ℓ /min</u>	"	$\frac{10}{N}$	表 2.3 "	ラフテレンクレーン賃料	<u>排出ガス対策型</u> <u>(第一次基準値)</u> <u>油圧伸縮ジブ型25t吊</u>		$\frac{10}{N}$	" "	クレーン付台船運転	クレーン35~40t吊 台船300t積	"	$\frac{10}{N}$	" <u>(注)3</u> "	引 船 運 転	鋼製 100PS 型	"	$\frac{10}{N}$	" "	諸 雑 費		式	1	表 2.13	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.10, 2.11																																																																																																																																	
特 殊 作 業 員		"	$\frac{10}{N} \times 1$	" "																																																																																																																																	
と び 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "																																																																																																																																	
溶 接 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "																																																																																																																																	
継 施 工 費		箇所	10 × NN																																																																																																																																		
油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 2.1 表 2.10, 2.11																																																																																																																																	
杭 打 ち 用 ウォータージェット運転	14.7MPa(150kg/cm ²) 325ℓ /min	"	$\frac{10}{N}$	表 2.3 "																																																																																																																																	
ラフテレンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊		$\frac{10}{N}$	表 2.3 "																																																																																																																																	
クレーン付台船運転	クレーン35~40t吊 台船300t積	"	$\frac{10}{N}$	" (注)2 "																																																																																																																																	
引 船 運 転	鋼製 100PS 型	"	$\frac{10}{N}$	" "																																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1	表 2.13																																																																																																																																	
計																																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.10, 2.11																																																																																																																																	
特 殊 作 業 員		"	$\frac{10}{N} \times 1$	" "																																																																																																																																	
と び 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "																																																																																																																																	
溶 接 工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	" "																																																																																																																																	
継 施 工 費		箇所	10 × <u>X</u>																																																																																																																																		
油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	<u>表 2.2</u> 表 2.10, 2.11																																																																																																																																	
杭 打 ち 用 ウォータージェット運転	<u>排出ガス対策型</u> <u>(第一次基準値)</u> <u>14.7MPa325ℓ /min</u>	"	$\frac{10}{N}$	表 2.3 "																																																																																																																																	
ラフテレンクレーン賃料	<u>排出ガス対策型</u> <u>(第一次基準値)</u> <u>油圧伸縮ジブ型25t吊</u>		$\frac{10}{N}$	" "																																																																																																																																	
クレーン付台船運転	クレーン35~40t吊 台船300t積	"	$\frac{10}{N}$	" <u>(注)3</u> "																																																																																																																																	
引 船 運 転	鋼製 100PS 型	"	$\frac{10}{N}$	" "																																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1	表 2.13																																																																																																																																	
計																																																																																																																																					
	<p>(注) 1. N : 日当り施工枚数(枚(本) / 日) NN : 枚当り継施工箇所数(箇所 / 枚) 2. 必要に応じて計上</p>	<p>(注) <u>1. 本単価表は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。</u> <u>2. N : 日当り施工枚数(枚 / 日)</u> <u>X : 1枚当り継施工箇所数(箇所 / 枚)</u> <u>3. 必要に応じて計上</u></p>																																																																																																																																			

とりまとめ工種（最終整備）
鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要																																																																																																				
P. 311 (6・①・19)	(5) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板引抜き 10 枚当り単価表	(5) <u>鋼矢板引抜き 10 枚当り単価表</u>																																																																																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表 2.4 表 2.8</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.1 〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.3 〃</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船運転</td> <td>クレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃 (注)2 〃</td> </tr> <tr> <td>引 船 運 転</td> <td>鋼製 100PS 型</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.8	特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 2.1 〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃	クレーン付台船運転	クレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	〃	$\frac{10}{N}$	〃 (注)2 〃	引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	$\frac{10}{N}$	〃 〃	諸 雑 費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表 2.4 表 2.8</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>油圧式杭圧入引抜機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td><u>表 2.2</u> 〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 <u>(第一次基準値)</u> 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表 2.3 〃</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船運転</td> <td>クレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃 (注)2 〃</td> </tr> <tr> <td>引 船 運 転</td> <td>鋼製 100PS 型</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.8	特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	<u>表 2.2</u> 〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 <u>(第一次基準値)</u> 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃	クレーン付台船運転	クレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	〃	$\frac{10}{N}$	〃 (注)2 〃	引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	$\frac{10}{N}$	〃 〃	諸 雑 費		式	1		計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.8																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																																			
と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																																			
油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 2.1 〃																																																																																																			
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃																																																																																																			
クレーン付台船運転	クレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	〃	$\frac{10}{N}$	〃 (注)2 〃																																																																																																			
引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	$\frac{10}{N}$	〃 〃																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																				
計																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																			
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 2.4 表 2.8																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																																			
と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																																			
油圧式杭圧入引抜機運転		日	$\frac{10}{N}$	<u>表 2.2</u> 〃																																																																																																			
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 <u>(第一次基準値)</u> 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 2.3 〃																																																																																																			
クレーン付台船運転	クレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	〃	$\frac{10}{N}$	〃 (注)2 〃																																																																																																			
引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	$\frac{10}{N}$	〃 〃																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																				
計																																																																																																							
	(注) 1. N : 日当り施工枚数(枚(本) / 日) 2. 必要に応じて計上	(注) 1. N : 日当り施工枚数(<u>枚 / 日</u>) 2. 必要に応じて計上																																																																																																					

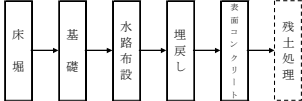
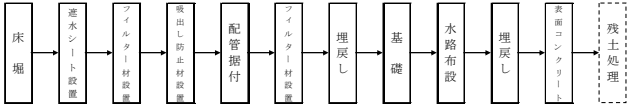
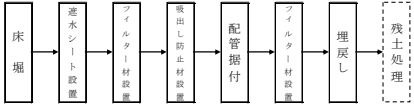
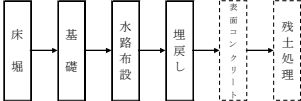
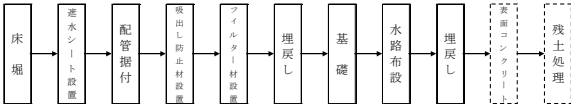
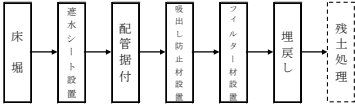
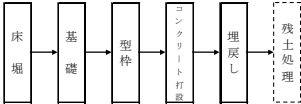
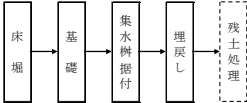
とりまとめ工種（最終整備）
鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要		
P. 311 (6・①・19)	(6) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体1回当り単価表				
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
	世 話 役		人		表 2.12
	特 殊 作 業 員		〃		〃
	と び 工		〃		〃
	油圧式杭圧入引抜機運転		日		表 2.1 表 2.12
	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊	〃		表 2.3 〃
	クレーン付台船運転	クレーン35～40t吊 台船300t積	〃	da	〃 (注)2 〃
	引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	da	〃 〃
	諸 雑 費		式	1	
	計				
	(注) 1. da : 世話役の据付・解体歩掛(日/回) 2. 必要に応じて計上				
	(6) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体1回当り単価表				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
世 話 役		人		表 2.12	
特 殊 作 業 員		〃		〃	
と び 工		〃		〃	
油圧式杭圧入引抜機運転		日		<u>表 2.2</u> 表 2.12	
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 <u>(第一次基準値)</u> 油圧伸縮ジブ型25t吊	〃		表 2.3 〃	
クレーン付台船運転	クレーン35～40t吊 台船300t積	〃	da	〃 (注)2 〃	
引 船 運 転	鋼製 100PS 型	〃	da	〃 〃	
諸 雑 費		式	1		
計					
(注) 1. da : 世話役の据付・解体歩掛(日/回) 2. 必要に応じて計上					

とりまとめ工種（最終整備）
鋼矢板（H形鋼）工（油圧圧入引抜工）

現行基準 のページ	現 行 歩 掛	改 訂	摘 要	
P. 312 (6・①・20)	(7) 機械運転単価表			
	名 称	規 格	適用単価表	指 定 事 項
	油圧式杭圧入引抜機	排出ガス対策型 圧入力 980.7～1471.0kN級 (100～150t級) 引抜力 1078.7～1569.1kN級 (110～160t級)	機-24	燃料消費量 → 132 機械損料数量 → 1.46
	"	排出ガス対策型 広幅鋼矢板用 圧入力 980.7～1471.0kN級 (100～150t級)	機-24	燃料消費量 → 132 機械損料数量 → 1.46
	杭 打 ち 用 ウォータージェット	ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 325ℓ/min	機-24	燃料消費量 → 120 機械損料数量 → 1.46
	クレーン付台船	クローラクレーン 35～40t吊 台船 300t積	機-11	運転1日当り単価表 船員名称 → 高級船員 機械損料単位 → 供用日 運転労務数量 → 1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量 → 53 機械損料数量 → 1.46 (台 船) 機械損料数量 → 1.46
引 船	鋼製 100PS型	機-11	運転1日当り単価表 船員名称 → 高級船員 機械損料単位 → 供用日 運転労務数量 → 1.0 燃料消費量 → 57 機械損料数量 → 1.21 主 燃 料 → 重油	
	(7) 機械運転単価表			
	名 称	規 格	適用単価表	指 定 事 項
	油圧式杭圧入引抜機	排出ガス対策型 <u>(第一次基準値)</u> 圧入力 980.7～1471.0kN級 (100～150t級) 引抜力 1078.7～1569.1kN級 (110～160t級)	機-24	燃料消費量 → 132 機械損料数量 → <u>1.45</u>
	"	排出ガス対策型 <u>(第一次基準値)</u> 広幅鋼矢板用 圧入力 980.7～1471.0kN級 (100～150t級) <u>引抜力</u> <u>1078.7～1569.1kN級</u> <u>(110～160t級)</u>	機-24	燃料消費量 → 132 機械損料数量 → <u>1.45</u>
	杭 打 ち 用 ウォータージェット	<u>排出ガス対策型</u> <u>(第一次基準値)</u> ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 325ℓ/min	機-24	燃料消費量 → 120 機械損料数量 → <u>1.45</u>
	クレーン付台船	クローラクレーン 35～40t吊 台船 300t積	機-11	運転1日当り単価表 船員名称 → 高級船員 機械損料単位 → 供用日 運転労務数量 → 1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量 → <u>50</u> 機械損料数量 → <u>1.45</u> (台 船) 機械損料数量 → <u>1.45</u>
	引 船	鋼製 100PS型	機-11	運転1日当り単価表 船員名称 → 高級船員 機械損料単位 → 供用日 運転労務数量 → 1.0 燃料消費量 → 57 機械損料数量 → 1.21 主 燃 料 → 重油

とりまとめ工程
地すべり防止工(山腹水路工)

現行基準のページ	現 行	改 訂	適 用
469	<p>3.水路工</p> <p>3-1 適用範囲</p> <p>本資料は地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設における水路工(プレキャストU型側溝、コルゲートフリーム、暗渠管)の製品質量100kg以下/個の人力据付に適用する。</p> <p>3-2 施工概要</p> <p>施工フローは下記を標準とする。</p> <p>(1)集排水路の場合</p>  <p>(2)明暗渠の場合</p>  <p>(3)暗渠の場合</p>  <p>(注)本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p>3.山腹水路工</p> <p>3-1 適用範囲</p> <p>本資料は地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設の水路工に適用する。各工種における適用範囲は以下のとおりとする。</p> <p>3-1-1 山腹集水路・排水路工、山腹明暗渠工、山腹暗渠工</p> <p>(1)機械据付 プレキャストU型側溝の製品質量100kg/個を超え450kg/個以下に適用する。</p> <p>(2)人力据付 プレキャストU型側溝、コルゲートフリーム、暗渠管の製品質量100kg/個以下に適用する。</p> <p>3-1-2 集水樹工</p> <p>(1)集水樹設置 内空積1m³/基以下の現場打ち集水樹の設置に適用する。</p> <p>(2)プレキャスト集水樹据付 プレキャスト集水樹の製品質量150kg/個を超え1700kg/個以下の機械据付に適用する。</p> <p>3-2 施工概要</p> <p>施工フローは下記を標準とする。</p> <p>(1)山腹集水路・排水路の場合</p>  <p>(2)山腹明暗渠の場合</p>  <p>(3)山腹暗渠の場合</p>  <p>(4)集水樹の場合</p>  <p>(5)プレキャスト集水樹の場合</p>  <p>(注)本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。</p>	

とりまとめ工程
地すべり防止工(山腹水路工)

現行基準のページ	現 行	改 訂	適 用																																																					
469	<p>3-3 使用機械 機種・規格は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.1 機種の選定</caption> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型山積0.28m3 (平積0.2m3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車</td> <td>油圧タンブ式クローラ型2t積</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 施工歩掛 3-4-1 集排水路工</p>	機 械 名	規 格	摘 要	バックホウ	排出ガス対策型・クローラ型山積0.28m3 (平積0.2m3)		不整地運搬車	油圧タンブ式クローラ型2t積	必要に応じて計上	<p>3-3 使用機械 機種・規格は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.1 機種の選定</caption> <thead> <tr> <th>用 途</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘削及び掘付</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力2.9t</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>資材運搬</td> <td>不整地運搬車</td> <td>排出ガス対策型 油圧タンブ式クローラ型2.5t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.運搬機種が上表により難しい場合は、別途考慮する。 2.不整地運搬車は賃料とする。</p> <p>3-4 編成人員 <u>山腹水路工における編成人員は次表を標準とする。</u></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.2 編成人員 (人)</caption> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山腹集水路・排水路工</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>山腹明渠工</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>山腹暗渠工</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-5 施工歩掛 3-5-1 山腹集水路・排水路工 3-5-1-1 山腹U型側溝(機械掘付)歩掛 (1) 日当り施工量 <u>日当り施工量は次表を標準とする。</u></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.3 日当り施工量 (m/日)</caption> <thead> <tr> <th>掘削断面積(m2)</th> <th>0.5m2以下</th> <th>0.5を超え 1.0m2以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日当り施工量</td> <td>14.7</td> <td>10.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離50m以下の小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、基礎、埋戻しの労務を含む。ただし、材料は別途計上する。 3.表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。ただし、これにより難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 諸雑費 <u>諸雑費は、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</u></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.4 諸雑费率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>諸雑费率</th> <th>0.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>諸雑费率</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table>	用 途	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	掘削及び掘付	バックホウ	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	台	1		資材運搬	不整地運搬車	排出ガス対策型 油圧タンブ式クローラ型2.5t積	〃	1	必要に応じて計上	工種	世話役	特殊作業員	普通作業員	山腹集水路・排水路工				山腹明渠工	1	1	2	山腹暗渠工				掘削断面積(m2)	0.5m2以下	0.5を超え 1.0m2以下	日当り施工量	14.7	10.4	諸雑费率	0.4	諸雑费率	0.4	
機 械 名	規 格	摘 要																																																						
バックホウ	排出ガス対策型・クローラ型山積0.28m3 (平積0.2m3)																																																							
不整地運搬車	油圧タンブ式クローラ型2t積	必要に応じて計上																																																						
用 途	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																			
掘削及び掘付	バックホウ	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	台	1																																																				
資材運搬	不整地運搬車	排出ガス対策型 油圧タンブ式クローラ型2.5t積	〃	1	必要に応じて計上																																																			
工種	世話役	特殊作業員	普通作業員																																																					
山腹集水路・排水路工																																																								
山腹明渠工	1	1	2																																																					
山腹暗渠工																																																								
掘削断面積(m2)	0.5m2以下	0.5を超え 1.0m2以下																																																						
日当り施工量	14.7	10.4																																																						
諸雑费率	0.4																																																							
諸雑费率	0.4																																																							

とりまとめ工程
地すべり防止工(山腹水路工)

現行基準のページ	現 行	改 訂	適 用																																																																		
469	<p>3-4-1-1 U型側溝据付歩掛 U型側溝の据付歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 U型側溝据付歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" data-bbox="297 296 987 517"> <thead> <tr> <th colspan="3">掘 削 断 面 積</th> <th>0.5m²以下</th> <th>0.5を越え 1.0m²以下</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.4</td> <td>2.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>h</td> <td>2.4</td> <td>3.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>油圧タンプ式 クローラ型2t積</td> <td>日</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>必要に応じて計上 (注)1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">0.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離30mまでの人力による小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が30mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、基礎、埋戻し、表面コンクリート等の労務を含む。ただし、材料は別途計上する。 3.諸雑費は、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4.運搬機械が上表により離れの場合は、別途考慮する。 5.不整地運搬車は賃料とする。</p>	掘 削 断 面 積			0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	摘 要	名 称	規 格	単 位				世 話 役		人	0.6	0.7		特 殊 作 業 員		〃	0.6	0.7		普 通 作 業 員		〃	2.4	2.7		バックホウ運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h	2.4	3.5		不整地運搬車運転	油圧タンプ式 クローラ型2t積	日	0.6	0.7	必要に応じて計上 (注)1.	諸 雑 費 率		%	0.2			<p>3-5-1-2 山腹U型側溝(人力据付)歩掛 (1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" data-bbox="1323 336 1771 400"> <thead> <tr> <th>掘削断面積(m²)</th> <th>0.5m²以下</th> <th>0.5を越え 1.0m²以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日当り施工量</td> <td>15.1</td> <td>13.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離50m以下の小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、基礎、埋戻しの労務を含む。 3.表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工④コンクリート工Ⅱ」による。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="1352 647 1787 671"> <tbody> <tr> <td>諸雑费率</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table>	掘削断面積(m ²)	0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	日当り施工量	15.1	13.3	諸雑费率	0.4											
掘 削 断 面 積			0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	摘 要																																																																
名 称	規 格	単 位																																																																			
世 話 役		人	0.6	0.7																																																																	
特 殊 作 業 員		〃	0.6	0.7																																																																	
普 通 作 業 員		〃	2.4	2.7																																																																	
バックホウ運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h	2.4	3.5																																																																	
不整地運搬車運転	油圧タンプ式 クローラ型2t積	日	0.6	0.7	必要に応じて計上 (注)1.																																																																
諸 雑 費 率		%	0.2																																																																		
掘削断面積(m ²)	0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下																																																																			
日当り施工量	15.1	13.3																																																																			
諸雑费率	0.4																																																																				
470	<p>3-4-1-2 コルゲートフリーウム据付歩掛 コルゲートフリーウムの据付歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 コルゲートフリーウム据付歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" data-bbox="297 828 1028 1048"> <thead> <tr> <th colspan="3">掘 削 断 面 積</th> <th>0.5m²以下</th> <th>0.5を越え 1.0m²以下</th> <th>1.0を越え 2.0m²以下</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.4</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.5</td> <td>1.7</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>h</td> <td>2.4</td> <td>3.5</td> <td>5.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>油圧タンプ式 クローラ型2t積</td> <td>日</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.9</td> <td>必要に応じて計上 (注)1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3">0.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離30mまでの人力による小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が30mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、基礎、埋戻し、表面コンクリート等の労務を含む。ただし、材料は別途計上する。 3.諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4.運搬機械が上表により離れの場合は、別途考慮する。 5.不整地運搬車は賃料とする。</p>	掘 削 断 面 積			0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	摘 要	名 称	規 格	単 位					世 話 役		人	0.4	0.5	0.5		特 殊 作 業 員		〃	0.4	0.5	0.5		普 通 作 業 員		〃	1.5	1.7	2.2		バックホウ運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h	2.4	3.5	5.5		不整地運搬車運転	油圧タンプ式 クローラ型2t積	日	0.6	0.7	0.9	必要に応じて計上 (注)1.	諸 雑 費 率		%	0.4				<p>3-5-1-3 山腹コルゲートフリーウム歩掛 (1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" data-bbox="1312 852 1812 916"> <thead> <tr> <th>掘削断面積(m²)</th> <th>0.5m²以下</th> <th>0.5を越え 1.0m²以下</th> <th>1.0を越え 2.0m²以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日当り施工量</td> <td>24.3</td> <td>19.1</td> <td>14.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離50m以下の小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、基礎、埋戻しの労務を含む。 3.ポリエチレン製角型U字溝据付の場合も本歩掛を通用できる。 4.表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工④コンクリート工Ⅱ」による。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="1352 1166 1787 1203"> <tbody> <tr> <td>諸雑费率</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table>	掘削断面積(m ²)	0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	日当り施工量	24.3	19.1	14.1	諸雑费率	0.3	
掘 削 断 面 積			0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	摘 要																																																															
名 称	規 格	単 位																																																																			
世 話 役		人	0.4	0.5	0.5																																																																
特 殊 作 業 員		〃	0.4	0.5	0.5																																																																
普 通 作 業 員		〃	1.5	1.7	2.2																																																																
バックホウ運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h	2.4	3.5	5.5																																																																
不整地運搬車運転	油圧タンプ式 クローラ型2t積	日	0.6	0.7	0.9	必要に応じて計上 (注)1.																																																															
諸 雑 費 率		%	0.4																																																																		
掘削断面積(m ²)	0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下																																																																		
日当り施工量	24.3	19.1	14.1																																																																		
諸雑费率	0.3																																																																				

とりまとめ工程
地すべり防止工(山腹水路工)

現行基準のページ	現 行	改 訂	適用																																																																													
470	<p>3-4-2 明暗渠工 3-4-2-1 U型側溝、暗渠管据付歩掛 U型側溝、暗渠管の据付歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 U型側溝、暗渠管据付歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">掘 削 断 面 積</th> <th>0.5m²以下</th> <th>0.5を越え 1.0m²以下</th> <th>1.0を越え 2.0m²以下</th> <th>2.0を越え 3.0m²以下</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.8</td> <td>0.9</td> <td>1.1</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.8</td> <td>0.9</td> <td>1.1</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.0</td> <td>3.5</td> <td>4.2</td> <td>5.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>h</td> <td>2.4</td> <td>3.5</td> <td>5.5</td> <td>8.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>油圧タンブ式 クローラ型2t積</td> <td>日</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.9</td> <td>1.1</td> <td>必要に応じて計上 (注)1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">0.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離30mまでの人力による小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が30mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、基礎、埋戻し、遮水シート、吸出し防止材、表面コンクリート等の労務を含む。ただし、材料は別途計上する。 3.諸雑費は、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4.運搬機械が上表により重い場合は、別途考慮する。 5.不整地運搬車は賃料とする。</p>	掘 削 断 面 積			0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	2.0を越え 3.0m ² 以下	摘 要	名 称	規 格	単 位					世 話 役		人	0.8	0.9	1.1	1.3		特 殊 作 業 員		〃	0.8	0.9	1.1	1.3		普 通 作 業 員		〃	3.0	3.5	4.2	5.1		バックホウ運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h	2.4	3.5	5.5	8.1		不整地運搬車運転	油圧タンブ式 クローラ型2t積	日	0.6	0.7	0.9	1.1	必要に応じて計上 (注)1.	諸 雑 費 率		%	0.2					<p>3-5-2 山腹明暗渠工 3-5-2-1 山腹U型側溝明暗渠(機械据付)歩掛 (1)日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>掘削断面積(m²)</th> <th>0.5m²以下</th> <th>0.5を越え 1.0m²以下</th> <th>1.0を越え 2.0m²以下</th> <th>2.0を越え 3.0m²以下</th> <th>3.0を越え 4.0m²以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日当り施工量</td> <td>12.4</td> <td>9.4</td> <td>7.0</td> <td>5.2</td> <td>4.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離50m以下の小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、フィルター材、基礎、埋戻しの労務を含む。 3.表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工④コンクリート工」による。</p> <p>(2)諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>諸雑費率</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.遮水シート、吸出し防止材の材料は、諸雑費に含まないので別途計上する。</p>	掘削断面積(m ²)	0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	2.0を越え 3.0m ² 以下	3.0を越え 4.0m ² 以下	日当り施工量	12.4	9.4	7.0	5.2	4.1	諸雑費率	4	
掘 削 断 面 積			0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	2.0を越え 3.0m ² 以下	摘 要																																																																									
名 称	規 格	単 位																																																																														
世 話 役		人	0.8	0.9	1.1	1.3																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	0.8	0.9	1.1	1.3																																																																										
普 通 作 業 員		〃	3.0	3.5	4.2	5.1																																																																										
バックホウ運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h	2.4	3.5	5.5	8.1																																																																										
不整地運搬車運転	油圧タンブ式 クローラ型2t積	日	0.6	0.7	0.9	1.1	必要に応じて計上 (注)1.																																																																									
諸 雑 費 率		%	0.2																																																																													
掘削断面積(m ²)	0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	2.0を越え 3.0m ² 以下	3.0を越え 4.0m ² 以下																																																																											
日当り施工量	12.4	9.4	7.0	5.2	4.1																																																																											
諸雑費率	4																																																																															
471	<p>3-4-2-2 コルゲートフリューム、暗渠管据付歩掛 コルゲートフリューム、暗渠の据付歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 コルゲートフリューム、暗渠管据付歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">掘 削 断 面 積</th> <th>0.5m²以下</th> <th>0.5を越え 1.0m²以下</th> <th>1.0を越え 2.0m²以下</th> <th>2.0を越え 3.0m²以下</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0</td> <td>2.3</td> <td>2.8</td> <td>3.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>h</td> <td>2.4</td> <td>3.5</td> <td>5.5</td> <td>8.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>油圧タンブ式 クローラ型2t積</td> <td>日</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.9</td> <td>1.1</td> <td>必要に応じて計上 (注)1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">0.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離30mまでの人力による小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が30mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、基礎、埋戻し、遮水シート、吸出し防止材、表面コンクリート等の労務を含む。ただし、材料は別途計上する。 3.諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4.運搬機械が上表により重い場合は、別途考慮する。 5.不整地運搬車は賃料とする。</p>	掘 削 断 面 積			0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	2.0を越え 3.0m ² 以下	摘 要	名 称	規 格	単 位					世 話 役		人	0.5	0.6	0.7	0.9		特 殊 作 業 員		〃	0.5	0.6	0.7	0.9		普 通 作 業 員		〃	2.0	2.3	2.8	3.2		バックホウ運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h	2.4	3.5	5.5	8.1		不整地運搬車運転	油圧タンブ式 クローラ型2t積	日	0.6	0.7	0.9	1.1	必要に応じて計上 (注)1.	諸 雑 費 率		%	0.4					<p>3-5-2-2 山腹U型側溝明暗渠(人力据付)歩掛 (1)日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>掘削断面積(m²)</th> <th>0.5m²以下</th> <th>0.5を越え 1.0m²以下</th> <th>1.0を越え 2.0m²以下</th> <th>2.0を越え 3.0m²以下</th> <th>3.0を越え 4.0m²以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日当り施工量</td> <td>12.5</td> <td>11.0</td> <td>9.4</td> <td>7.6</td> <td>5.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離50m以下の小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、フィルター材、基礎、埋戻しの労務を含む。 3.表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工④コンクリート工」による。</p> <p>(2)諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>諸雑費率</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.遮水シート、吸出し防止材の材料は、諸雑費に含まないので別途計上する。</p>	掘削断面積(m ²)	0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	2.0を越え 3.0m ² 以下	3.0を越え 4.0m ² 以下	日当り施工量	12.5	11.0	9.4	7.6	5.9	諸雑費率	4	
掘 削 断 面 積			0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	2.0を越え 3.0m ² 以下	摘 要																																																																									
名 称	規 格	単 位																																																																														
世 話 役		人	0.5	0.6	0.7	0.9																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	0.5	0.6	0.7	0.9																																																																										
普 通 作 業 員		〃	2.0	2.3	2.8	3.2																																																																										
バックホウ運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h	2.4	3.5	5.5	8.1																																																																										
不整地運搬車運転	油圧タンブ式 クローラ型2t積	日	0.6	0.7	0.9	1.1	必要に応じて計上 (注)1.																																																																									
諸 雑 費 率		%	0.4																																																																													
掘削断面積(m ²)	0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	2.0を越え 3.0m ² 以下	3.0を越え 4.0m ² 以下																																																																											
日当り施工量	12.5	11.0	9.4	7.6	5.9																																																																											
諸雑費率	4																																																																															

とりまとめ工種
地すべり防止工(山腹水路工)

現行基準のページ	現 行	改 訂	適 用																																																																																				
471	<p>3-4-3 暗渠工 暗渠管の据付歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 暗渠管据付歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">掘 削 断 面 積</th> <th>0.5m²以下</th> <th>0.5を越え 1.0m²以下</th> <th>1.0を越え 2.0m²以下</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>1.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>h</td> <td>2.4</td> <td>3.6</td> <td>5.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>油圧タンブ式 クローラ型2t積</td> <td>日</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td>0.9</td> <td>必要に応じて計上 (注)1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3">0.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離30mまでの人力による小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が30mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、埋戻し、遮水シート、吸出し防止材等の労務を含む。ただし、材料は別途計上する。 3.諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4.運搬機械が上表により難い場合は、別途考慮する。 5.不整地運搬車は賃料とする。</p>	掘 削 断 面 積			0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	摘 要	名 称	規 格	単 位					世 話 役		人	0.3	0.4	0.5		特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.4	0.5		普 通 作 業 員		〃	1.4	1.4	1.7		バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h	2.4	3.6	5.5		不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧タンブ式 クローラ型2t積	日	0.6	0.7	0.9	必要に応じて計上 (注)1.	諸 雑 費 率		%	0.4				<p>3-5-2-3 山腹コルゲートアリュウム明暗渠歩掛</p> <p>(1)日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.13 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>掘削断面積(m²)</th> <th>0.5m²以下</th> <th>0.5を越え 1.0m²以下</th> <th>1.0を越え 2.0m²以下</th> <th>2.0を越え 3.0m²以下</th> <th>3.0を越え 4.0m²以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日当り施工量</td> <td>20.0</td> <td>17.3</td> <td>12.4</td> <td>8.8</td> <td>6.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離50m以下の小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、フィルター材、基礎、埋戻しの労務を含む。 3.ポリエチレン製角型U字溝据付の場合も本歩掛を適用できる。 4.表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2)諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.14 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>諸雑費率</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.遮水シート、吸出し防止材の材料は、諸雑費に含まないので別途計上する。</p> <p>3-5-3 山腹暗渠工</p> <p>(1)日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.15 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>掘削断面積(m²)</th> <th>0.5m²以下</th> <th>0.5を越え 1.0m²以下</th> <th>1.0を越え 2.0m²以下</th> <th>2.0を越え 3.0m²以下</th> <th>3.0を越え 4.0m²以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日当り施工量</td> <td>23.9</td> <td>19.6</td> <td>15.5</td> <td>12.1</td> <td>9.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離50m以下の小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、フィルター材、埋戻しの労務を含む。</p> <p>(2)諸雑費 諸雑費は、遮水シート、吸出し防止材設置、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.16 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>諸雑費率</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.遮水シート、吸出し防止材の材料は、諸雑費に含まない。</p>	掘削断面積(m ²)	0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	2.0を越え 3.0m ² 以下	3.0を越え 4.0m ² 以下	日当り施工量	20.0	17.3	12.4	8.8	6.8	諸雑費率	6	掘削断面積(m ²)	0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	2.0を越え 3.0m ² 以下	3.0を越え 4.0m ² 以下	日当り施工量	23.9	19.6	15.5	12.1	9.9	諸雑費率	6	
掘 削 断 面 積			0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	摘 要																																																																																	
名 称	規 格	単 位																																																																																					
世 話 役		人	0.3	0.4	0.5																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.4	0.5																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	1.4	1.4	1.7																																																																																		
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h	2.4	3.6	5.5																																																																																		
不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧タンブ式 クローラ型2t積	日	0.6	0.7	0.9	必要に応じて計上 (注)1.																																																																																	
諸 雑 費 率		%	0.4																																																																																				
掘削断面積(m ²)	0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	2.0を越え 3.0m ² 以下	3.0を越え 4.0m ² 以下																																																																																		
日当り施工量	20.0	17.3	12.4	8.8	6.8																																																																																		
諸雑費率	6																																																																																						
掘削断面積(m ²)	0.5m ² 以下	0.5を越え 1.0m ² 以下	1.0を越え 2.0m ² 以下	2.0を越え 3.0m ² 以下	3.0を越え 4.0m ² 以下																																																																																		
日当り施工量	23.9	19.6	15.5	12.1	9.9																																																																																		
諸雑費率	6																																																																																						

とりまとめ工種
地すべり防止工(山腹水路工)

現行基準のページ	現 行	改 訂	適 用																																																																																																																																														
		<p>3-5-4 集水樹工 3-5-4-1 集水樹設置歩掛 集水樹設置の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: right;">表3.17 集水樹設置歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">内 容 積</th> <th>0.4m3以下</th> <th>0.4を越え 0.8m3以下</th> <th>0.8を越え 1.0m3以下</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力2.8t</td> <td>h</td> <td></td> <td>3.4</td> <td>4.2</td> <td>4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車</td> <td>排出ガス対策型 油圧タンブ式 クローラ型2.5t積</td> <td>日</td> <td></td> <td colspan="2">0.1</td> <td></td> <td>必要に応じて計上(注)1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td></td> <td colspan="2">7</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離50m以下の小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを越え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、基礎、型枠、コンクリート打設、埋戻しの労務を含む。 3.諸雑費は、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離材及び電気ドリル、電気ノコギリ損料、電力に関する経費、仮設材の持上(下)げ機材、締固め機材に要する費用であり、労務費、バックホウの機材損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4.運搬機材が上表により難しい場合は、別途考慮する。 5.不整地運搬車は賃料とする。 6.養生が必要な場合は別途計上する。</p> <p>3-5-4-2 プレキャスト集水樹据付歩掛 プレキャスト集水樹据付の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: right;">表3.18 集水樹据付歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">集水樹製品質量</th> <th>150kgを超え 500kg以下</th> <th>500kgを超え 1000kg以下</th> <th>1000kgを超え 1500kg以下</th> <th>1500kgを超え 1700kg以下</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力2.9t</td> <td>h</td> <td></td> <td>2.2</td> <td>2.7</td> <td>3.2</td> <td>3.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車</td> <td>排出ガス対策型 油圧タンブ式 クローラ型2.5t積</td> <td>日</td> <td></td> <td colspan="2">0.1</td> <td></td> <td></td> <td>必要に応じて計上(注)1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td></td> <td colspan="2">0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1.歩掛は、平均運搬距離50m以下の小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを越え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2.歩掛は、床堀(仕上げ含む)、基礎、埋戻しの労務を含む。 3.諸雑費は、締固め機材の費用であり、労務費、バックホウの機材損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4.運搬機材が上表により難しい場合は、別途考慮する。 5.不整地運搬車は賃料とする。</p>	内 容 積				0.4m3以下	0.4を越え 0.8m3以下	0.8を越え 1.0m3以下	備 考	名 称	規 格	単 位					世 話 役		人		0.7	0.8	1.0		特 殊 作 業 員		〃		0.5	0.6	0.7		普 通 作 業 員		〃		1.0	1.2	1.4		型 枠 工		〃		0.2	0.3	0.4		バックホウ運転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力2.8t	h		3.4	4.2	4.8		不整地運搬車	排出ガス対策型 油圧タンブ式 クローラ型2.5t積	日		0.1			必要に応じて計上(注)1.	諸 雑 費 率		%		7				集水樹製品質量				150kgを超え 500kg以下	500kgを超え 1000kg以下	1000kgを超え 1500kg以下	1500kgを超え 1700kg以下	備 考	名 称	規 格	単 位						世 話 役		人		0.2	0.3	0.3	0.3		特 殊 作 業 員		〃		0.3	0.3	0.3	0.4		普 通 作 業 員		〃		0.5	0.5	0.6	0.6		バックホウ運転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力2.9t	h		2.2	2.7	3.2	3.5		不整地運搬車	排出ガス対策型 油圧タンブ式 クローラ型2.5t積	日		0.1				必要に応じて計上(注)1.	諸 雑 費 率		%		0.5					
内 容 積				0.4m3以下	0.4を越え 0.8m3以下	0.8を越え 1.0m3以下	備 考																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位																																																																																																																																															
世 話 役		人		0.7	0.8	1.0																																																																																																																																											
特 殊 作 業 員		〃		0.5	0.6	0.7																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃		1.0	1.2	1.4																																																																																																																																											
型 枠 工		〃		0.2	0.3	0.4																																																																																																																																											
バックホウ運転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力2.8t	h		3.4	4.2	4.8																																																																																																																																											
不整地運搬車	排出ガス対策型 油圧タンブ式 クローラ型2.5t積	日		0.1			必要に応じて計上(注)1.																																																																																																																																										
諸 雑 費 率		%		7																																																																																																																																													
集水樹製品質量				150kgを超え 500kg以下	500kgを超え 1000kg以下	1000kgを超え 1500kg以下	1500kgを超え 1700kg以下	備 考																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位																																																																																																																																															
世 話 役		人		0.2	0.3	0.3	0.3																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃		0.3	0.3	0.3	0.4																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃		0.5	0.5	0.6	0.6																																																																																																																																										
バックホウ運転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力2.9t	h		2.2	2.7	3.2	3.5																																																																																																																																										
不整地運搬車	排出ガス対策型 油圧タンブ式 クローラ型2.5t積	日		0.1				必要に応じて計上(注)1.																																																																																																																																									
諸 雑 費 率		%		0.5																																																																																																																																													

とりまとめ工種
地すべり防止工(山腹水路工)

現行基準のページ	現 行	改 訂	適 用																
471	<p>3-5 材料使用量 3-5-1 遮水シート、吸出し防止材使用量 遮水シート、吸出し防止材使用量は、次式による。 使用量(m²)=設計量(m²)×(1+K)</p> <p style="text-align: center;">表3.7 補正係数(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>遮 水 シ ー ト</th> <th>吸 出 し 防 止 材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補 正 係 数</td> <td>+0.05</td> <td>+0.05</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	遮 水 シ ー ト	吸 出 し 防 止 材	補 正 係 数	+0.05	+0.05	<p>3-6 材料使用量 3-6-1 遮水シート、吸出し防止材使用量 遮水シート、吸出し防止材使用量は、次式による。 使用量(m²)=設計量(m²)×(1+K)</p> <p style="text-align: center;">表3.19 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>遮 水 シ ー ト</th> <th>吸 出 し 防 止 材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>10%</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-6-2 砕石使用量 埋戻し、基礎、フィルター材等に使用する砕石の使用量は、次式による。 使用量(m³)=設計量(m³)×(1+K)</p> <p style="text-align: center;">表3.20 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>砕 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>20%</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	遮 水 シ ー ト	吸 出 し 防 止 材	ロ ス 率	10%	10%	材 料 名	砕 石	ロ ス 率	20%	
材 料 名	遮 水 シ ー ト	吸 出 し 防 止 材																	
補 正 係 数	+0.05	+0.05																	
材 料 名	遮 水 シ ー ト	吸 出 し 防 止 材																	
ロ ス 率	10%	10%																	
材 料 名	砕 石																		
ロ ス 率	20%																		

とりまとめ工種
地すべり防止工(山腹水路工)

現行基準のページ	現 行	改 訂	適 用																																																																																																																																																																																																																												
472	<p>3-6 単価表 (1)U型側溝据付(集排水路)10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="295 295 1014 582"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>U 型 側 溝</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート又はアスファルト</td> <td></td> <td>m³又はt</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>油圧ダンプ式 クローラ型2t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)コルゲートフリューム据付(集排水路)10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="295 710 1014 997"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート又はアスファルト</td> <td></td> <td>m³又はt</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>油圧ダンプ式 クローラ型2t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	U 型 側 溝		個			コンクリート又はアスファルト		m ³ 又はt			砕 石		m ³			バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h		表3.2	不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	日		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.3	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム		個			コンクリート又はアスファルト		m ³ 又はt			砕 石		m ³			バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h		表3.3	不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	日		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>3-6 単価表 (1)山腹U型側溝10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1180 287 1841 593"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>U 型 側 溝</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車</td> <td>排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.4、表3.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量(m/日)</p> <p>(2)山腹コルゲートフリューム10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1180 710 1841 1034"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車</td> <td>排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量(m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	U 型 側 溝		個			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.4、表3.6	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)		個			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.8	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																											
世 話 役		人		表3.2																																																																																																																																																																																																																											
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																											
U 型 側 溝		個																																																																																																																																																																																																																													
コンクリート又はアスファルト		m ³ 又はt																																																																																																																																																																																																																													
砕 石		m ³																																																																																																																																																																																																																													
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h		表3.2																																																																																																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	日		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																											
計																																																																																																																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																											
世 話 役		人		表3.3																																																																																																																																																																																																																											
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																											
コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム		個																																																																																																																																																																																																																													
コンクリート又はアスファルト		m ³ 又はt																																																																																																																																																																																																																													
砕 石		m ³																																																																																																																																																																																																																													
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h		表3.3																																																																																																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	日		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																											
計																																																																																																																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																											
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																																																																																																											
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																																																																																																											
U 型 側 溝		個																																																																																																																																																																																																																													
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																																																																																																													
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																																																																																																											
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	日	1×10/D																																																																																																																																																																																																																												
不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1	表3.4、表3.6																																																																																																																																																																																																																											
計																																																																																																																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																											
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																																																																																																											
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																																																																																																											
コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)		個																																																																																																																																																																																																																													
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																																																																																																													
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																																																																																																											
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	日	1×10/D																																																																																																																																																																																																																												
不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1	表3.8																																																																																																																																																																																																																											
計																																																																																																																																																																																																																															

とりまとめ工程
地すべり防止工(山腹水路工)

現行基準のページ	現 行	改 訂	適 用																																																																																																																																												
472	<p>(3)U型側溝、暗渠管据付(明暗渠)10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="295 268 1014 667"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.4</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>U 型 側 溝</td><td></td><td>個</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>暗 渠 管</td><td></td><td>m又は本</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>コンクリート又はアスファルト</td><td></td><td>m³又はt</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>砕 石</td><td></td><td>m³</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>遮 水 シ ー ト</td><td></td><td>m²</td><td></td><td>設計数量×(1+補正係数) (表3.7)</td></tr> <tr><td>吸 出 し 防 止 材</td><td></td><td>m²</td><td></td><td>〃 必要に応じて計上</td></tr> <tr><td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td><td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m³(平積0.2m³)</td><td>h</td><td></td><td>表3.4</td></tr> <tr><td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td><td>油圧ダンプ式 クローラ型2t積</td><td>日</td><td></td><td>〃 必要に応じて計上</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.4	特 殊 作 業 員		人		〃	普 通 作 業 員		人		〃	U 型 側 溝		個			暗 渠 管		m又は本			コンクリート又はアスファルト		m ³ 又はt			砕 石		m ³			遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+補正係数) (表3.7)	吸 出 し 防 止 材		m ²		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h		表3.4	不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	日		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>(3)山腹U型側溝明暗渠10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1184 268 1845 676"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1×10/D</td><td>表3.2</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>1×10/D</td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>2×10/D</td><td>〃</td></tr> <tr><td>U 型 側 溝</td><td></td><td>個</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>暗 渠 管</td><td></td><td>m又は本</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>コ ン ク リ ー ト</td><td></td><td>m³</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>砕 石</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td></tr> <tr><td>遮 水 シ ー ト</td><td></td><td>m²</td><td></td><td>設計数量×(1+ロス率) (表3.19)</td></tr> <tr><td>吸 出 し 防 止 材</td><td></td><td>m²</td><td></td><td>〃 必要に応じて計上</td></tr> <tr><td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td><td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力2.9t</td><td>日</td><td>1×10/D</td><td></td></tr> <tr><td>不 整 地 運 搬 車</td><td>排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積</td><td>日</td><td></td><td>必要に応じて計上</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.10、表3.12</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量(m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		人	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		人	2×10/D	〃	U 型 側 溝		個			暗 渠 管		m又は本			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	吸 出 し 防 止 材		m ²		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.10、表3.12	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																											
世 話 役		人		表3.4																																																																																																																																											
特 殊 作 業 員		人		〃																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		人		〃																																																																																																																																											
U 型 側 溝		個																																																																																																																																													
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																													
コンクリート又はアスファルト		m ³ 又はt																																																																																																																																													
砕 石		m ³																																																																																																																																													
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+補正係数) (表3.7)																																																																																																																																											
吸 出 し 防 止 材		m ²		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																											
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h		表3.4																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	日		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																											
計																																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																											
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																											
特 殊 作 業 員		人	1×10/D	〃																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		人	2×10/D	〃																																																																																																																																											
U 型 側 溝		個																																																																																																																																													
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																													
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																													
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																											
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)																																																																																																																																											
吸 出 し 防 止 材		m ²		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																											
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	日	1×10/D																																																																																																																																												
不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		必要に応じて計上																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1	表3.10、表3.12																																																																																																																																											
計																																																																																																																																															
473	<p>(4)コルゲートフリーウム、暗渠管据付(明暗渠)10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="295 802 1014 1201"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.5</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>コ ル ゲ ー ト フ リ ー ム</td><td></td><td>個</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>暗 渠 管</td><td></td><td>m又は本</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>コンクリート又はアスファルト</td><td></td><td>m³又はt</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>砕 石</td><td></td><td>m³</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>遮 水 シ ー ト</td><td></td><td>m²</td><td></td><td>設計数量×(1+補正係数) (表3.7)</td></tr> <tr><td>吸 出 し 防 止 材</td><td></td><td>m²</td><td></td><td>〃 必要に応じて計上</td></tr> <tr><td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td><td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m³(平積0.2m³)</td><td>h</td><td></td><td>表3.5</td></tr> <tr><td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td><td>油圧ダンプ式 クローラ型2t積</td><td>日</td><td></td><td>〃 必要に応じて計上</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.5	特 殊 作 業 員		人		〃	普 通 作 業 員		人		〃	コ ル ゲ ー ト フ リ ー ム		個			暗 渠 管		m又は本			コンクリート又はアスファルト		m ³ 又はt			砕 石		m ³			遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+補正係数) (表3.7)	吸 出 し 防 止 材		m ²		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h		表3.5	不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	日		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>(4)山腹コルゲートフリーウム明暗渠10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1184 802 1845 1227"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1×10/D</td><td>表3.2</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>1×10/D</td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>2×10/D</td><td>〃</td></tr> <tr><td>コ ル ゲ ー ト フ リ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)</td><td></td><td>個</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>暗 渠 管</td><td></td><td>m又は本</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>コ ン ク リ ー ト</td><td></td><td>m³</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>砕 石</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td></tr> <tr><td>遮 水 シ ー ト</td><td></td><td>m²</td><td></td><td>設計数量×(1+ロス率) (表3.19)</td></tr> <tr><td>吸 出 し 防 止 材</td><td></td><td>m²</td><td></td><td>〃 必要に応じて計上</td></tr> <tr><td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td><td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力2.9t</td><td>日</td><td>1×10/D</td><td></td></tr> <tr><td>不 整 地 運 搬 車</td><td>排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積</td><td>日</td><td></td><td>必要に応じて計上</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.14</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量(m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		人	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		人	2×10/D	〃	コ ル ゲ ー ト フ リ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)		個			暗 渠 管		m又は本			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	吸 出 し 防 止 材		m ²		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.14	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																											
世 話 役		人		表3.5																																																																																																																																											
特 殊 作 業 員		人		〃																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		人		〃																																																																																																																																											
コ ル ゲ ー ト フ リ ー ム		個																																																																																																																																													
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																													
コンクリート又はアスファルト		m ³ 又はt																																																																																																																																													
砕 石		m ³																																																																																																																																													
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+補正係数) (表3.7)																																																																																																																																											
吸 出 し 防 止 材		m ²		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																											
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h		表3.5																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	日		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																											
計																																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																											
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																											
特 殊 作 業 員		人	1×10/D	〃																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		人	2×10/D	〃																																																																																																																																											
コ ル ゲ ー ト フ リ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)		個																																																																																																																																													
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																													
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																													
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																											
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)																																																																																																																																											
吸 出 し 防 止 材		m ²		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																											
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	日	1×10/D																																																																																																																																												
不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		必要に応じて計上																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1	表3.14																																																																																																																																											
計																																																																																																																																															

とりまとめ工種
地すべり防止工(山腹水路工)

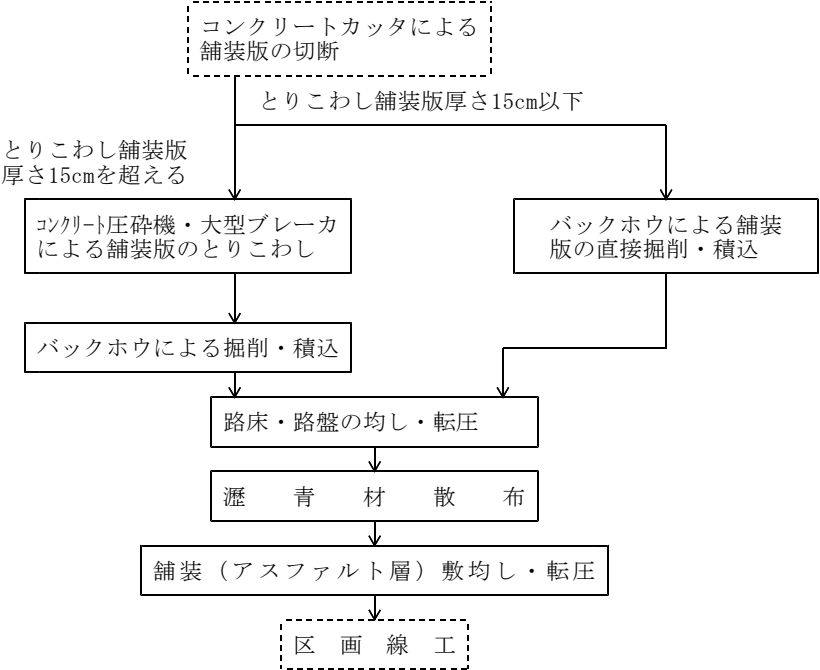
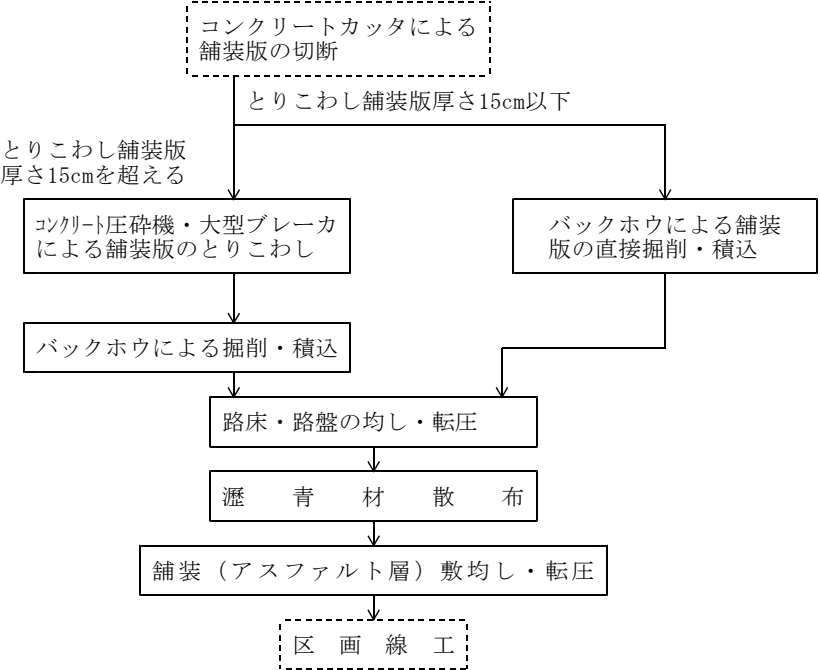
現行基準のページ	現 行	改 訂	適 用																																																																																																																																																																															
473	<p>(5)暗渠管据付(明暗渠)10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="295 268 1014 622"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.6</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>暗 渠 管</td> <td></td> <td>m又は本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>遮 水 シ ー ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>設計数量×(1+補正係数) (表3.7)</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>表3.6</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>油圧ダンプ式 クローラ型2t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.6	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	暗 渠 管		m又は本			砕 石		m ³			遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+補正係数) (表3.7)	吸 出 し 防 止 材		m ²		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h		表3.6	不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	日		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>(5)山腹暗渠管10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1184 268 1845 635"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>暗 渠 管</td> <td></td> <td>m又は本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>遮 水 シ ー ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.19)</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車</td> <td>排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.16</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量(m/日)</p> <p>(6)集水溝設置1基当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1184 778 1845 1082"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.17</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力2.9t</td> <td>h</td> <td></td> <td>表3.17</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車</td> <td>排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.17</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	暗 渠 管		m又は本			砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	吸 出 し 防 止 材		m ²		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.16	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.17	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	型 枠 工		〃		〃	コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	h		表3.17	不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.17	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																														
世 話 役		人		表3.6																																																																																																																																																																														
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																														
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																														
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																																																																
砕 石		m ³																																																																																																																																																																																
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+補正係数) (表3.7)																																																																																																																																																																														
吸 出 し 防 止 材		m ²		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																																																														
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	h		表3.6																																																																																																																																																																														
不 整 地 運 搬 車 運 転	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	日		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																														
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																																																														
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																																																														
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																																																														
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																																																																
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																																																														
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)																																																																																																																																																																														
吸 出 し 防 止 材		m ²		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																																																														
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	日	1×10/D																																																																																																																																																																															
不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		必要に応じて計上																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表3.16																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																														
世 話 役		人		表3.17																																																																																																																																																																														
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																														
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																														
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																																																																														
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																																																																
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																																																														
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	h		表3.17																																																																																																																																																																														
不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表3.17																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																		

とりまとめ工種
地すべり防止工(山腹水路工)

現行基準のページ	現 行	改 訂	適 用																																																																														
473	<p>(6)機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="297 662 1014 798"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車</td> <td>油圧ダンプ式 クローラ型2t積</td> <td>機-28</td> <td>運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →4.0 賃 料 数 量 →1.71</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-1		不 整 地 運 搬 車	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	機-28	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →4.0 賃 料 数 量 →1.71	<p>(7)プレキャスト集水樹据付1基当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1187 268 1848 555"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>描 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.18</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>集 水 樹</td> <td></td> <td>基</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力2.9t</td> <td>h</td> <td></td> <td>表3.18</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車</td> <td>排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.18</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6)機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="1187 662 1848 869"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (集 水 樹 工)</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力2.9t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (山 腹 集 水 路 ・ 排 水 路 工) (山 腹 明 暗 渠 工) (山 腹 垂 庫 工)</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力2.9t</td> <td>機-18</td> <td>運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →4.5 損 料 数 量 →1.56</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車</td> <td>排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積</td> <td>機-28</td> <td>運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →4.6 賃 料 数 量 →1.66</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	描 要	世 話 役		人		表3.18	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	集 水 樹		基	1		砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	h		表3.18	不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.18	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ (集 水 樹 工)	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	機-1		バ ッ ク ホ ウ (山 腹 集 水 路 ・ 排 水 路 工) (山 腹 明 暗 渠 工) (山 腹 垂 庫 工)	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	機-18	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →4.5 損 料 数 量 →1.56	不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	機-28	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →4.6 賃 料 数 量 →1.66	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																														
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-1																																																																															
不 整 地 運 搬 車	油圧ダンプ式 クローラ型2t積	機-28	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →4.0 賃 料 数 量 →1.71																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	描 要																																																																													
世 話 役		人		表3.18																																																																													
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																													
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																													
集 水 樹		基	1																																																																														
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																													
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	h		表3.18																																																																													
不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	日		〃 必要に応じて計上																																																																													
諸 雑 費		式	1	表3.18																																																																													
計																																																																																	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																														
バ ッ ク ホ ウ (集 水 樹 工)	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	機-1																																																																															
バ ッ ク ホ ウ (山 腹 集 水 路 ・ 排 水 路 工) (山 腹 明 暗 渠 工) (山 腹 垂 庫 工)	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力2.9t	機-18	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →4.5 損 料 数 量 →1.56																																																																														
不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型 油圧ダンプ式・クローラ型2.5t積	機-28	運 転 労 務 数 量 →1.00 燃 料 消 費 量 →4.6 賃 料 数 量 →1.66																																																																														


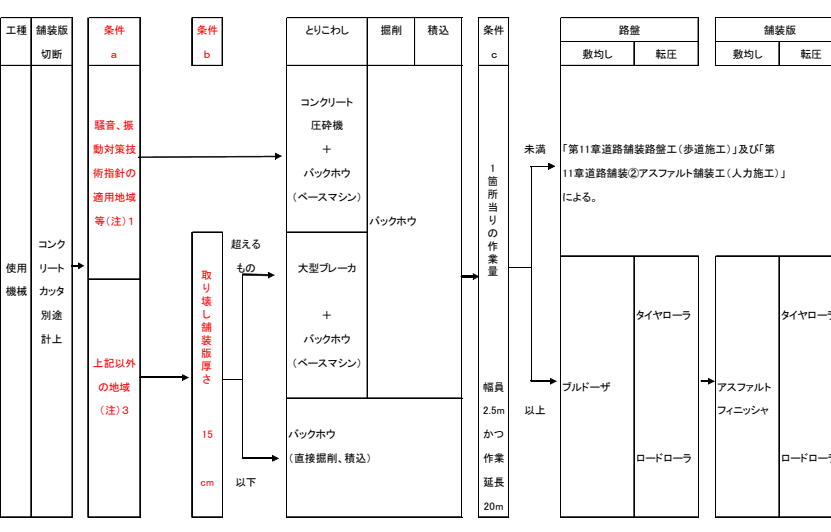
とりまとめ工種（最終整備）

工種名：道路打換え工

現行基準 のページ	現 行	改 訂	摘 要
P 5 6 1	<p>② 道路打換え工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、維持修繕アスファルト舗装工のうち、舗装版とりこわしから舗装までを急速施工する日当り平均作業量が50m²以上350m²以下の現道打換え工事に適用する。 舗装版とは、コンクリート層及びアスファルト層を総称していう。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p>② 道路打換え工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、維持修繕アスファルト舗装工のうち、舗装版とりこわしから舗装までを急速施工する日当り平均作業量が50m²以上<u>420m²</u>以下の現道打換え工事に適用する。 舗装版とは、コンクリート層及びアスファルト層を総称していう。 <u>また、排水性舗装、シックリフト工法、QRP工法等並びに、舗装版破碎工には適用しない。</u></p> <p>2. 施工概要 施工フロー、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	

とりまとめ工種（最終整備）

工種名：道路打換え工

現行基準 のページ	現 行	改 訂	摘 要
P 5 6 2	<p>3. 機種を選定 使用機種を選定は、図3-1及び表3.1を標準とする。 図3-1 機種を選定</p>  <p>(注) 1. 「建設工事に伴う騒音、振動対策技術指針」の第2章適用範囲に示す地域等。 2. とりこわし舗装版の厚さが15cm以下の場合にはバックホウによる直接掘削積込を標準とするが、施工上騒音振動対策を必要とする場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。 とりこわし：大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機により舗装版のみ破碎する作業 掘削積込：大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機により舗装版を破碎後、バックホウにより舗装版、路盤・路床材を各々又は同時に掘削し、積込む作業 3. 条件bで「上記以外の地域」となった場合においても、施工上騒音振動対策が必要となった場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。 4. コンクリート圧砕機を選定した場合には、使用するバックホウについては、低騒音型建設機械を用いること。</p>	<p>3. 機種を選定等 使用機種等を選定は、図3-1及び表3-1を標準とする。 図3-1 機種を選定</p>  <p>(注) 1. 「建設工事に伴う騒音、振動対策技術指針」の第2章適用範囲に示す地域等。 2. とりこわし舗装版の厚さが15cm以下の場合にはバックホウによる直接掘削積込を標準とするが、施工上騒音振動対策を必要とする場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。 とりこわし：大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機により舗装版のみ破碎する作業 掘削積込：大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機により舗装版を破碎後、バックホウにより舗装版、路盤・路床材を各々又は同時に掘削し、積込む作業 3. 条件aで「上記以外の地域」となった場合においても、施工上騒音振動対策が必要となった場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。 4. コンクリート圧砕機を選定した場合には、使用するバックホウについては、低騒音型建設機械を用いること。</p>	

とりまとめ工種（最終整備）

工種名：道路打換え工

現行基準のページ	現 行	改 訂	摘 要																																																																																																																																
P 5 6 2	<p style="text-align: center;">表3.1 機種の種類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>直接掘削積込</th> <th>コンクリート圧砕機によるとりこわし バックホウによる掘削積込</th> <th>大型ブレーカによるとりこわし バックホウによる掘削積込</th> <th>路床及び路盤の敷均し転圧</th> <th>舗装の敷均し転圧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機 (ベースマシン)</td> <td>開口幅 580~700mm 破砕力843~981kN(86~100t) 排出ガス対策型クローラ型山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td>"</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ (ベースマシン)</td> <td>ブレーカ 600~800kg級 排出ガス対策型クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型普通3t級</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型8~20t</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型マカダム10~12t</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャー</td> <td>ホイール型2.4~4.5m</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	機種	規格	単位	直接掘削積込	コンクリート圧砕機によるとりこわし バックホウによる掘削積込	大型ブレーカによるとりこわし バックホウによる掘削積込	路床及び路盤の敷均し転圧	舗装の敷均し転圧	バックホウ	排出ガス対策型クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)	台	1	1	1			コンクリート圧砕機 (ベースマシン)	開口幅 580~700mm 破砕力843~981kN(86~100t) 排出ガス対策型クローラ型山積0.8m3(平積0.6m3)	"		1				大型ブレーカ (ベースマシン)	ブレーカ 600~800kg級 排出ガス対策型クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)	"			1			ブルドーザ	排出ガス対策型普通3t級	"				1		タイヤローラ	排出ガス対策型8~20t	"				1	1	ロードローラ	排出ガス対策型マカダム10~12t	"				1	1	アスファルトフィニッシャー	ホイール型2.4~4.5m	"					1	<p style="text-align: center;">表3.1 機種の種類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>直接掘削積込</th> <th>コンクリート圧砕機によるとりこわし バックホウによる掘削積込</th> <th>大型ブレーカによるとりこわし バックホウによる掘削積込</th> <th>路床及び路盤の敷均し転圧</th> <th>舗装の敷均し転圧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機 (コンクリート圧砕機ベースマシン)</td> <td>破砕力600kN級 開口幅715~740mm 排出ガス対策型クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)</td> <td>"</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ (大型ブレーカベースマシン)</td> <td>油圧ブレーカ バケット容量0.25~0.3m3対応 アタッチメント 排出ガス対策型クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型普通3t級</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型8~20t</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型マカダム 10~12t</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャー</td> <td>排出ガス対策型 ホイール型2.0~4.5m</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: red; font-weight: bold;">(注) バックホウ、(コンクリート圧砕機ベースマシン) バックホウ、大型ブレーカ、(大型ブレーカベースマシン) バックホウ、ブルドーザは賃料とする。</p>	機種	規格	単位	直接掘削積込	コンクリート圧砕機によるとりこわし バックホウによる掘削積込	大型ブレーカによるとりこわし バックホウによる掘削積込	路床及び路盤の敷均し転圧	舗装の敷均し転圧	バックホウ	排出ガス対策型クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)	台	1	1	1			コンクリート圧砕機 (コンクリート圧砕機ベースマシン)	破砕力600kN級 開口幅715~740mm 排出ガス対策型クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)	"		1				大型ブレーカ (大型ブレーカベースマシン)	油圧ブレーカ バケット容量0.25~0.3m3対応 アタッチメント 排出ガス対策型クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)	"			1			ブルドーザ	排出ガス対策型普通3t級	"				1		タイヤローラ	排出ガス対策型8~20t	"				1	1	ロードローラ	排出ガス対策型マカダム 10~12t	"				1	1	アスファルトフィニッシャー	排出ガス対策型 ホイール型2.0~4.5m	"					1	
機種	規格	単位	直接掘削積込	コンクリート圧砕機によるとりこわし バックホウによる掘削積込	大型ブレーカによるとりこわし バックホウによる掘削積込	路床及び路盤の敷均し転圧	舗装の敷均し転圧																																																																																																																												
バックホウ	排出ガス対策型クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)	台	1	1	1																																																																																																																														
コンクリート圧砕機 (ベースマシン)	開口幅 580~700mm 破砕力843~981kN(86~100t) 排出ガス対策型クローラ型山積0.8m3(平積0.6m3)	"		1																																																																																																																															
大型ブレーカ (ベースマシン)	ブレーカ 600~800kg級 排出ガス対策型クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)	"			1																																																																																																																														
ブルドーザ	排出ガス対策型普通3t級	"				1																																																																																																																													
タイヤローラ	排出ガス対策型8~20t	"				1	1																																																																																																																												
ロードローラ	排出ガス対策型マカダム10~12t	"				1	1																																																																																																																												
アスファルトフィニッシャー	ホイール型2.4~4.5m	"					1																																																																																																																												
機種	規格	単位	直接掘削積込	コンクリート圧砕機によるとりこわし バックホウによる掘削積込	大型ブレーカによるとりこわし バックホウによる掘削積込	路床及び路盤の敷均し転圧	舗装の敷均し転圧																																																																																																																												
バックホウ	排出ガス対策型クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)	台	1	1	1																																																																																																																														
コンクリート圧砕機 (コンクリート圧砕機ベースマシン)	破砕力600kN級 開口幅715~740mm 排出ガス対策型クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)	"		1																																																																																																																															
大型ブレーカ (大型ブレーカベースマシン)	油圧ブレーカ バケット容量0.25~0.3m3対応 アタッチメント 排出ガス対策型クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)	"			1																																																																																																																														
ブルドーザ	排出ガス対策型普通3t級	"				1																																																																																																																													
タイヤローラ	排出ガス対策型8~20t	"				1	1																																																																																																																												
ロードローラ	排出ガス対策型マカダム 10~12t	"				1	1																																																																																																																												
アスファルトフィニッシャー	排出ガス対策型 ホイール型2.0~4.5m	"					1																																																																																																																												
P 5 6 3	<p>4. 編成人員 1パーティ当りの編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 編成人員</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	世 話 役	特殊作業員	普通作業員	1	3	4	<p>4. 編成人員 1パーティ当りの編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 編成人員</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	世 話 役	特殊作業員	普通作業員	1	3	4																																																																																																																					
世 話 役	特殊作業員	普通作業員																																																																																																																																	
1	3	4																																																																																																																																	
世 話 役	特殊作業員	普通作業員																																																																																																																																	
1	3	4																																																																																																																																	

とりまとめ工種（最終整備）

工種名：道路打換え工

現行基準のページ	現 行	改 訂	摘 要																																																																																																											
P 5 6 3	<p>5. 施工歩掛</p> <p>5-1 施工機械の運転時間 100㎡当りの機械の運転時間は、次表とする。</p> <p>(1) とりこわし</p> <p style="text-align: center;">表5.1 とりこわし時間 (h/100㎡)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">舗装版厚さ</th> <th style="text-align: center;">15cm以下</th> <th style="text-align: center;">15cmを超え 30cm以下</th> <th style="text-align: center;">30cmを超え 40cm以下</th> <th style="text-align: center;">記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウによるとりこわし</td> <td style="text-align: center;">掘削・積込に含む</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカによるとりこわし</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1.3</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1.7</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">T_H</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機 (油圧ジャッキ式)によるとりこわし</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 掘削・積込</p> <p style="text-align: center;">表5.2 掘削積込時間 (h/100㎡)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">舗装版厚+路盤及び路床の掘削深さ</th> <th style="text-align: center;">40cm以下</th> <th style="text-align: center;">40cmを超え 80cm以下</th> <th style="text-align: center;">80cmを超え 120cm以下</th> <th style="text-align: center;">記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウによる直接掘削・積込</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> <td style="text-align: center;">3.3</td> <td style="text-align: center;">4.7</td> <td style="text-align: center;">T_{B1}</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカとりこわし後のバックホウ掘削・積込</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">2.1</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">2.8</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">3.5</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">T_{B2}</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機（油圧ジャッキ式）とりこわし後のバックホウ掘削・積込</td> </tr> </tbody> </table>	舗装版厚さ	15cm以下	15cmを超え 30cm以下	30cmを超え 40cm以下	記号	バックホウによるとりこわし	掘削・積込に含む	—	—	—	大型ブレーカによるとりこわし	—	1.3	1.7	T _H	コンクリート圧砕機 (油圧ジャッキ式)によるとりこわし	1.1	舗装版厚+路盤及び路床の掘削深さ	40cm以下	40cmを超え 80cm以下	80cmを超え 120cm以下	記号	バックホウによる直接掘削・積込	2.0	3.3	4.7	T _{B1}	大型ブレーカとりこわし後のバックホウ掘削・積込	2.1	2.8	3.5	T _{B2}	コンクリート圧砕機（油圧ジャッキ式）とりこわし後のバックホウ掘削・積込	<p>5. 施工歩掛</p> <p>5-1 日当り施工量 道路打換え工の標準的な日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p>日当り標準施工量 m²/日</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">全体掘削厚</th> <th colspan="3">40cm以下</th> <th>40cmを超え80cm以下</th> <th>80cmを超え120cm以下</th> </tr> <tr> <th>2層</th> <th>3層以上5層以下</th> <th>4層以上6層以下</th> <th>5、6層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート圧砕機15cm以下</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">270</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">230</td> <td style="text-align: center;">190</td> <td style="text-align: center;">170</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機・大型ブレーカ15cmを超え30以下</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">220</td> <td style="text-align: center;">180</td> <td style="text-align: center;">160</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機・大型ブレーカ30cmを超え40以下</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">m²/日</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>復旧層数</th> <th>2層</th> <th>3層以上5層以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40以下</td> <td style="text-align: center;">400</td> <td style="text-align: center;">310</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>復旧層数</th> <th>2層</th> <th>3層以上6層以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40を超え80以下</td> <td style="text-align: center;">280</td> <td style="text-align: center;">220</td> </tr> <tr> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚80を超え120以下</td> <td style="text-align: center;">210</td> <td style="text-align: center;">180</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2 施工機械の運転時間 100㎡当りの機械の運転時間は、次表とする。</p> <p>(1) とりこわし</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">舗装版厚さ</th> <th style="text-align: center;">15cm以下</th> <th style="text-align: center;">15cmを超え 30cm以下</th> <th style="text-align: center;">30cmを超え 40cm以下</th> <th style="text-align: center;">記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウによるとりこわし</td> <td style="text-align: center;">掘削・積込に含む</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカによるとりこわし</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1.3</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1.7</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">T_H</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機 (油圧ジャッキ式)によるとりこわし</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表5.1 とりこわし時間 (h/100㎡)</p> <p>(2) 掘削・積込</p> <p style="text-align: center;">表5.2 掘削積込時間 (h/100㎡)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">舗装版厚+路盤及び路床の掘削深さ</th> <th style="text-align: center;">40cm以下</th> <th style="text-align: center;">40cmを超え 80cm以下</th> <th style="text-align: center;">80cmを超え 120cm以下</th> <th style="text-align: center;">記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウによる直接掘削・積込</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> <td style="text-align: center;">3.3</td> <td style="text-align: center;">4.7</td> <td style="text-align: center;">T_{B1}</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカとりこわし後のバックホウ掘削・積込</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">2.1</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">2.8</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">3.5</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">T_{B2}</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機（油圧ジャッキ式）とりこわし後のバックホウ掘削・積込</td> </tr> </tbody> </table>	全体掘削厚	40cm以下			40cmを超え80cm以下	80cmを超え120cm以下	2層	3層以上5層以下	4層以上6層以下	5、6層	コンクリート圧砕機15cm以下	270	230		190	170	コンクリート圧砕機・大型ブレーカ15cmを超え30以下	220		180	160	コンクリート圧砕機・大型ブレーカ30cmを超え40以下					復旧層数	2層	3層以上5層以下	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40以下	400	310	復旧層数	2層	3層以上6層以下	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40を超え80以下	280	220	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚80を超え120以下	210	180	舗装版厚さ	15cm以下	15cmを超え 30cm以下	30cmを超え 40cm以下	記号	バックホウによるとりこわし	掘削・積込に含む	—	—	—	大型ブレーカによるとりこわし	—	1.3	1.7	T _H	コンクリート圧砕機 (油圧ジャッキ式)によるとりこわし	1.1	舗装版厚+路盤及び路床の掘削深さ	40cm以下	40cmを超え 80cm以下	80cmを超え 120cm以下	記号	バックホウによる直接掘削・積込	2.0	3.3	4.7	T _{B1}	大型ブレーカとりこわし後のバックホウ掘削・積込	2.1	2.8	3.5	T _{B2}	コンクリート圧砕機（油圧ジャッキ式）とりこわし後のバックホウ掘削・積込	
舗装版厚さ	15cm以下	15cmを超え 30cm以下	30cmを超え 40cm以下	記号																																																																																																										
バックホウによるとりこわし	掘削・積込に含む	—	—	—																																																																																																										
大型ブレーカによるとりこわし	—	1.3	1.7	T _H																																																																																																										
コンクリート圧砕機 (油圧ジャッキ式)によるとりこわし	1.1																																																																																																													
舗装版厚+路盤及び路床の掘削深さ	40cm以下	40cmを超え 80cm以下	80cmを超え 120cm以下	記号																																																																																																										
バックホウによる直接掘削・積込	2.0	3.3	4.7	T _{B1}																																																																																																										
大型ブレーカとりこわし後のバックホウ掘削・積込	2.1	2.8	3.5	T _{B2}																																																																																																										
コンクリート圧砕機（油圧ジャッキ式）とりこわし後のバックホウ掘削・積込																																																																																																														
全体掘削厚	40cm以下			40cmを超え80cm以下	80cmを超え120cm以下																																																																																																									
	2層	3層以上5層以下	4層以上6層以下	5、6層																																																																																																										
コンクリート圧砕機15cm以下	270	230		190	170																																																																																																									
コンクリート圧砕機・大型ブレーカ15cmを超え30以下		220		180	160																																																																																																									
コンクリート圧砕機・大型ブレーカ30cmを超え40以下																																																																																																														
復旧層数	2層	3層以上5層以下																																																																																																												
バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40以下	400	310																																																																																																												
復旧層数	2層	3層以上6層以下																																																																																																												
バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚40を超え80以下	280	220																																																																																																												
バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚80を超え120以下	210	180																																																																																																												
舗装版厚さ	15cm以下	15cmを超え 30cm以下	30cmを超え 40cm以下	記号																																																																																																										
バックホウによるとりこわし	掘削・積込に含む	—	—	—																																																																																																										
大型ブレーカによるとりこわし	—	1.3	1.7	T _H																																																																																																										
コンクリート圧砕機 (油圧ジャッキ式)によるとりこわし	1.1																																																																																																													
舗装版厚+路盤及び路床の掘削深さ	40cm以下	40cmを超え 80cm以下	80cmを超え 120cm以下	記号																																																																																																										
バックホウによる直接掘削・積込	2.0	3.3	4.7	T _{B1}																																																																																																										
大型ブレーカとりこわし後のバックホウ掘削・積込	2.1	2.8	3.5	T _{B2}																																																																																																										
コンクリート圧砕機（油圧ジャッキ式）とりこわし後のバックホウ掘削・積込																																																																																																														

とりまとめ工種（最終整備）

工種名：道路打換え工

現行基準 のページ	現 行	改 訂	摘 要																																								
P 5 6 3	<p>(3) 路床及び路盤敷均し、転圧（安定処理を含まず） 表5.3 路床及び路盤の敷均し、転圧時間（h/100m² 1層当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>使用機械</th> <th>作業時間</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザによる敷均し</td> <td>0.5</td> <td rowspan="3">T_D</td> </tr> <tr> <td>ロードローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 安定処理は、(4)舗装（アスファルト層）で計上する。 2. 一層当りとは、敷均し、転圧層数をいう。 3. 不陸整正は、掘削後の路床・路盤面の整正を目的とし、補足材の有無にかかわらず一層分計上する。</p> <p>(4) 舗装（アスファルト層・安定処理）敷均し、転圧 表5.4 舗装敷均し、転圧時間（h/100m²一層当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>使用機械</th> <th>作業時間</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャーによる敷均し</td> <td>0.5</td> <td rowspan="3">T_F</td> </tr> <tr> <td>ロードローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表層を別途施工の場合は、「第11章道路舗装①アスファルト舗装工」による。 2. 1層当りとは、敷均し、転圧層数をいう。</p>	使用機械	作業時間	記号	ブルドーザによる敷均し	0.5	T _D	ロードローラによる転圧	0.5	タイヤローラによる転圧	0.5	使用機械	作業時間	記号	アスファルトフィニッシャーによる敷均し	0.5	T _F	ロードローラによる転圧	0.5	タイヤローラによる転圧	0.5	<p>(3) 路床及び路盤敷均し、転圧（安定処理を含まず） 表5.3 路床及び路盤の敷均し、転圧時間（h/100m² 1層当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>使用機械</th> <th>作業時間</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザによる敷均し</td> <td>0.5</td> <td rowspan="3">T_D</td> </tr> <tr> <td>ロードローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 安定処理は、(4)舗装（アスファルト層）で計上する。 2. 一層当りとは、敷均し、転圧層数をいう。 3. 不陸整正は、掘削後の路床・路盤面の整正を目的とし、補足材の有無にかかわらず一層分計上する。</p> <p>(4) 舗装（アスファルト層・安定処理）敷均し、転圧 表5.4 舗装敷均し、転圧時間（h/100m²一層当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>使用機械</th> <th>作業時間</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャーによる敷均し</td> <td>0.5</td> <td rowspan="3">T_F</td> </tr> <tr> <td>ロードローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表層を別途施工の場合は、「第11章道路舗装①アスファルト舗装工」による。 2. 1層当りとは、敷均し、転圧層数をいう。</p>	使用機械	作業時間	記号	ブルドーザによる敷均し	0.5	T _D	ロードローラによる転圧	0.5	タイヤローラによる転圧	0.5	使用機械	作業時間	記号	アスファルトフィニッシャーによる敷均し	0.5	T _F	ロードローラによる転圧	0.5	タイヤローラによる転圧	0.5	
使用機械	作業時間	記号																																									
ブルドーザによる敷均し	0.5	T _D																																									
ロードローラによる転圧	0.5																																										
タイヤローラによる転圧	0.5																																										
使用機械	作業時間	記号																																									
アスファルトフィニッシャーによる敷均し	0.5	T _F																																									
ロードローラによる転圧	0.5																																										
タイヤローラによる転圧	0.5																																										
使用機械	作業時間	記号																																									
ブルドーザによる敷均し	0.5	T _D																																									
ロードローラによる転圧	0.5																																										
タイヤローラによる転圧	0.5																																										
使用機械	作業時間	記号																																									
アスファルトフィニッシャーによる敷均し	0.5	T _F																																									
ロードローラによる転圧	0.5																																										
タイヤローラによる転圧	0.5																																										
P 5 6 4	<p>5-2 労務歩掛 道路打換え100m²当りの作業歩掛は、5-1の(1)～(4)までの使用する主機械の時間で、次式による。</p> $T' = \{ [(T_H + T_{B2}) \text{又は} T_{B1}] + T_D \times \text{層数} + T_F \times \text{層数} \} \times 0.66 \text{ (h/100m}^2\text{)}$ <p style="text-align: center;">0.66：一連作業のための重複度</p>	<p>5-3 労務歩掛 道路打換え100m²当りの作業歩掛は、5-1の(1)～(4)までの使用する主機械の時間で、次式による。</p> $T' = \{ [(T_H + T_{B2}) \text{又は} T_{B1}] + T_D \times \text{層数} + T_F \times \text{層数} \} \times 0.66 \text{ (h/100m}^2\text{)}$ <p style="text-align: center;">0.66：一連作業のための重複度</p>																																									

とりまとめ工種（最終整備）

工種名：道路打換え工

現行基準 のページ	現 行	改 訂	摘 要																						
P 5 6 4	<p>5-3 諸雑費 諸雑費は、瀝青材料費及び散布費用、加熱器具燃料費、チゼル損耗費（大型ブレイカのみ）、すりつけ作業等の費用であり、労務費、材料費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.5 諸雑費率 (％)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">すりつけ作業 施工範囲</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">すりつけ作業の計上</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">あ り</th> <th style="text-align: center;">な し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">全層打換えの場合</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">舗装版のみの打換えの場合</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 「全層打換え」とは、下層路盤又は路床まで打換える場合とする。</p>	すりつけ作業 施工範囲	すりつけ作業の計上		あ り	な し	全層打換えの場合	5	2	舗装版のみの打換えの場合	7	2	<p>5-4 諸雑費 諸雑費は、瀝青材料費及び散布費用、加熱器具燃料費、チゼル損耗費（大型ブレイカのみ）、すりつけ作業等の費用であり、労務費、材料費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.5 諸雑費率 (％)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">すりつけ作業 施工範囲</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">すりつけ作業の計上</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">あ り</th> <th style="text-align: center;">な し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">全層打換えの場合</td> <td style="text-align: center;"><u>6</u></td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">舗装版のみの打換えの場合</td> <td style="text-align: center;"><u>8</u></td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 「全層打換え」とは、下層路盤又は路床まで打換える場合とする。</p>	すりつけ作業 施工範囲	すりつけ作業の計上		あ り	な し	全層打換えの場合	<u>6</u>	2	舗装版のみの打換えの場合	<u>8</u>	2	
すりつけ作業 施工範囲	すりつけ作業の計上																								
	あ り	な し																							
全層打換えの場合	5	2																							
舗装版のみの打換えの場合	7	2																							
すりつけ作業 施工範囲	すりつけ作業の計上																								
	あ り	な し																							
全層打換えの場合	<u>6</u>	2																							
舗装版のみの打換えの場合	<u>8</u>	2																							

とりまとめ工種（最終整備）

工種名：道路打換え工

現行基準 のページ	現 行	改 訂	摘 要																																																																																								
P 5 6 4	<p>5-4 道路打換え工事の損料補正〔参考〕 道路打換え工で使用する建設機械（大型ブレーカ、コンクリート圧砕機、バックホウ、ブルドーザ、タイヤローラ、ロードローラ、アスファルトフィニッシャ）については、次表の供用日当り運転時間（t）により損料補正を行う。 なお、大型ブレーカ（バックホウ本体をのぞく）及びコンクリート圧砕機の運転時間当り運転日数（1/T）を算出する。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 供用日当り運転時間（t）及び運転日当り運転時間（T）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">項 目 機械名</th> <th colspan="2" style="width: 30%;">供用日当り運転時間 t（h／（供）日）</th> <th colspan="2" style="width: 30%;">運転日当り運転時間T（h/日） （注）</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">全層打換えの場 合</th> <th style="width: 15%;">舗装版のみの 打換えの場合</th> <th style="width: 15%;">全層打換えの場 合</th> <th style="width: 15%;">舗装版のみの 打換えの場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大型ブレーカ</td><td>1.4</td><td>1.5</td><td>1.8</td><td>1.9</td></tr> <tr><td>コンクリート圧砕機</td><td>1.3</td><td>1.4</td><td>1.8</td><td>1.9</td></tr> <tr><td>バックホウ</td><td>3.0</td><td>2.1</td><td>3.8</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>ブルドーザ</td><td>2.5</td><td>1.8</td><td>2.9</td><td>2.1</td></tr> <tr><td>タイヤローラ</td><td>標準値</td><td>標準値</td><td>4.6</td><td>4.7</td></tr> <tr><td>ロードローラ</td><td>標準値</td><td>標準値</td><td>4.4</td><td>4.4</td></tr> <tr><td>アスファルトフィニッシャ</td><td>1.8</td><td>2.2</td><td>2.2</td><td>2.7</td></tr> </tbody> </table> <p>（注）1. 大型ブレーカ及びコンクリート圧砕機の運転日当り運転時間Tは、「6. (2) 機械運転単価表」の指定事項のTに代入して機械損料2の数量を算出する。 2. タイヤローラ、ロードローラは、「建設機械等損料算定表」の標準の供用日当り運転時間を使用する。 3. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。 4. 運転時間Tは、運転労務算出に用いる。</p>	項 目 機械名	供用日当り運転時間 t（h／（供）日）		運転日当り運転時間T（h/日） （注）		全層打換えの場 合	舗装版のみの 打換えの場合	全層打換えの場 合	舗装版のみの 打換えの場合	大型ブレーカ	1.4	1.5	1.8	1.9	コンクリート圧砕機	1.3	1.4	1.8	1.9	バックホウ	3.0	2.1	3.8	2.6	ブルドーザ	2.5	1.8	2.9	2.1	タイヤローラ	標準値	標準値	4.6	4.7	ロードローラ	標準値	標準値	4.4	4.4	アスファルトフィニッシャ	1.8	2.2	2.2	2.7	<p>5-5 道路打換え工事の損料補正〔参考〕 道路打換え工で使用する建設機械（コンクリート圧砕機（ベ-スマシ含まず）、アスファルトフィニッシャ）については、次表の供用日当り運転時間（t）により損料補正を行う。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 供用日当り運転時間（t）及び運転日当り運転時間（T）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">項 目 機械名</th> <th colspan="2" style="width: 30%;">供用日当り運転時間 t（h／（供）日）</th> <th colspan="2" style="width: 30%;">運転日当り運転時間T（h/日） （注）</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">全層打換えの場 合</th> <th style="width: 15%;">舗装版のみの 打換えの場合</th> <th style="width: 15%;">全層打換えの場 合</th> <th style="width: 15%;">舗装版のみの 打換えの場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大型ブレーカ</td><td>1.4</td><td>1.5</td><td>1.8</td><td>1.9</td></tr> <tr><td>コンクリート圧砕機</td><td>1.3</td><td>1.4</td><td>1.8</td><td>1.9</td></tr> <tr><td>バックホウ</td><td>3.0</td><td>2.1</td><td>3.8</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>ブルドーザ</td><td>2.5</td><td>1.8</td><td>2.9</td><td>2.1</td></tr> <tr><td>タイヤローラ</td><td>標準値</td><td>標準値</td><td>4.6</td><td>4.7</td></tr> <tr><td>ロードローラ</td><td>標準値</td><td>標準値</td><td>4.4</td><td>4.4</td></tr> <tr><td>アスファルトフィニッシャ</td><td>1.8</td><td>2.2</td><td>2.2</td><td>2.7</td></tr> </tbody> </table> <p>（注）1. タイヤローラ、ロードローラは、「建設機械等損料算定表」の標準の供用日当り運転時間を使用する。 2. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途計上する。 3. 運転時間Tは運転労務算出に用いる。</p>	項 目 機械名	供用日当り運転時間 t（h／（供）日）		運転日当り運転時間T（h/日） （注）		全層打換えの場 合	舗装版のみの 打換えの場合	全層打換えの場 合	舗装版のみの 打換えの場合	大型ブレーカ	1.4	1.5	1.8	1.9	コンクリート圧砕機	1.3	1.4	1.8	1.9	バックホウ	3.0	2.1	3.8	2.6	ブルドーザ	2.5	1.8	2.9	2.1	タイヤローラ	標準値	標準値	4.6	4.7	ロードローラ	標準値	標準値	4.4	4.4	アスファルトフィニッシャ	1.8	2.2	2.2	2.7	
項 目 機械名	供用日当り運転時間 t（h／（供）日）		運転日当り運転時間T（h/日） （注）																																																																																								
	全層打換えの場 合	舗装版のみの 打換えの場合	全層打換えの場 合	舗装版のみの 打換えの場合																																																																																							
大型ブレーカ	1.4	1.5	1.8	1.9																																																																																							
コンクリート圧砕機	1.3	1.4	1.8	1.9																																																																																							
バックホウ	3.0	2.1	3.8	2.6																																																																																							
ブルドーザ	2.5	1.8	2.9	2.1																																																																																							
タイヤローラ	標準値	標準値	4.6	4.7																																																																																							
ロードローラ	標準値	標準値	4.4	4.4																																																																																							
アスファルトフィニッシャ	1.8	2.2	2.2	2.7																																																																																							
項 目 機械名	供用日当り運転時間 t（h／（供）日）		運転日当り運転時間T（h/日） （注）																																																																																								
	全層打換えの場 合	舗装版のみの 打換えの場合	全層打換えの場 合	舗装版のみの 打換えの場合																																																																																							
大型ブレーカ	1.4	1.5	1.8	1.9																																																																																							
コンクリート圧砕機	1.3	1.4	1.8	1.9																																																																																							
バックホウ	3.0	2.1	3.8	2.6																																																																																							
ブルドーザ	2.5	1.8	2.9	2.1																																																																																							
タイヤローラ	標準値	標準値	4.6	4.7																																																																																							
ロードローラ	標準値	標準値	4.4	4.4																																																																																							
アスファルトフィニッシャ	1.8	2.2	2.2	2.7																																																																																							

とりまとめ工種（最終整備）

工種名：道路打換え工

現行基準 のページ	現 行	改 訂	摘 要																																																																																																																																																																
P 5 6 5	6. 単価表 (1) 100m2当り単価表 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機+機械施工	6. 単価表 (1) 100m2当り単価表																																																																																																																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>1×1/8×T' 「表4.1」</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>3×1/8×T' 「表4.1」</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>4×1/8×T' 「表4.1」</td> </tr> <tr> <td>クラッシャラン</td> <td></td> <td>m3</td> <td>A</td> <td>100m2×仕上り厚×(1+補正係数)=A, (注)2</td> </tr> <tr> <td>粒度調整碎石</td> <td></td> <td>〃</td> <td>B</td> <td>100m2×仕上り厚×(1+補正係数)=B, (注)2</td> </tr> <tr> <td>生アスファルト</td> <td></td> <td>t</td> <td>C</td> <td>100m2×仕上り厚×設計密度(t/m3) ×(1+補正係数)=C, (注)3</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ又は コンクリート圧砕機運転 +バックホウ(ハ ースマシン) 運転</td> <td></td> <td>h</td> <td></td> <td>T_H (注)4 「表5.1」</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型 山積0.45 m3 (平積0.35m3)</td> <td>〃</td> <td></td> <td>T_{B1}又はT_{B2} (注)5 「表5.2」</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型 3 t級</td> <td>〃</td> <td></td> <td>T_D×層数 「表5.3」</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型 8~20 t</td> <td>〃</td> <td></td> <td>「表5.3」 「表5.4」 T_D×層数+T_F×層数</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ運転</td> <td>排出ガス対策型 マカダム 10~12 t</td> <td>〃</td> <td></td> <td>「表5.3」 「表5.4」 T_D×層数+T_F×層数</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィ ニッシャ運転</td> <td>ホイール型 2.4~4.5 m</td> <td>〃</td> <td></td> <td>T_F×層数 「表5.4」</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	世 話 役		人		1×1/8×T' 「表4.1」	特 殊 作 業 員		〃		3×1/8×T' 「表4.1」	普 通 作 業 員		〃		4×1/8×T' 「表4.1」	クラッシャラン		m3	A	100m2×仕上り厚×(1+補正係数)=A, (注)2	粒度調整碎石		〃	B	100m2×仕上り厚×(1+補正係数)=B, (注)2	生アスファルト		t	C	100m2×仕上り厚×設計密度(t/m3) ×(1+補正係数)=C, (注)3	大型ブレーカ又は コンクリート圧砕機運転 +バックホウ(ハ ースマシン) 運転		h		T _H (注)4 「表5.1」	バックホウ運転	排出ガス対策型 クローラ型 山積0.45 m3 (平積0.35m3)	〃		T _{B1} 又はT _{B2} (注)5 「表5.2」	ブルドーザ運転	排出ガス対策型 3 t級	〃		T _D ×層数 「表5.3」	タイヤローラ運転	排出ガス対策型 8~20 t	〃		「表5.3」 「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数	ロードローラ運転	排出ガス対策型 マカダム 10~12 t	〃		「表5.3」 「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数	アスファルトフィ ニッシャ運転	ホイール型 2.4~4.5 m	〃		T _F ×層数 「表5.4」	諸 雑 費		式	1	表5.5	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>1×1/8×T' 「表4.1」 (注)1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>3×1/8×T' 「表4.1」 (注)1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>4×1/8×T' 「表4.1」 (注)1</td> </tr> <tr> <td>クラッシャラン</td> <td></td> <td>m3</td> <td>A</td> <td>100m2×仕上り厚×(1+補正係 数)=A, (注)2</td> </tr> <tr> <td>粒度調整碎石</td> <td></td> <td>〃</td> <td>B</td> <td>100m2×仕上り厚×(1+補正係 数)=B, (注)2</td> </tr> <tr> <td>生アスファルト</td> <td></td> <td>t</td> <td>C</td> <td>100m2×仕上り厚×設計密度 (t/m3) ×(1+補正係数)= C, (注)3</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(ハース マシン) 運転</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>$\frac{T_H}{T}$ (注)4</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ賃料</td> <td>油圧ブレーカ バケット容量0. 25~0.3m3対応 アタッチメント</td> <td>〃</td> <td></td> <td>$\frac{T_H}{T}$ (注)4</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機損料</td> <td>破砕力600kN級 開口幅715~740 mm</td> <td>〃</td> <td></td> <td>$\frac{T_H}{T}$ (注)4</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型 山積0. 45m3 (平積0.35 m3)</td> <td>〃</td> <td></td> <td>$\frac{(T_{B1} \text{ 又は } T_{B2})}{T}$</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型 3 t級</td> <td>〃</td> <td></td> <td>「表5.3」 $\frac{T_D}{T}$×層数</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型 8~20 t</td> <td>〃</td> <td></td> <td>「表5.3」 「表5.4」 T_D×層数+T_F×層数</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ運転</td> <td>排出ガス対策型 マカダム10~12 t</td> <td>〃</td> <td></td> <td>「表5.3」 「表5.4」 T_D×層数+T_F×層数</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィ ニッシャ運転</td> <td>排出ガス対策型 ホイール型 2.0~4.5 m</td> <td>〃</td> <td></td> <td>T_F×層数 「表5.4」</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	世 話 役		人		1×1/8×T' 「表4.1」 (注)1	特 殊 作 業 員		〃		3×1/8×T' 「表4.1」 (注)1	普 通 作 業 員		〃		4×1/8×T' 「表4.1」 (注)1	クラッシャラン		m3	A	100m2×仕上り厚×(1+補正係 数)=A, (注)2	粒度調整碎石		〃	B	100m2×仕上り厚×(1+補正係 数)=B, (注)2	生アスファルト		t	C	100m2×仕上り厚×設計密度 (t/m3) ×(1+補正係数)= C, (注)3	バックホウ(ハース マシン) 運転		日		$\frac{T_H}{T}$ (注)4	大型ブレーカ賃料	油圧ブレーカ バケット容量0. 25~0.3m3対応 アタッチメント	〃		$\frac{T_H}{T}$ (注)4	コンクリート圧砕機損料	破砕力600kN級 開口幅715~740 mm	〃		$\frac{T_H}{T}$ (注)4	バックホウ運転	排出ガス対策型 クローラ型 山積0. 45m3 (平積0.35 m3)	〃		$\frac{(T_{B1} \text{ 又は } T_{B2})}{T}$	ブルドーザ運転	排出ガス対策型 3 t級	〃		「表5.3」 $\frac{T_D}{T}$ ×層数	タイヤローラ運転	排出ガス対策型 8~20 t	〃		「表5.3」 「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数	ロードローラ運転	排出ガス対策型 マカダム10~12 t	〃		「表5.3」 「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数	アスファルトフィ ニッシャ運転	排出ガス対策型 ホイール型 2.0 ~4.5 m	〃		T _F ×層数 「表5.4」	諸 雑 費		式	1	表5.5	計					
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																															
世 話 役		人		1×1/8×T' 「表4.1」																																																																																																																																																															
特 殊 作 業 員		〃		3×1/8×T' 「表4.1」																																																																																																																																																															
普 通 作 業 員		〃		4×1/8×T' 「表4.1」																																																																																																																																																															
クラッシャラン		m3	A	100m2×仕上り厚×(1+補正係数)=A, (注)2																																																																																																																																																															
粒度調整碎石		〃	B	100m2×仕上り厚×(1+補正係数)=B, (注)2																																																																																																																																																															
生アスファルト		t	C	100m2×仕上り厚×設計密度(t/m3) ×(1+補正係数)=C, (注)3																																																																																																																																																															
大型ブレーカ又は コンクリート圧砕機運転 +バックホウ(ハ ースマシン) 運転		h		T _H (注)4 「表5.1」																																																																																																																																																															
バックホウ運転	排出ガス対策型 クローラ型 山積0.45 m3 (平積0.35m3)	〃		T _{B1} 又はT _{B2} (注)5 「表5.2」																																																																																																																																																															
ブルドーザ運転	排出ガス対策型 3 t級	〃		T _D ×層数 「表5.3」																																																																																																																																																															
タイヤローラ運転	排出ガス対策型 8~20 t	〃		「表5.3」 「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数																																																																																																																																																															
ロードローラ運転	排出ガス対策型 マカダム 10~12 t	〃		「表5.3」 「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数																																																																																																																																																															
アスファルトフィ ニッシャ運転	ホイール型 2.4~4.5 m	〃		T _F ×層数 「表5.4」																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	表5.5																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																															
世 話 役		人		1×1/8×T' 「表4.1」 (注)1																																																																																																																																																															
特 殊 作 業 員		〃		3×1/8×T' 「表4.1」 (注)1																																																																																																																																																															
普 通 作 業 員		〃		4×1/8×T' 「表4.1」 (注)1																																																																																																																																																															
クラッシャラン		m3	A	100m2×仕上り厚×(1+補正係 数)=A, (注)2																																																																																																																																																															
粒度調整碎石		〃	B	100m2×仕上り厚×(1+補正係 数)=B, (注)2																																																																																																																																																															
生アスファルト		t	C	100m2×仕上り厚×設計密度 (t/m3) ×(1+補正係数)= C, (注)3																																																																																																																																																															
バックホウ(ハース マシン) 運転		日		$\frac{T_H}{T}$ (注)4																																																																																																																																																															
大型ブレーカ賃料	油圧ブレーカ バケット容量0. 25~0.3m3対応 アタッチメント	〃		$\frac{T_H}{T}$ (注)4																																																																																																																																																															
コンクリート圧砕機損料	破砕力600kN級 開口幅715~740 mm	〃		$\frac{T_H}{T}$ (注)4																																																																																																																																																															
バックホウ運転	排出ガス対策型 クローラ型 山積0. 45m3 (平積0.35 m3)	〃		$\frac{(T_{B1} \text{ 又は } T_{B2})}{T}$																																																																																																																																																															
ブルドーザ運転	排出ガス対策型 3 t級	〃		「表5.3」 $\frac{T_D}{T}$ ×層数																																																																																																																																																															
タイヤローラ運転	排出ガス対策型 8~20 t	〃		「表5.3」 「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数																																																																																																																																																															
ロードローラ運転	排出ガス対策型 マカダム10~12 t	〃		「表5.3」 「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数																																																																																																																																																															
アスファルトフィ ニッシャ運転	排出ガス対策型 ホイール型 2.0 ~4.5 m	〃		T _F ×層数 「表5.4」																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	表5.5																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																			
	(注) 1. T' : 5-2 労務歩掛による。	(注) 1. T' : 5- 3 労務歩掛による。																																																																																																																																																																	

2. 補正係数は、「第11章道路舗装①路盤工」3.路盤材料の使用数量の補正係数による。
3. 補正係数は、「第11章道路舗装②アスファルト舗装工」3-1混合物の設計数量の補正係数による。
4. 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機は、図3-1、表3-1により必要な場合のみ計上する。
5. 騒音、振動対策を必要とする場合は、低騒音型建設機械を使用する。

2. ロス率は、「第11章①路盤工」3.路盤材料の使用数量のロス率による
3. ロス率は、「第11章②アスファルト舗装工」3-1混合物の設計数量のロス率による。
4. 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機は、図3-1、表3-1により必要な場合のみ計上する。
5. 騒音、振動対策を必要とする場合は、低騒音型建設機械を使用する。
6. 大型ブレーカ、バックホウ(バースタシ)、バックホウ及びブルドーザは、賃料とする。

とりまとめ工種（最終整備）

工種名：道路打換え工

現行基準のページ	現 行				改 訂				摘 要
P 5 6 5	(2) 機械運転単価表				(2) 機械運転単価表				
	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	
	バックホウ	排出ガス対策型 クロー型 山積0.45 m ³ (平積0.3 5m ³)	機-1	騒音、振動対策を必要とする場合は、低騒音型建設機械を使用する。 運転労務数量→0.25	<u>バックホウ</u>	<u>排出ガス対策型 クロー型 山積0. 45 m³ (平積0.35m 3)</u>	<u>機-28</u>	<u>運転労務数量→0.95 (全層打換え) 0.65 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→42 (全層打換え) 29 (舗装版のみ打換え) 賃料数量→1.27 (全層打換え) 1.24 (舗装版のみ打換え)</u>	
	大型ブレーカ	ブレーカ 600～800kg級	機-3	機械損料1→バックホウ (排出ガス対策型、クロー型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)) 運転労務数量→0.25 機械損料2→大型ブレーカ (ブレーカ600～800kg級) 単位→日 数量→1/T (日) (表5.6) T: 運転日当り運転時間	<u>大型ブレーカ (ハースマシン)</u>	<u>排出ガス対策型 クロー型 山積0. 28 m³ (平積0.20m 3)</u>	<u>機-28</u>	<u>運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→13 (全層打換え) 14 (舗装版のみ打換え) 賃料数量→1.29 (全層打換え) 1.27 (舗装版のみ打換え)</u>	
	コンクリート圧砕機	開口幅 580～700mm 破砕力 843～981kw (86～100 t)	機-3	機械損料1→バックホウ (排出ガス対策型、クロー型山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)) 運転労務数量→0.25 機械損料2→コンクリート圧砕機 (道路用) 単位→日 数量→1/T (日) (表5.6) T: 運転日当り運転時間	<u>コンクリート圧砕機 (ハースマシン)</u>	<u>バックホウ排出ガス 対策型 クロー型 山積0. 45 m³ (平積0.35m 3)</u>	<u>機-28</u>	<u>運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→20 (全層打換え) 21 (舗装版のみ打換え) 賃料数量→1.38 (全層打換え) 1.36 (舗装版のみ打換え)</u>	
	ブルドーザ	排出ガス対策型 普通3 t	機-1	運転労務数量→0.25	<u>ブルドーザ</u>	<u>排出ガス対策型 普通3 t</u>	<u>機-28</u>	<u>運転労務数量→0.73 (全層打換え) 0.53 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→15 (全層打換え) 11 (舗装版のみ打換え) 賃料数量→1.16 (全層打換え) 1.17 (舗装版のみ打換え)</u>	
	タイヤローラ	排出ガス対策型 8～20 t	機-1	運転労務数量→0.22 (全層打換え) 0.21 (舗装版のみ打換え)	タイヤローラ	排出ガス対策型 8～20 t	機-1	運転労務数量→0.22 (全層打換え) 0.21 (舗装版のみ打換え)	

ロードローラ	排出ガス対策型 マカダ [※] 10～12 t	機 - 1	運転労務数量→0.23
アスファルトフィニッシャ	ホイール型2.4～4.5m	機 - 1	運転労務数量→0.25

ロードローラ	排出ガス対策型 マカダ [※] 10～12 t	機 - 1	運転労務数量→0.23
アスファルトフィニッシャ	<u>排出ガス対策型</u> ホイール型 <u>2.0</u> ～4.5 m	機 - 1	運転労務数量→0.25